

三谷コミュニティセンター整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

# 横内東遺跡

2012年3月

高松市教育委員会

## 例 言

- 1 本書は、三谷コミュニティセンター整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書で、三谷町に所在する横内東遺跡の調査成果の報告を収録した。
- 2 調査地および調査期間、調査面積は下記のとおりである。  
調査地：香川県高松市三谷町1201-1・2  
調査期間：平成21年9月15日～12月1日  
平成23年4月7日～4月12日  
調査面積：約864㎡
- 3 調査は、高松市教育委員会教育部文化財課文化財専門員小川 賢および高上 拓、船築 紀子があたり、非常勤嘱託中西 克也および中村 茂央、岡本 治代がこれを補佐した。
- 4 整理作業は小川、中村、非常勤嘱託上原 ふみが行った。
- 5 本報告書の執筆・編集は主に上原が行い、小川が補佐をした。
- 6 本報告の高度値は海拔高を表し、方位は座標北を表す。
- 7 以下の業務については、委託業務として行った。  
基準点打設：株式会社 四航コンサルタント  
遺物保存処理：株式会社 吉田生物研究所  
遺物写真撮影：西大寺フォト（杉本 和樹）
- 8 発掘調査で得られたすべての資料は、高松市教育委員会で保管している。

# 目 次

第1章 調査の経緯と経過	1	第2節 調査の概要	5
第1節 調査の経緯	1	第3節 基本層序(第4・5・6図)	6
第2節 調査の経過	1	第4章 調査の成果	13
第2章 地理的・歴史的環境	2	第1節 縄文時代以前	13
第1節 地理的環境	2	第2節 弥生時代以降～古代	16
第2節 歴史的環境	2	第3節 中世	19
第3章 調査の概要	5	第4節 平成23年度調査	46
第1節 調査方法	5	第5章 まとめ	50

# 挿 図 目 次

第1図 周辺主要遺跡位置図(S=1/25,000)	3	第22図 SD1-3, 1-4, 1-5各出土遺物実測図	28
第2図 調査区位置図	6	第23図 SD4平・断面図, 出土遺物実測図	29
第3図 遺構配置図(S=1/150)	7・8	第24図 SD19平・断面図, 出土遺物実測図	30
第4図 B区西壁・南壁土層図	9	第25図 SD21平・断面図, 出土遺物実測図	30
第5図 B区東壁土層図	10	第26図 SD22平・断面図, 出土遺物実測図	31
第6図 A区土層図	11	第27図 SD28平・断面図, 出土遺物実測図	31
第7図 B区断割り土層図①②	12	第28図 SD29平・断面図, 出土遺物実測図	32
第8図 SR1・SR2・SR3配置図(S=1/200)	14	第29図 SK3平・断面図, 出土遺物実測図	34
第9図 SD2003・SP501各平・断面図	15	第30図 SK4平・断面図, 出土遺物実測図	34
第10図 SD2003・SP501各出土遺物実測図	15	第31図 SP各平・断面図, 各出土遺物実測図①	35
第11図 SR3出土遺物実測図	16	第32図 SP各平・断面図, 各出土遺物実測図②	37
第12図 SD5平・断面図, 出土遺物実測図	17	第33図 SP各平・断面図, 各出土遺物実測図③	38
第13図 SD17平・断面図, 出土遺物実測図	18	第34図 SP188平・断面図, 出土遺物実測図	39
第14図 SB1平・断面図	20	第35図 SP各平・断面図, 各出土遺物実測図④	40
第15図 SB2平・断面図	21	第36図 SP各平・断面図, 各出土遺物実測図⑤	41
第16図 SB3平・断面図	22	第37図 SP各平・断面図, 各出土遺物実測図⑥	43
第17図 SB4平・断面図	23	第38図 SP各平・断面図, 各出土遺物実測図⑦	44
第18図 SE1平・断面図, 出土遺物実測図①	24	第39図 SX2平・断面図, 出土遺物実測図	45
第19図 SE1出土遺物実測図②	25	第40図 包含層出土遺物実測図①	47
第20図 SD1平・断面図	26	第41図 包含層出土遺物実測図②	48
第21図 SD1出土遺物実測図	27	第42図 C区平・断面図, 出土遺物実測図	49

## 挿表目次

第1表	発掘作業工程表	1	第4表	遺構観察表	51
第2表	整理作業工程表	1	第5表	遺物観察表	59
第3表	基準点座標一覧表	5			

## 写真図版目次

図版1	B区第1・2遺構面（南東から） B区第1・2遺構面（北東から）	図版8	出土中世土器 出土搬入土器
図版2	B区第1・2遺構面（東から） A区第1・2遺構面（東から）	図版9	SX2出土遺物① SX2出土遺物② SR3出土遺物
図版3	SD5（東から） B区根石をもつ柱穴群（北から）	図版10	出土杯片 出土足釜片 出土皿
図版4	SE1（南東から） SE1（北西から）	図版11	SE1出土遺物 出土弥生土器壺 出土足釜 出土杯
図版5	SD17（東から） SD24（西から）	図版12	出土柱材 出土ナイフ形石器 出土砥石 出土鉄器 出土砥石
図版6	SD1（東から） SP1遺物出土状況 SP329遺物出土状況 SK4（東から） B区東壁土層 B区南壁土層		
図版7	出土弥生土器		

# 第1章 調査の経緯と経過

## 第1節 調査の経緯

平成20年度、高松市市民政策部地域政策課は三谷町においてコミュニティセンター整備事業を計画した。三谷町周辺は丘陵部を中心に古墳の存在が数多く知られ、かつ近年の開発事業に伴う発掘調査によって弥生時代から中世の集落遺跡も多数存在することが明らかになってきている。当該地は埋蔵文化財包蔵地ではないものの、このような環境を鑑みて本市教育委員会が試掘調査を行うこととなった。試掘調査は平成20年10月22日に実施され、柱穴や溝跡などの遺構とともに中世土器を中心とした遺物を検出した。結果を11月10日に香川県教育委員会に報告し、11月12日に県教委から周知の埋蔵文化財包蔵地「横内東遺跡」として取扱うよう通知があった。

平成21年度には、コミュニティセンター建物本体および消防屯所の範囲約830m<sup>2</sup>について設計が定まった。埋蔵文化財発掘通知（文化財保護法第94条第1項）が平成21年9月3日付けで本市から香川県教育委員会に提出され、9月9日付けで香川県教育委員会から「発掘調査」をするよう指導があった。これを受け、本市教委は9月14日より発掘調査を行った。コミュニティセンター建物および屯所本体の調査は12月1日に終了したが、合併浄化槽埋設位置は未定という状況にあった。

平成23年度になって、平成23年2月1日に浄化槽の設計が確定したことを受け、当該工事範囲約34m<sup>2</sup>について新たに埋蔵文化財発掘通知が本市より県教委に提出され、2月2日付けで香川県教育委員会から「発掘調査」をするよう指導があった。これに伴い、本市教委は工事工程に沿って、4月7日から発掘調査に着手し、4月12日に終了した。

## 第2節 調査の経過

発掘作業および整理作業の実施状況は下記のとおりである。

第1表 発掘作業工程表

作業項目	平成21年9月	平成21年10月	平成21年11月	平成21年12月	平成23年4月
前立	●				
調査範囲測量	●				
重機掘削	●				
腐土処理	●				
遺構面精査	●	●	●	●	
遺構検出	●	●	●	●	●
遺構写真撮影	●	●	●	●	●
平面図化	●	●	●	●	●
排水	●	●	●	●	●
撤収作業	●	●	●	●	●

第2表 整理作業工程表

作業項目	平成22年												平成23年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
洗浄	●												●											
梱包・復元	●	●																						
遺物実測																								
遺物・遺構トレース																								
図版レイアウト																								
遺物写真撮影																								
遺物保存処理																								
原簿執筆																								
編集																								
校正																								

## 第2章 地理的・歴史的環境

### 第1節 地理的環境

高松市は香川県の中央やや東寄りに位置し、平成の大合併により近隣の庵治町・牟礼町・塩江町・香川町・香南町・因分寺町と合併したことで、阿讃山脈から瀬戸内海に及ぶ広大な市域を有することとなった。この市域の大部分は讃岐平野の一部を形成する高松平野が占める。

高松平野は、南部に阿讃山脈の北縁がかかり、東部に屋高、立石山、北部には石清尾山、浄願寺山、西部に青峰、堂山の山系が連なる。これらは標高20～300m程の小山塊で、地質と侵食耐性の違いにより形の異なるメサ、あるいはビュートと呼ばれ、高松平野をはじめ讃岐平野に特徴的な地形の一つである。阿讃山脈より香東川、春日川、新川が北流した際に運ばれる土砂によって高松平野は形成された。これらの河川は、山脈から平野部への流入口で穏やかな傾斜を持つ扇状地形の沖積平野を形成し、農耕に適した地味豊かな土壌をもたらした。諸河川は中流域で伏流し、その表層が涸れ川になることが多かったため、早くから溜め池を造築することで水不足の解消がなされてきた。これらの溜め池は年間1,000mm前後と降水量の乏しい温暖寡雨な、いわゆる瀬戸内海式気候に属する高松平野において、灌漑用水確保のために不可欠なものであり、その景観を特徴付けるものである。

横内東遺跡は高松平野の中でも、阿蘇山脈の裾から平野がせり出す南部に位置する。

### 第2節 歴史的環境

横内東遺跡が所在する三谷町周辺における最古の遺跡は、旧石器時代後期に属する雨山南遺跡である。発掘調査によるものではないが、瀬戸内技法による翼状剥片やチップなどの石器製作を示す資料が多量に表探されている。次の縄文時代の遺跡は明確ではなく、三谷三郎池等から石礫が表探されるにとどまる。

弥生時代の遺跡では最古のものに北野遺跡と光専寺山遺跡が挙げられる。北野遺跡では旧河道縁辺と微高地上で前期末の土坑や溝跡、光専寺山遺跡では小丘陵裾より前期末の土器包含層が確認されている。中期末から後期初頭に属する中山田遺跡は、丘陵上に位置する高地性集落で、焼失痕をもつ竪穴建物跡や倉庫跡などが検出されるとともに、分銅形土製品が出土している。三谷通谷遺跡では、中期末の土器が出土するとともに、後期後半の土器棺墓が7基確認されている。弥生後期後半～古墳前期になると、上林遺跡、北野遺跡、鎌野西遺跡、三谷中原遺跡と近辺の遺跡数が増加している。

古墳時代に入ると、集落遺跡は不明だが、古墳が数多く確認されている。前期に属する小日山1号墳は、日山から派生する丘陵頂部に立地し、全長約31mを測る前方後円墳で、塊石積みの竪穴式石室が露出している。この1号墳の東側丘陵頂部にある小日山2号墳は、直径約16mを測る円墳で、同時期に属する可能性がある。中期初頭に属する全長88mの大型前方後円墳の三谷石舟古墳は、高松平野南部における盟主墳であり、劔拔式石棺が後円部に露出している。次いで盟主墳として直径約42mを測る大型円墳の高野丸山古墳が築造され、幅10～15mの周濠が備わっている。高野南1号墳は、わずかな墳丘しか残っておらず、中期末の円筒埴輪片が採集されている。平石上1号墳の内部主体は不明だが、後期前半に属する可能性がある。後期後半以降になると、この地域においても横穴式石室を主体部にもつ古墳が多く築造されるようになる。最大規模の横穴式石室をもつのは矢野面古墳で、全長9.1mの両袖式である。他に発掘調査がなされた古墳では、中山田3・4号墳、



- |            |              |                 |                   |                    |
|------------|--------------|-----------------|-------------------|--------------------|
| 1 横内東遺跡    | 2 多肥宮瓦遺跡     | 3 押印塚寺          | 4 上林遺跡            | 5 北野遺跡             |
| 6 田島山城跡    | 7 鎌野西遺跡      | 8 旧南南遺跡         | 9 加摩羅神社古墳         | 10 三谷中原遺跡          |
| 11 鎌野城跡    | 12 高野丸山古墳    | 13 高野廃寺         | 14 高野南1号墳         | 15 高野南2号墳          |
| 16 平石上1号墳  | 17 平石上2～6号墳  | 18 日山山頂古墳・経塚    | 19 北山古墳群          | 20 南山南遺跡           |
| 21 岡山南古墳群  | 22 住慈寺池1・2号墳 | 23 小日山1号墳       | 24 小日山2号墳         | 25 三谷城跡            |
| 26 三谷石舟古墳  | 27 石舟池古墳群    | 28 万塚古墳         | 29 大の馬場古墳         | 30 矢野面古墳           |
| 31 三谷三郎池遺跡 | 32 三谷三郎池西岸遺跡 | 33 H美山古墳・経塚     | 34 三谷通谷遺跡         | 35 光尊寺山遺跡、光尊寺東・西古墳 |
| 36 上位山東麓古墳 | 37 池田合子神社古墳  | 38 上俣山城跡（正佐山城跡） | 39 中山田遺跡、中山田3・4号墳 |                    |
| 40 空池跡地遺跡  |              |                 |                   |                    |

第1図 周辺主要遺跡位置図 (S=1/25,000)

石舟池古墳群、平石上2・3号墳、万塚古墳が挙げられるが、いずれも石室の基底石付近の残存を確認するにとどまる。雨山南古墳群や周辺に分布する北山古墳群、住蓮寺池古墳群も同じ後期後半～終末期に属する群集墳である。この他、横穴式石室をもつ上佐山東麓古墳、加摩羅神社古墳、池田合子神社古墳、光尊寺山東・西古墳があるが時期・内容ともに詳細な実態はよくわかっていない。古墳以外では、古墳時代中期に操業していた三谷三郎池西岸窯跡の初期須恵器窯が有名である。

飛鳥～奈良時代には、この地域に古代の官道である南海道が通っており、延喜式に見える「三谿駅」が設置されていたと推定される。この官道の推定ライン上に位置する三谷中原遺跡では、平安時代に属する自然河川や条里地割に沿った溝跡が確認されている。高松平野の条里地割は、市街地、埋立地や氾濫原を除いた平野部、つまり土地境や用水、里道などに顕著に現在もその痕跡をとどめ、一様に分布している。官道であった南海道は、高松市域では現在の三木町の白山南麓と中間町の六つ日山北麓を結ぶ直線として設定され、高松平野の条里地割は平野を東西に貫く南海道と、これに直行する郡界線を縦横の基準として敷設されたことが知られている。本市教委の調査でも、時期不明だが可能性の指摘される道路状遺構を確認している。この他、高野廃寺では、転用された礎石や奈良～平安時代の軒瓦が出土していることから、古代寺院と推定されている。

鎌倉～室町時代といった中世では、上林遺跡で掘立柱建物跡や溝が検出されている。光尊寺山遺跡は、室町時代に光尊寺が建っていたと伝えられており、室町時代頃の遺物が表採されている。室町時代から始まる戦国期の動乱によって、この地域でも数多くの城館が造られている。三谷氏の上佐山城跡（王佐山城跡）・三谷城跡、三谷氏の家臣とされる鎌野・由良両氏の鎌野城跡、由良城跡・由良山城跡などがある。しかしながら、土佐長宗我部氏の讃岐侵攻や豊臣秀吉の四国平定により、各氏はその勢力を失い、城館も廃絶している。

江戸時代、四国平定以後のこの地域は、豊臣秀吉の配下にあった生駒家4代による讃岐一国支配の後、松平家11代による高松藩領となり、明治維新を迎えることとなる。

#### 引用・参考文献

- 高松市教育委員会 1992 『讃岐国弘福寺領の調査』
- 株式会社クボタ 1989 「讃岐平野の生い立ち—第一瀬戸内累層群以降を中心として—」 『アーバンクボタ』 28
- 香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財センター 2000・2001・2002 『県道間保埋蔵文化財発掘調査概報』
- 香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財センター 2000 『空港跡地遺跡Ⅳ』
- 高松市教育委員会 2005 『雨山南古墳群～3号墳・13号墳～』
- 高松市教育委員会 2007 『平石上2号墳・石舟池古墳群』
- 高松市教育委員会 2008 『高松平野南東部における埋蔵文化財調査報告書 光尊寺山遺跡 竹元遺跡 高野廃寺 本村遺跡』
- 高松市教育委員会 2011 『空港跡地遺跡』



## 第3章 調査の概要

### 第1節 調査方法

第1章にて触れたとおり、平成20年度の試掘調査を経て三谷コミュニティセンター整備事業対象地は周知の埋蔵文化財包蔵地「横内東遺跡」となった。

本市教委はこのことを受け、改めて平成21・23年度に総面積約864㎡を測る調査区を設定し、横内東遺跡の調査を行うこととなった。調査区は三谷コミュニティセンター整備事業地内に位置し、消防屯所およびコミュニティセンター、浄化槽建設予定地の3箇所にあたる。

発掘調査では前掲の試掘調査により、遺構面までの掘削深度や基本土層を把握していたことから、重機による包含層ならびに遺構上面までの掘削と、人力による遺構の検出・精査を基本として行った。

記録に関しては調査区周辺に5点の基準点を設定し、これらをもとに図化を行った。各基準点の座標は次のとおりである。

第3表 基準点座標一覧表

	A1	A2	A3	A4	A5
X	141863.558	141871.669	141891.794	141868.257	141838.294
Y	52463.680	52427.876	52445.365	52442.968	52435.705

(数値は世界測地系第IV系による)

図面は平面図・断面図ともに調査時には概ね縮尺1/20で作図し、報告に際して適宜縮尺を変更した。写真撮影は35mmフィルムを主に用い、モノクロ・カラーリバーサルフィルムで記録し、補助的にデジタルカメラも用いた。また、全景写真の撮影には高所作業車を用いた。なお発掘調査完了後、調査区は掘削土で埋め戻しを完了している。

### 第2節 調査の概要

平成21年度の調査区は東西長約12m、南北長約11mの方形の消防屯所建設予定地(以下、A区とする)、その南側に東西長約30m、南北長約33mの多辺形を呈するコミュニティセンター建設予定地(以下、B区とする)の2箇所である。

平成23年度は東西長約4m、南北長約8.5mの長方形の浄化槽建設予定地(以下、C区とする)を調査した。コミュニティセンター整備工事と同時進行して調査を行ったため、時間的・空間的制約を伴った。

調査の結果、調査区西側に複数の旧河道が南北方向に流れ、東側に向けて勾配が上がり、調査区全体にわたって微高地が広がっていたことが明らかとなった。概観すると、この微高地は中世の時期を中心に展開しており、その主だったものとして溝跡や柱穴跡が挙げられる。

柱穴跡は特に調査区東側に集中していたが、西側の旧河道の埋土上にも観察することができた。その総数は359個を数え、平均径30cm前後を測る。なかには径の小さなものもあり、櫛列であった可能性も考えられる。

また、中世以前では、調査区北西部に位置する溝跡から古代の土器、前述した旧河道の埋土から弥生時代に属する土器がいくつかまとまって確認された。

その他、遺構面の検出時にも少量であるが弥生時代から近世までの土器を確認している。これら

については包含層出土遺物として、取り扱っている。

なお、遺構の時期は大まかに遺構面によって分けることができるが、本稿では出土遺物からその時期比定を行う。遺物出土が確認できなかった遺構、土器細片のみ出土した遺構については表4に掲載する。

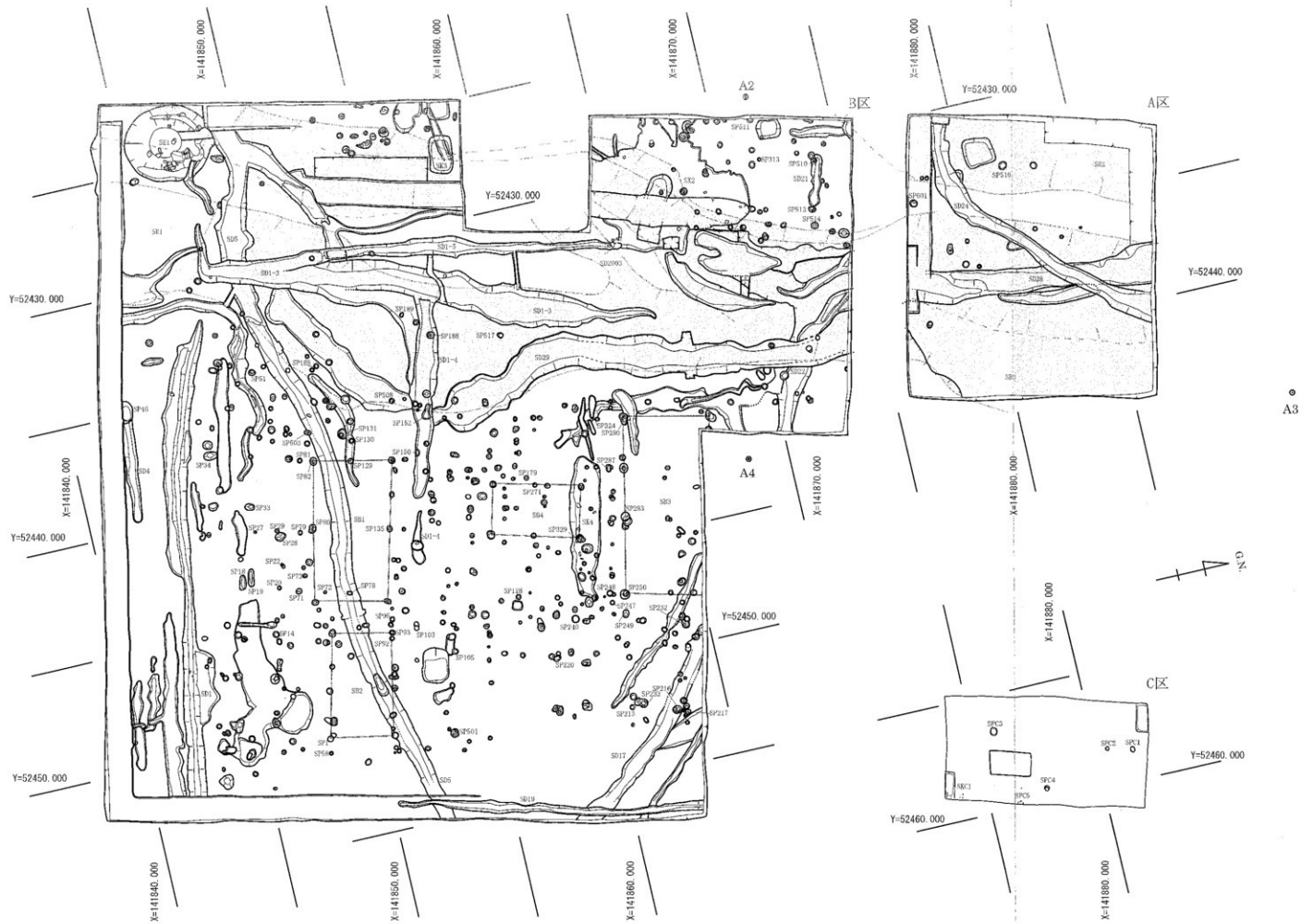
### 第3節 基本層序（第4・5・6図）

調査区の層序はおおまかに7層にまとめることができる。Ⅰ層は現代の田地の耕作土や床土で、調査区全体を平均して20～30cmの厚さを測る。Ⅱ層は灰白～灰黄色細砂層、Ⅲ層は褐灰色～褐色を呈するシルト層である。Ⅳ層は暗褐色や黄褐色を呈する極細砂～細砂層、Ⅴ層は灰黄褐色系・灰白色シルト質細砂層である。Ⅵ層は灰白色～黄色のシルト層、Ⅶ層は明緑灰色くさり礫混じり粘土のグライ化層である。

Ⅱ層は包含する遺物から中世以降の土層と判断でき、調査区に点在する柱穴などからも対応する埋土を多く確認した。Ⅲ層は中世の遺構検出面で、調査区ほぼ全域での展開が認められる。Ⅳ層については、概ね弥生時代から古代に属する遺物が含まれていることから、形成時期は弥生時代と考えられる。Ⅴ層は旧河道に堆積する土層で弥生土器や石器を包含していた。ただし、調査区東側に広がる微高地ではⅤ層の堆積がはっきりと認められず、旧河道との高低差は古くから存在したことがわかる。Ⅵ・Ⅶ層は遺物を含まず、人為的な影響の痕跡も認められないことから、当地の基盤をなす自然堆積層と判断できる。



第2図 調査区位置図



第3回 遺構配置圖 (S=1/150)

西壁



1. 現水田(Ⅰ)
2. にぶい黄褐色 (10R7/2) シルト質極細砂 (土壌層・下位に非土壌層) (Ⅰ)
3. 灰白色 (5Y7/1) シルト質極細砂 (Ⅱ)
4. 灰白色 (7.5YR6/1) シルト (VI/地山)
5. 淡黄色 (2.5Y8/3) 細砂～中砂+灰黄色 (2.5Y7/2) シルト質細砂 (Ⅱ)
6. 灰白色 (5Y7/1) シルト質細砂
7. 灰褐色 (7.5YR4/2) シルトとほぼ同じだがやや灰色が強い (IV/SR3埋土)
8. 灰褐色 (7.5YR4/2) シルト+灰褐色 (7.5YR4/2) 細砂+灰白色 (2.5Y8/1) 細砂 (V/SR1埋土)
9. 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト質極細砂 (V/SR1埋土)
10. 褐灰色 (10YR6/1) シルト+褐色 (7.5YR4/3) シルト (遺構面) (Ⅲ)



南壁

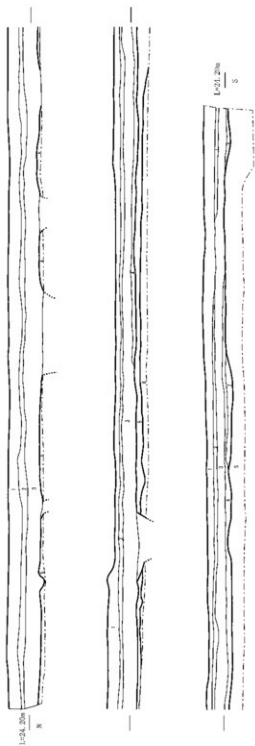


1. 現水田(Ⅰ)
2. にぶい黄褐色 (10R7/2) シルト質極細砂 (土壌層・下位に非土壌層) (Ⅰ)
3. 灰白色 (10YR7/1) シルト質極細砂 灰白色極細砂を含む。水田土壌層 (Ⅱ)
4. 褐灰色 (10YR8/1) シルト+褐色 (7.5YR4/3) シルト (遺構面) (Ⅲ)
5. 灰白色 (7.5YR8/1) シルト (VI/地山)
6. 灰白色 (5Y7/1) シルト質極細砂 (Ⅱ)
7. 黒褐色 (10YR3/1) シルト質極細砂 (粘まり強い) (IV/SR3埋土)
8. 灰黄色 (2.5Y7/2) 粗砂 (IV/SR3埋土)
9. 灰白色 (2.5Y8/2) 細砂～中砂 (Ⅱ)
10. 淡黄色 (2.5Y8/3) 粗砂 (V/SR1埋土)
11. 灰白色 (10YR7/1) シルト+淡黄色 (2.5Y8/3) 粗砂 (V/SR1埋土)
12. 灰褐色 (7.5YR4/2) シルト (V/SR1埋土)
13. 灰褐色 (7.5YR4/2) シルトとほぼ同じだがやや灰色が強い (V/SR1埋土)
14. 灰白色 (2.5Y8/2) 極細砂 (V/SR1埋土)
15. 灰白色 (2.5Y8/2) 極細砂+にぶい黄褐色 (10YR7/2) 極細砂 (V/SR1埋土)
16. 灰黄色 (10YR6/2) シルト質極細砂+灰白色 (2.5Y8/2) 細砂 (Ⅵ)

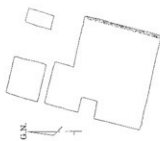


第4図 B区西壁・南壁土層図

東壁

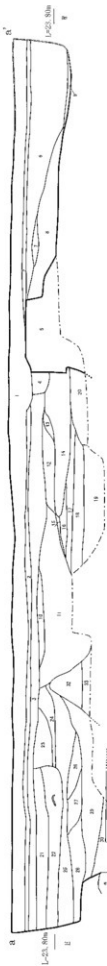


1. 現水田 (I)
2. に近い黄棕色 (10YR7/2) シルト質粘細砂 (土壌層・下位に赤土壌層) (I)
3. 灰白色 (2.5Y8/1) シルト質 硬粘砂 (II)
4. 灰白色 (2.5Y8/2) 粘砂 (II)
5. 塊状色 (10YR8/1) シルト+塊色 (7.5YR4/3) シルト (遺構面) (III)
6. 灰白色 (7.5YR8/1) シルト (VI/準山)
7. 灰黄色 (2.5Y7/2) シルト質粘細砂 (II/SOI)の埋土



新5図 B区真鍮土層図

南壁

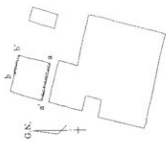


1. 表土(Ⅰ)
2. 明黄褐色 (2.516/8) 粘土～シルト(Ⅰ)
3. 黄灰色 (2.516/3) 粗砂～粗砂(Ⅱ)
4. にふい黄褐色 (2.516/3) 粘土～粗砂 (鉄分多く沈着)
5. 明黄褐色+灰塔状粘土の地山(VI)
6. 灰黄褐色 (10/R6/2) シルト (鉄分多く沈着) (V/SR2埋土)
7. 地山プロック (V/SR2埋土)
8. 暗褐色 (10/R3/3) シルト (鉄分多く沈着) (V/SR2埋土)
9. 灰白色 (10/R7/1) 粗粗砂 (V/SR2埋土)
10. 灰白色 (10/R5/1) 粗粗砂 (Ⅲ/SR28の埋土)
11. 黄褐色 (2.515/3) 粗粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
12. 淡黄色 (2.517/4) 粗粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
13. 灰黄色 (2.517/2) シルト～粗粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
14. 暗灰黄色 (2.515/2) 砂混じりシルト (Ⅳ/SR3埋土)
15. 黄灰色 (2.516/1) 砂混じりシルト (Ⅳ/SR3埋土)
16. 淡黄色 (2.517/4) 粗粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
17. 灰白色 (7.517/1) 粗粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
18. 暗灰色 (10/R5/1) 粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
19. にふい黄褐色 (10/R6/4) 粗粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
20. 黒褐色 (10/R3/1) 粘土、灰白色 (7.517/1) 粗粗砂が6層互層状に堆積 31. 黒褐色 (10/R4/2) 砂混じりシルト (VI)
21. 黒褐色 (2.515/2) シルト～粗粗砂
22. 灰黄色 (2.516/2) 粘土
23. 暗灰黄色 (2.515/2) シルト～粗粗砂 (鉄分多く沈着)
24. 暗褐色 (10/R3/3) 粘土～粗砂
25. オリーブ褐色 (2.514/2) 粗粗砂 (V/SR1埋土)
26. 暗灰黄色 (2.514/2) シルト～粗砂 (V/SR1埋土)
27. 黄褐色 (2.515/6) 粗粗砂 (V/SR1埋土)
28. 黄褐色 (2.515/3) 粗粗砂 (V/SR1埋土)
29. にふい黄褐色 (2.516/3) 粗粗砂 (V/SR1埋土)
30. 暗褐色 (2.515/6) 粗粗砂 (V/SR1埋土)
31. 黒褐色 (10/R3/1) 粘土 (木材片多量に抽出) (V/SR1埋土)
32. 淡黄褐色 (10/R4/2) 砂混じりシルト (VI)
33. 黒褐色 (10/R3/1) 砂混じり粘土 (VI)

北壁



1. 表土(Ⅰ)
2. 明黄褐色 (2.516/8) 粘土～シルト(Ⅰ)
3. 黄灰色 (2.516/1) 粗砂～粗砂(Ⅱ)
4. 明黄褐色 (2.517/6) 粗粗砂
5. 暗褐色 (10/R3/3) 粗粗砂～粗砂
6. 暗灰黄色 (2.514/2) 砂混じりシルト(V)
7. にふい黄褐色 (2.516/4) 粗砂 (2.515/1) 粘土
8. 黄灰色 (10/R3/3) 粗粗砂～シルト
9. 暗褐色 (2.516/2) 粗粗砂
10. 灰黄色 (2.516/2) 粗粗砂
11. 黄褐色 (2.515/6) 砂混じりシルト
12. 黄褐色 (2.515/3) 粗粗砂～粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
13. 黄灰色 (2.515/1) 粘土 (鉄分多く沈着) (Ⅳ/SR3埋土)
14. 灰色 (516/1) シルト～粗粗砂 (鉄分やや沈着) (Ⅳ/SR3埋土)
15. 黄褐色 (2.515/6) 粗粗砂 (Ⅳ/SR3埋土)
16. にふい黄褐色 (10/R5/3) 粗粗砂 (Ⅳ/SR1埋土)
17. 灰色 (515/1) 粗粗砂 (Ⅳ/SR1埋土)
18. 黒褐色 (2.515/1) 砂混じりシルト (V/SR1埋土)
19. 灰色 (7.515/1) 粗粗砂～粗砂 (V/SR1埋土)



第6図 A区土質図



1. 地山 (VI)  
 2. 灰白色 (7.5/6/1) 粘土 (VI)  
 3. 灰白色 (2.5/6/2) 細砂~粗砂 (VI)  
 4. 灰白色 (5.0/1) くそり砂混しり粘土 (VI)  
 5. 灰白色 (2.5/6/2) 粘土~シルト (軟分沈着)  
 6. 灰白色 (2.5/6/3) 粗砂  
 7. 灰白色 (2.5/6/2) 砂混しりシルト (硬物含む)  
 8. 灰白色 (2.5/6/1) シルト~粗砂  
 9. 灰白色 (2.5/6/2) 粗砂  
 10. 灰白色 (2.5/6/1) 粗砂  
 11. 灰白色 (2.5/6/3) 粗砂  
 12. 灰白色 (2.5/6/2) 粗砂~シルト (軟分沈着)
13. にふい黄褐色 (10/R5/4) 粗砂 (軟分多く沈着)  
 14. 黒褐色 (2.5/3/2) シルト  
 15. にふい黄褐色 (10/R5/4) 粗砂 (軟分沈着)  
 16. 灰白色 (2.5/6/1) 粗砂  
 17. 灰白色 (2.5/7/2) 粗砂~シルト  
 18. 灰白色 (2.5/6/2) 粗砂  
 19. 灰白色 (2.5/6/1) シルト~粗砂  
 20. 不明  
 21. 黒褐色 (2.5/3/2) 粘土~シルト  
 22. 黒褐色 (2.5/3/1) 粘土  
 23. オリーブ褐色 (2.5/4/3) 粗砂  
 24. 灰白色 (2.5/5/1) 粗砂
25. 黒褐色 (2.5/3/2) 粗砂  
 26. 黒褐色 (2.5/6/3) 粗砂  
 27. 灰白色 (2.5/7/2) シルト  
 28. 灰白色 (2.5/7/1) 粗砂  
 29. 灰白色 (2.5/5/1) シルト  
 30. 灰白色 (2.5/7/1) 粗砂  
 31. 灰白色 (2.5/5/1) シルト  
 32. 灰白色 (2.5/7/1) 粗砂  
 33. 灰白色 (2.5/6/1) 粗砂  
 34. 灰白色 (2.5/7/2) 粗砂  
 35. 灰白色 (2.5/7/2) 粗砂  
 36. 灰白色 (10/R6/2) 粗砂
37. 灰白色 (7.5/7/1) 粘土 (軟分やや沈着)  
 38. 黒褐色 (10/R3/1) 粘土~シルト  
 39. 灰白色 (7.5/7/1) シルト~粗砂  
 40. 灰白色 (2.5/6/2) 砂混しりシルト  
 41. 灰白色 (2.5/4/1) 粘土  
 42. 灰白色 (2.5/4/1) 粘土  
 43. 灰白色 (2.5/6/2) 粗砂  
 44. 明黄褐色 (2.5/4/2) 粘土  
 45. 黄褐色 (2.5/6/1) 粗砂  
 46. 明黄褐色 (2.5/4/2) 粘土  
 47. 灰白色 (2.5/6/2) 粗砂  
 17-36. IV/SR3埋土 37-47. V/SR1埋土

第7図 8区断割り土層図①②

## 第4章 調査の成果

### 第1節 縄文時代以前

縄文時代以前の遺構は調査区西側に集中して認められ、確実なものは旧河道2条、溝1条とピット1基である。

#### (1) 旧河道

**SR1** B区西側を南北方向にのびる溝と当初は認識していたが、調査が進むにつれ、A区南北各壁土層（第6図）、B区において東西方向に設けた2本の断割り土層（第7図）にもその存在が確認できた。それぞれの層位の対応を鑑みて、A・B両調査区を南北方向に流れ、地山直上に位置する旧河道と解釈するに至った。また、この旧河道を軸に複数の河川が南北方向を流れ、その流路が分岐と合流を繰り返す様相や、川底に見られた砂や黒色系の粘土の堆積状況から流速が速かったことも観察できた。河床に堆積した砂混じりシルトと粘土が互層をなし、レンズ状に堆積していることから、比較的長期にわたる河川の継続が推測できる。河幅は最大10m前後を測る。

**SR2** A区北端西側で検出し、その両端は調査区外へと伸びている。当初、溝と認識していたが、調査を進めるにつれ、A区南壁土層（第6図）における層位から旧河道と判明した。

これらの旧河道に伴う明確な生活痕は認められなかった。

#### (2) 溝

**SD2003** B区中央北側付近で東西方向に検出した溝で、その南端は調査区外へと伸びている。前述のSR1に切られている。

遺物は、弥生土器底部片（1・2）、サスカイト製凹基式の石鏃（S-1）が出土し、遺構としてはこの遺跡のなかで一番古い時期に属する。上面のSR1に切られ、上面に属する1・2が混入したと思われる。

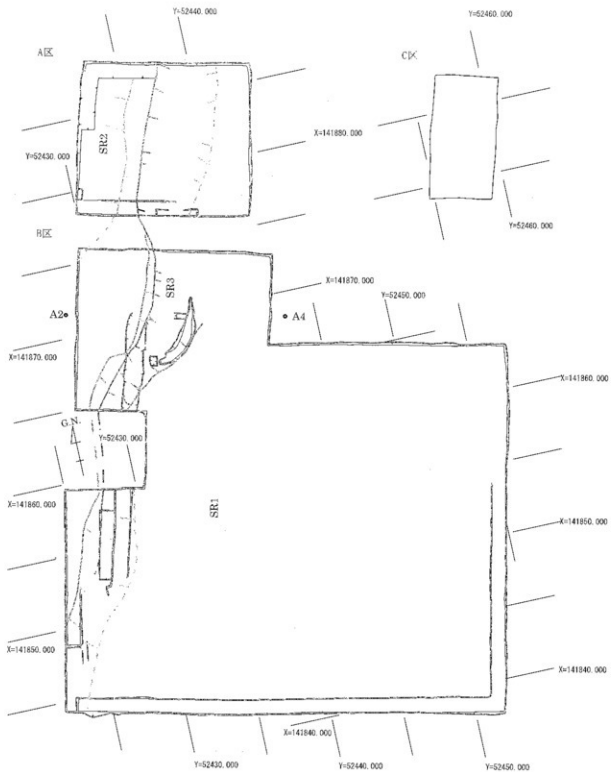
#### (3) ピット

**SP501** B区東側中央寄りに検出したピットである。埋土は茶褐色砂質土の単層である。

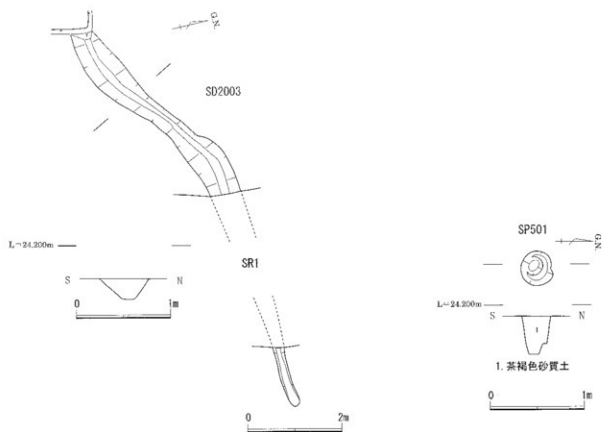
遺物は旧石器時代に相当するサスカイト製片縁調整ナイフ形石器（S-2）が出土しているが、混入の可能性もある。



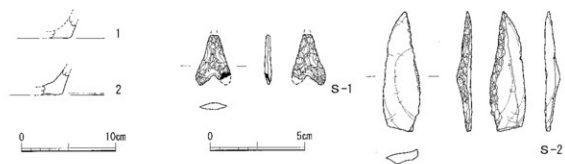
• A3



第8图 SR1・SR2・SR3 配置图 (S=1/200)



第9圖 SD2003・SP501 各平・断面圖



第10圖 SD2003・SP501 各出土遺物実測圖

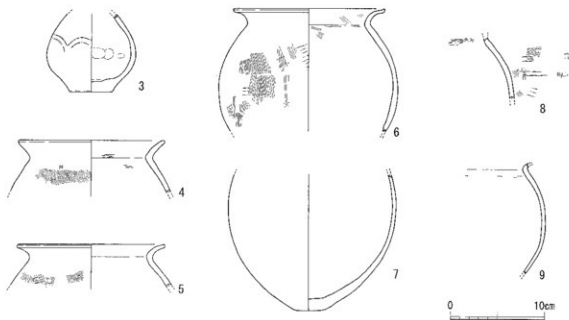
## 第2節 弥生時代以降～古代

弥生時代以降から古代にかけての時期に属する遺構は、前節で触れたSR1と微高地を繋いだ形跡をもつ多くの溝跡が挙げられる。これらの溝はしっかりとした深さをもち、微高地から低地への水の供給のための水路として利用されたと考えられる。このような性格を確実にもったと思われるのは、SD5・17・24などである。この時期に相当する遺物や遺構は乏しいが、これらの溝が伸びる方向に沿って居住域や生産域が存在していたと推測できる。

### (1) 旧河道

SR3 B区をやや西寄りを前掲のSR1に並行して南北に直線的に伸び、A区で北西方向へと傾斜する。調査当初、溝と認識していたが、遺物や切り合い関係から弥生時代以降に旧河道であるSR1より分岐したと考えられる。流路を少しずつ変えながら継続し、弥生時代終末頃には埋没すると考えられる。

遺物は弥生土器（3～9）が出土している。4～9は甕で、4～6は口縁部から体部、7は底部、8・9は体部である。4は内外面にハケ調整が観察できる。5・6・8は外面にタタキ痕が観察でき、5・8は同一個体の可能性が考えられる。9は内面をヘラ削り調整し、胎土に角閃石を含む。3は重機掘削時に埋土上面から検出された外面にヘラ描き連弧文が施された弥生前期の甕である。

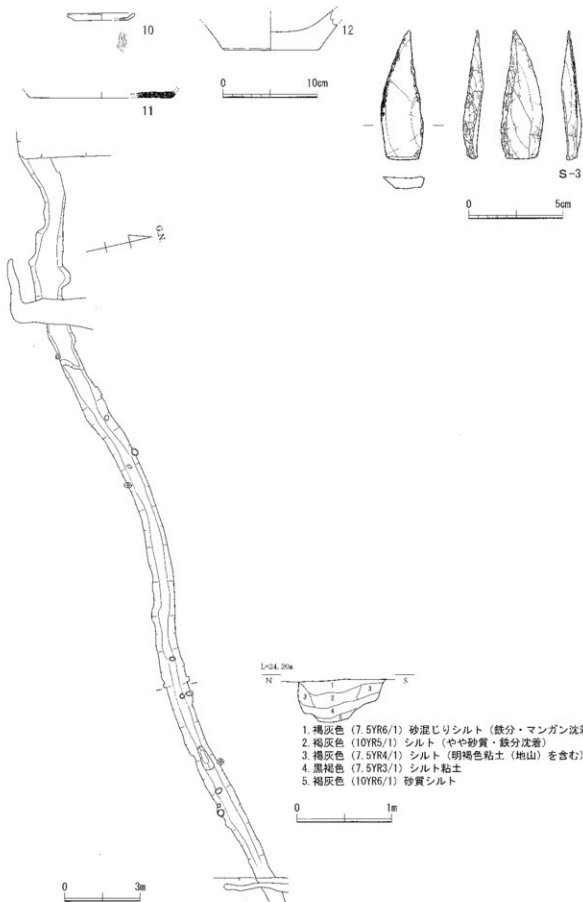


第11図 SR3出土遺物実測図

### (2) 溝

SD5 B区南端で東西方向に検出した。60cm程の深度を測り、低地と微高地を繋ぐ水路と考えられる。埋土は褐灰色シルトを中心に堆積していた。

石器（S-3）、土師質土器（10）、須恵器（11）、弥生土器（12）が出土している。10・11は底部に回転ヘラ切りを施した皿で、10は上位層のピットからの混入と考えられる。12は弥生時代前期に属する壺底部片で、下位層の旧河道からの混入である。S-3はサヌカイト製片縁調整ナイフ形石器で基盤層からの混入である。よって、遺構の時期を示すものは11のみと考えられる。



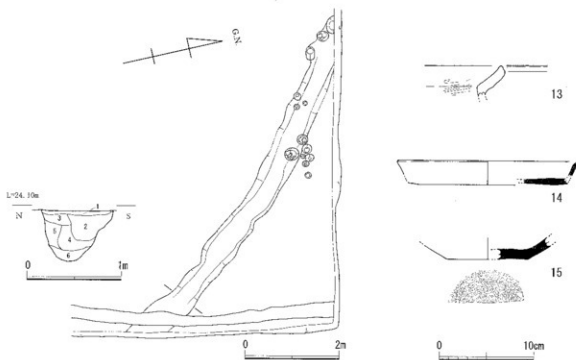
第12図 SD5 平・断面図, 出土遺物実測図

SD17 B区北東隅で南東～北西方向に検出した溝である。埋土は褐灰色砂混じりシルトである。SD5と同じ性質をもつ水路と考えられる。

土師質土器甕(13)、須恵器(14)、須恵質土器(15)が出土している。14は底部に回転ヘラ切り後ナデ調整を施した皿、15は静止糸切りが施された底部片である。14はSD5出土の11と同型式に分類でき、10と同様に15は上位層からの混入と考えられる。

SD24 A区で南西から北東方向に伸びる溝で、後にSD28によって切られる。埋土は灰オリーブ色砂礫のシルト混じりを中心に堆積されていた。

遺物については図化していないが、弥生土器細片が出土している。



1. 褐灰色(7.5YR6/1)砂混じりシルト(鉄分マンガン沈着)
2. 褐灰色(7.5YR5/1)シルト(黄色粘土(地山)塊を若干含む)
3. 灰白色(N7/1)シルト質粘土(黄色粘土(地山)塊を多量含む)
4. 灰白色(N7/1)シルト質粘土(黄色粘土(地山)塊を多量に含む、褐灰色シルト、砂質土(5,6)が混じる)
5. 褐灰色(7.5YR4/1)シルト
6. 褐灰色(10YR5/1)砂質シルト

第13図 SD17 平・断面図、出土遺物実測図

### 第3節 中世

本調査の中でもっとも生活痕が確認できた時期である。土地区画を示す条里と並行するように東西方向にSD1、1-4、南北方向にSD1-3、1-5が伸びる。これらの溝は微高地を囲むように広がっており、その内側には多数の柱穴群を確認した。調査区全体にわたって分布する柱穴内の埋土は概ね同質のものである。これらの柱穴のすべてを同時期に共存した遺構とするには根拠が薄い。微高地帯には掘立柱建物が複数存在したことは明らかである。

また、微高地にあるSK4やSD1においては、土器をはじめとするさまざまな生活用品が出土している。SD1-3の西側にあるSE1などからも遺物が集中して見られ、旧河道を挟んだ調査区西側にも居住域が広がっていたと考えられる。これらの遺物の年代から、13世紀後半から14世紀代に営まれた集落跡と考えられる。

#### (1) 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡の復元は調査後の整理作業において、平面図から行った。

**SB1** B調査区中央南寄りで見出した掘立柱建物跡である。南西隅から反時計回りにSP82・80・70・97・135・138・129と構成される。2×2間の側柱建物跡であり、梁行総長約3.3m、桁行総長約6.2m、床面積は約20.5㎡を占める。柱間は梁行 $3.2 \pm 1.7$ m、桁行約3.2mである。柱穴は円、楕円形あるいは台形をなし、 $0.4 \pm 0.2$ mの径を測る。深度は $0.5 \pm 0.2$ mを測り、特に桁行の中央にあたるSP80・135が深さをもつ。埋土はすべて灰白色砂質土であり、SP82・138からは根石を検出した。

遺物はSP80・82・97・129・135から出土しており、詳細は各々柱穴の項目を参照されたい。

**SB2** B調査区南東寄り、SB1の東側で見出した掘立柱建物跡である。南西隅から反時計回りにSP69・64・63・1・61・88・89・93と構成される。1×3間の側柱建物跡であり、梁行総長約2.7m、桁行総長約4.5m、床面積は約12.2㎡を占める。柱間は梁行約2.7m、桁行 $2 \pm 1$ mである。柱穴は円あるいは台形をなし、 $0.3 \pm 0.2$ mの径を測る。深度は $0.5 \pm 0.2$ mを測り、特にSP69・93が深さをもつ。埋土はすべて灰白色砂質土である。

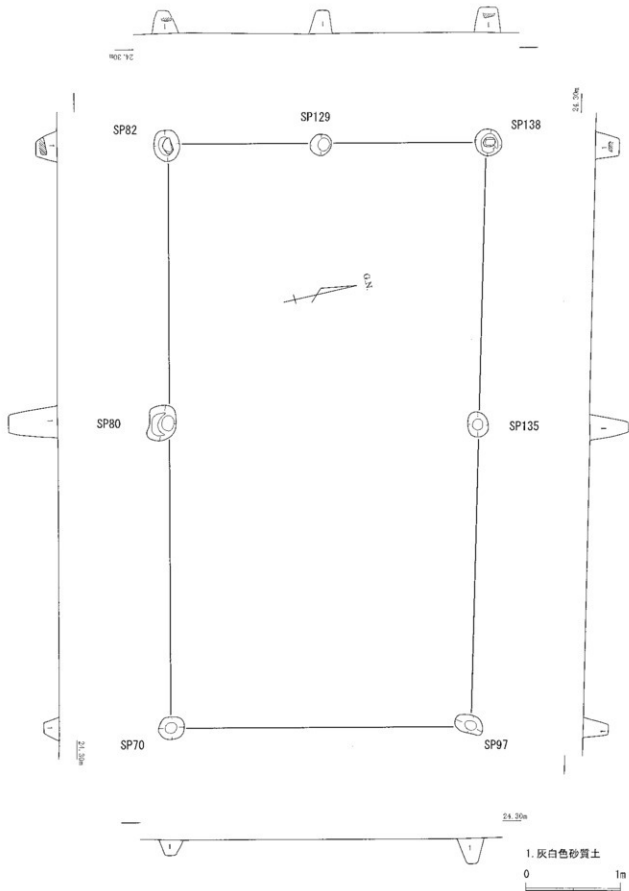
遺物はSP1・63・64・69・80・93から出土しており、詳細は各々柱穴の項目を参照されたい。

**SB3** B調査区北側中央で見出した掘立柱建物跡である。南西隅から反時計回りにSP290・288・283・250・295と構成され、北列は調査区端にかかり、SP295のみの検出である。検出状況から1×3間の側柱建物跡であり、梁行総長約3.7m、桁行総長約7.7m、床面積は約28.5㎡を占める可能性が考えられる。柱間は梁行約3.7m、桁行 $3.3 \pm 2.2$ mである。柱穴は円、楕円あるいは不整形をなし、約0.4mの径を測る。深度は約0.35mを測り、概ね同じ深さをもつ。埋土はすべて灰白色砂質土であり、SP250からは根石を検出した。

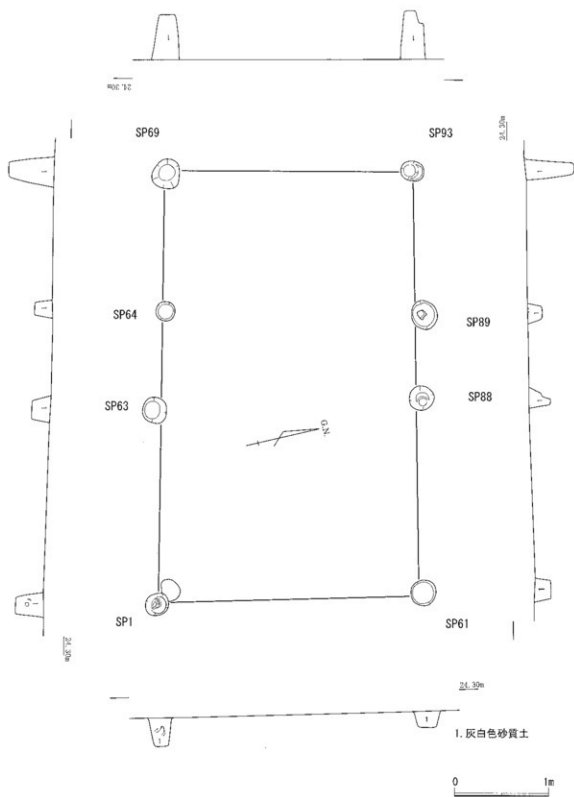
遺物はSP250・283・290から出土しており、詳細は各々柱穴の項目を参照されたい。

**SB4** B調査区中央東寄りで見出した掘立柱建物跡である。南東隅から反時計回りにSP167・166・268・(3)・329・330・271と構成される。1×2間の側柱建物跡であり、梁行総長約2.2m、桁行総長約3.8m、床面積は約8.4㎡を占める。柱間は梁行約2.2m、桁行約3.2mである。柱穴は円あるいは不整形をなし、 $0.4 \pm 0.2$ mの径、 $0.4 \pm 0.2$ mの深度である。特にSP166・167・330が深さをもつ。埋土はすべて灰白色砂質土であり、SP329からは根石を検出した。

遺物はSP271・329から出土しており、詳細は各々柱穴の項目を参照されたい。

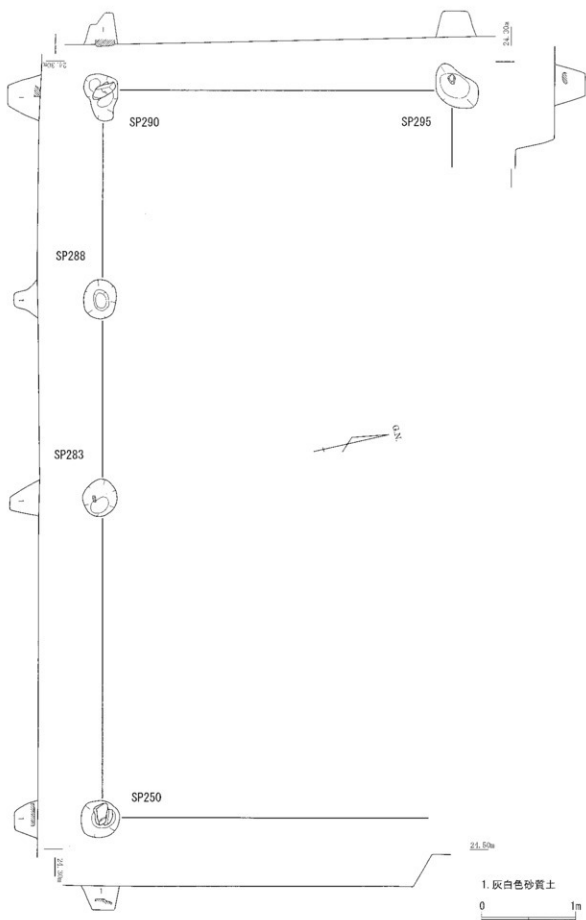


第 14 图 SB1 平·断面图

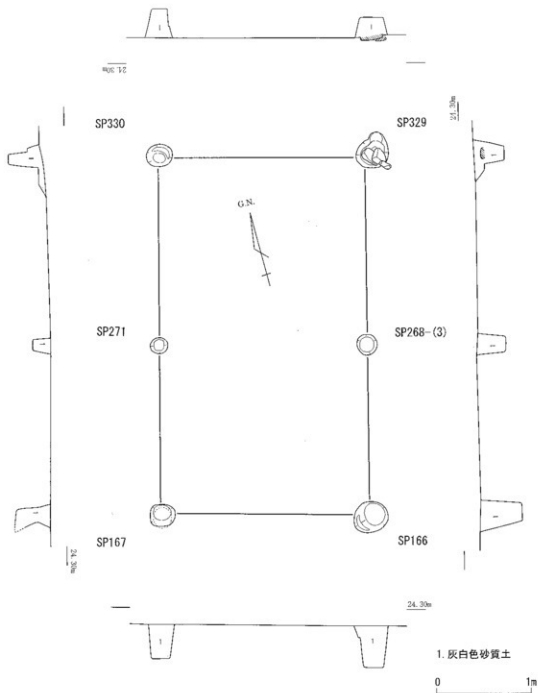


第15圖 SB2 平・断面圖





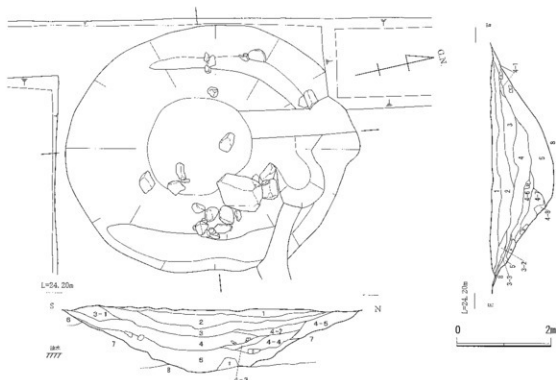
第 16 图 SB3 平·断面图



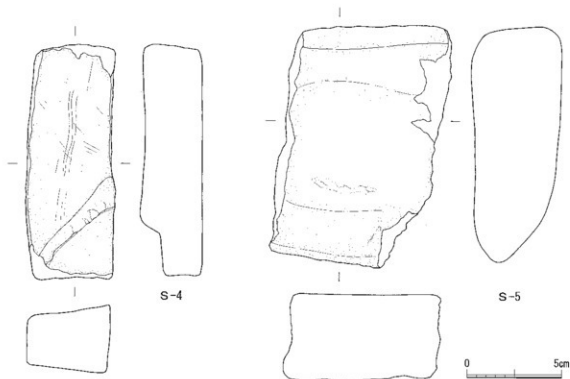
第17図 SB4 平・断面図

(2) 井戸

SE1 B区南西隅で検出した円形の素掘りの井戸である。長軸約3.9m、短軸約3.3m、深度約0.8mを掘り、東西の壁面上部に小さなテラスを伴う。埋土は灰白色粗砂、灰色砂混じりシルト、黄灰色砂混じりシルト、黄灰色砂質シルト、黄灰色粘土と堆積し、人頭大〜一抱え大の石を伴う。第2節までに触れた旧河道の水脈が源泉となり、この時期に利用されたと考えられる。

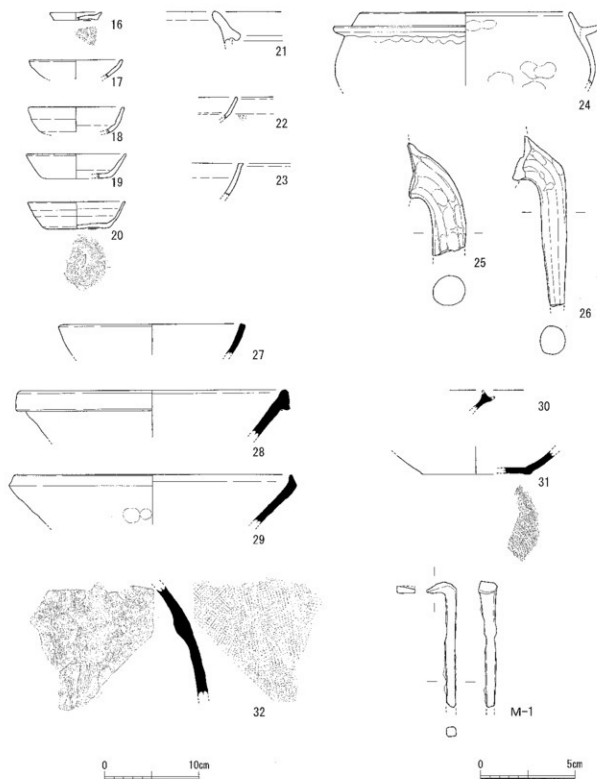


- |  |   |
|--|---|
| <p>1. 灰白色 (2.5Y8/2) 細砂 (鉄分少量)</p> <p>2. 灰色 (5Y5/1) 砂混じりシルト (灰黄色細砂を機軸に含む)</p> <p>3. 黄灰色 (2.5Y6/7) 砂混じりシルト (灰白色シルトを機軸に含む)</p> <p>3-1. 黄灰色 (2.5Y6/1) 砂混じりシルト (緑色を)</p> <p>3-2. 黄灰色 (2.5Y6/1) 砂混じりシルト (灰黄色細砂混じる)</p> <p>3-3. 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト質粘砂 (炭化物・土器片を含む)</p> <p>4. 黄灰色 (2.5Y5/1) 砂質シルト (緑まらぬい・木質遺物・炭化物を含む)</p> <p>4-1. 灰黄色 (2.5Y7/2) 砂質シルト</p> <p>4-2. 黄灰色 (2.5Y5/1) シルト質粘土</p> <p>4-3. 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト質粘土</p> | <p>4-4. 灰黄色 (2.5Y7/2) 砂質シルト (黄灰色粘質土混じる)</p> <p>4-5. 黄灰色 (2.5Y5/1) 砂混じりシルト (灰黄色砂混じる 黒色粘土塊を含む)</p> <p>4-6. 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト質粘土 (緑まらぬい)</p> <p>4-7. 灰オリーブ (5Y5/2) 細砂 (黄灰色粘土質混じる 緑まらぬい)</p> <p>4-8. 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト質粘土</p> <p>5. 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘土 (SE1埋土1~5)</p> <p>6. 黄褐色 (7.5Y3/1) 砂混じりシルト質粘土 (相川遺土)</p> <p>7. 赤褐色 (2.5Y7/3) 粘砂・灰黄色 (2.5Y7/2) 砂・粘砂・明黄褐色 (10Y6/2) 粗砂のラミナ状堆積</p> <p>8. 明黄褐色 (2.5Y6/6) 粘土 (6-8 SE1の基盤層)</p> |
|--|---|



第18図 SE1平・断面図、出土遺物実測図①

遺物は、土師質土器 (16～21・24～26)、須恵質土器 (27～29・31・32)、青磁 (22)、白磁 (23)、須恵器杯口縁部片 (30)、平砥石 (S-4・S-5)、鉄釘 (M-1) が出土している。16 は底部を回転ヘラ切り成形した皿、17～20 は杯である。17・18 は口縁部、19・20 は体部である。20 はヘラ切り後ナデ、板状圧痕を残す。21・24～26 は足釜である。21

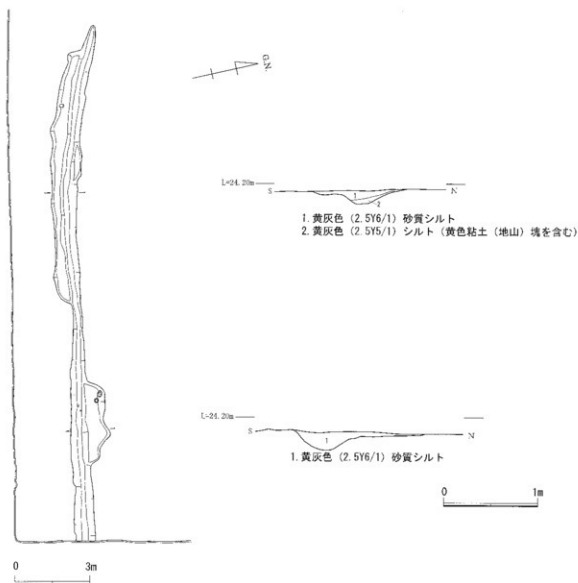


第19図 SE1出土遺物実測図②

21は口縁部片、24は罫下端ならびに内面に指頭圧痕が施された体部片、25・26は内外面に指頭圧痕が観察できる脚部である。27～29は鉢口縁部片、31は器止糸切りが施された底部片、32は外面に格子状タテキ痕を観察できる甕体部片である。28は口縁外面に重ね焼きの痕跡が認められ、29は外面に指頭圧痕が見られる。22は外面に樽目文が施された同安窯系、23は白磁碗V類に属すると思われる口縁部片である。平砥石のS-4は泥岩製、S-5は砂岩製である。22・23は土師質・須恵質土器よりもやや古相であるが、遺構の時期に帰属すると考えられ、30・32は古墳時代後期に属するので、混入であろう。

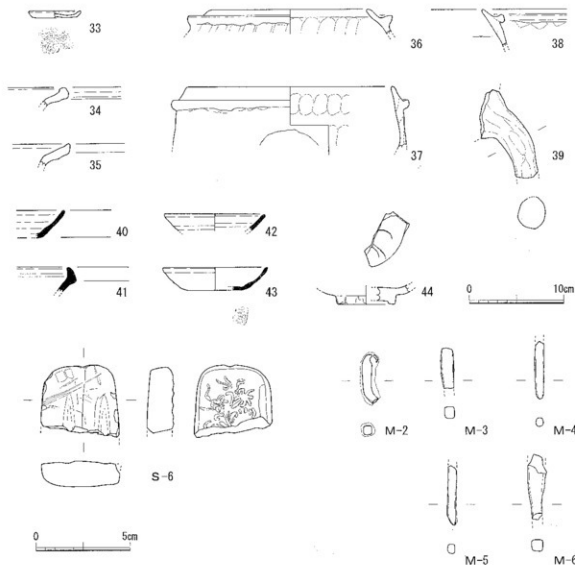
### (3) 溝

SD1 B区南端で東西方向に走る溝で、幅0.2m～1.2m、深度0.1m～0.2mである。南・北壁の各々にテラス状の段が認められる。深度においては東から西へ上る勾配が見られ、溝の排水方向が伺える。主軸方位はN-80°-Wを示し、東西方向に条里と並行して走ることから区画溝と考えられ、直行する位置関係にある後掲のSD1-3とはつながっておらず、区画への出入り口の可能性があると考えられる。埋土は黄灰色砂質シルトである。



第20図 SD1 平・断面図

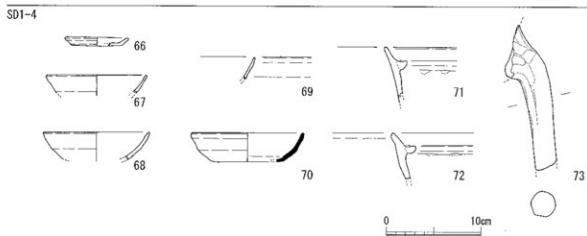
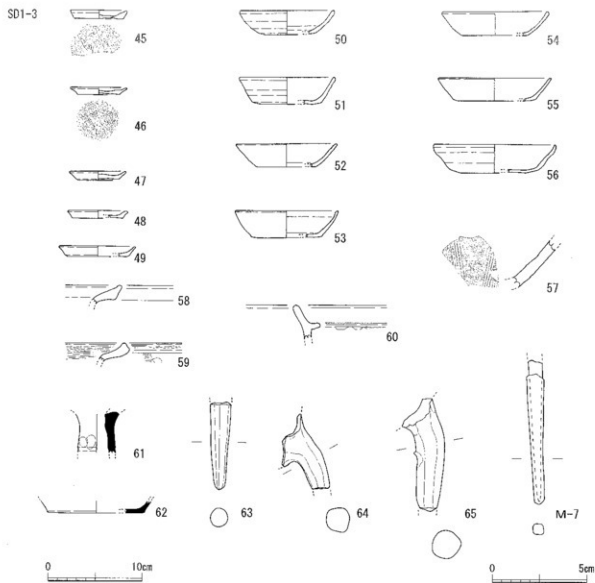
遺物は土師質土器(33～39)、須恵質土器(40～43)、青磁(44)、砾石(S-6)、鉄釘片(M-2～M-6)が出土している。33は底部に回転ヘラ切りの痕跡を残す皿、34は莞口縁部片、35は鍋口縁部片である。36～38は鈔下端に板状工具による押圧が施された足釜口縁部であり、38は内面に粘土紐の痕跡が確認できる。39は足釜脚部片である。40・42・43は杯で、40・43は底部に糸切り痕を残す。41は捏鉢口縁部片で、外面に重ね焼きの痕跡を持ち、東播系須恵器である。44は龍泉窯系青磁碗の底部片、S-6は擦痕のついた滑石製の砥石である。M-2の鉄釘両端の欠損は折れたというよりも引きちぎれたような状況である。



第21図 SD1 出土遺物実測図

SD1-3 B区中央西寄り、条里に並行して南北方向に検出した溝である。埋土は炭化物を含んだ黄灰色砂混じりシルトである。

遺物は土師質土器(45～56・58～60, 63～65)、陶器(57)、須恵器(61・62)、鉄釘(M-7)が出土している。45～49は底部に回転ヘラ切りを施した皿である。47～49はその後にナデ調整が加えられている。50～56は杯である。56の底部は回転ヘラ切り痕を残す。



第22图 SD1-3, 1-4, 1-5 各出土物实测图

57は備前系の播磨体部片である。58・59は鍋口縁部片で、59は外面に指頭圧痕が観察できる。60は足釜口縁部片で罅下端に爪形圧痕が見られる。61は高杯脚部片、62は底部片である。

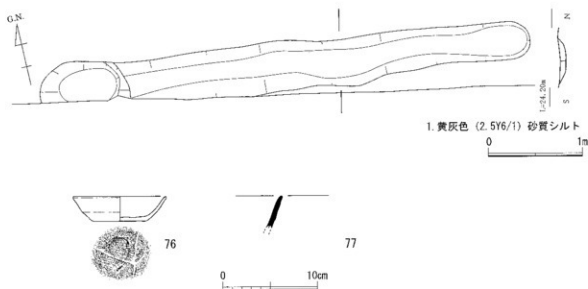
SD1-4 B区中央やや南寄りで東西方向に検出した溝である。前述のSD1と同じく東西方向の地割に並行する。埋土は黄灰色砂混じりシルトである。

遺物は土師質土器(66～69・71～73)、須恵質土器(70)が出土している。66は底部に回転ヘラ切り後ナデ調整を施した皿、67～69は杯の口縁部、71・72は罅下端に指頭圧痕を施した足釜の口縁部、73は体部との接合部分に格子状タケの痕跡が残る脚部である。70は外面に重ね焼きの痕跡が観察できる杯口縁部である。

SD1-5 B区西側でSD1-3に並行して検出した溝である。埋土は炭化物を含む黄灰色砂混じりシルトである。遺物は罅下端に指頭圧痕を施した土師質土器足釜口縁部片(74)と須恵器底部(75)が出土している。

SD4 B区南端で東西方向に検出した溝である。埋土は地山である黄色粘土塊を含む黄灰色シルトの単層である。

遺物は須恵器土師質土器(76)、(77)ほか、細片が出土している。76は底部に回転ヘラ切り後ナデ調整を施した杯、77は口縁部片である。



第23図 SD4 平・断面図、出土遺物実測図

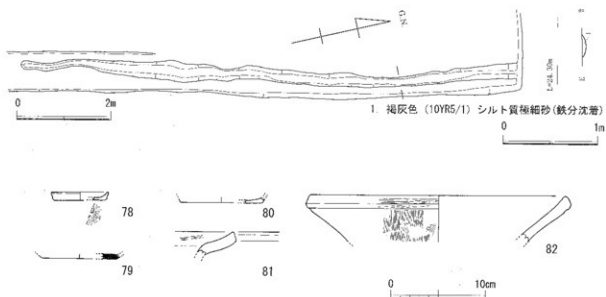
SD19 B区北東で南北方向に検出した溝である。埋土は鉄分の沈着した褐灰色シルト質極細砂の単層である。

遺物は、土師質土器(78・80～82)、須恵質土器(79)が出土している。78は底部を回転ヘラ切りした皿、80は杯底部片、81は鍋もしくは甕口縁部片、82は捏鉢口縁部片である。79は底部をヘラ切り後ナデ調整した杯片で、混入と考えられる。

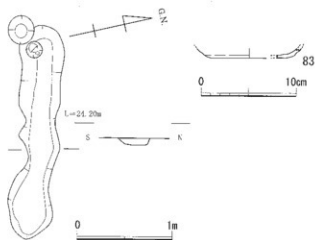
SD21 B区北西隅で東西方向に検出した溝である。土師質土器底部片(83)が出土している。

SD22 B区北端に北東方向に検出した溝である。後述のSD29に切られる。埋土は黒色シルト質粘土で、弥生土器底部片(84)が出土している。





第24図 SD19 平・断面図, 出土遺物実測図



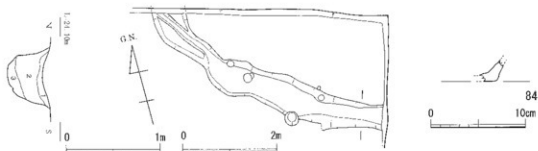
第25図 SD21 平・断面図, 出土遺物実測図

SD28 A区で南北方向に検出した溝である。埋土は浅黄色極細～粗砂, 褐灰色砂泥じりシルトである。

遺物は, 土師質土器 (85～88) と須恵質土器口縁部片 (89) が出土している。86は皿, 88は足釜脚部, 87は摺鉢口縁部片である。

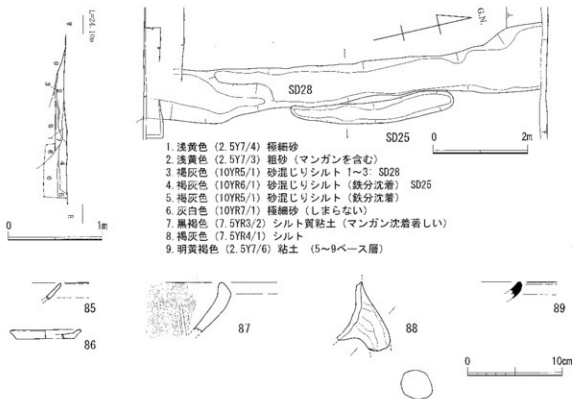
SD29 B区西寄りで概ね南北方向に検出した溝である。前述のSD22を切る。埋土は浅黄色粗砂の単層であることから, 調査区を隔てる畦を越え, 前掲のSD28と同一遺構の可能性がある。

遺物は, 土師質土器杯 (90・91), 鉄釘 (M-8) が出土している。90は底部回転ヘラ切り後ナデ調整を施し, 91は口縁部片である。



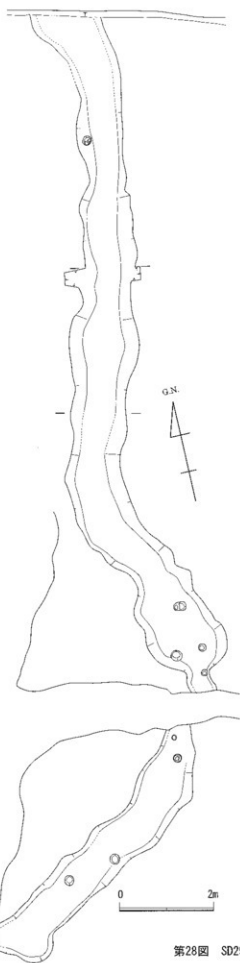
1. 褐灰色 (7.5RY6/1) 砂礫混じりシルト (黄色粘土 (地山) を塊状に含む 鉄分沈着)
2. 黒褐色 (7.5RY3/1) 礫混じりシルト質粘土 (黄色粘土 (地山) を塊状に含む 鉄分沈着)
3. 灰色 (5Y4/1) 砂質シルト (0.5~1cm位の礫を含む)

第26図 SD22 平・断面図, 出土遺物実測図



1. 淡黄色 (2.5Y7/4) 極細砂
2. 淡黄色 (2.5Y7/3) 粗砂 (マンガンを含む)
3. 褐灰色 (10YR5/1) 砂混じりシルト 1~3: SD28
4. 褐灰色 (10YR6/1) 砂混じりシルト (鉄分沈着) SD25
5. 褐灰色 (10YR5/1) 砂混じりシルト (鉄分沈着)
6. 灰白色 (10YR7/1) 極細砂 (しまらない)
7. 黒褐色 (7.5YR3/2) シルト質粘土 (マンガン沈着著しい)
8. 褐灰色 (7.5YR4/1) シルト
9. 明黄褐色 (2.5Y7/6) 粘土 (5~9ベース層)

第27図 SD28 平・断面図, 出土遺物実測図



L=24.20m

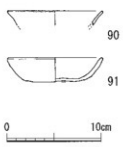


1. 浅黄色 (2.5Y7/4) 粗砂 (埋土)

L=24.30m



1. にぶい黄褐色 (10YR7/4) 中砂 (鉄分沈着)
2. 灰黄色 (2.5Y7/2) 細砂
3. 灰白色 (5Y7/2) 粗砂
4. 浅黄色 (5Y7/3) 細砂 (粗砂を含む 締まらない)
5. 灰黄色 (2.5Y6/2) 細砂 (締まらない)



第28図 SD29 平・断面図, 出土遺物実測図

(4) 土坑・ピット

SK3 B区中央部西寄りで見出した土坑である。埋土は基盤層の黒褐色土・黄色土を塊状に含む灰白色砂混じりシルトであり、炭化物を若干含む。遺物は鏝部以下に煤が付着した土師質土器足釜(92)が出土している。外面に板状工具による押圧が施されている。

SK4 B区中央東寄りで見出した土坑である。埋土は上層が固く締まり、鉄分・マンガンの沈着した灰白色の粗砂混じりシルト、下層が地山の黄色粘土を塊状に含む褐色シルト質粘土である。

遺物は土師質土器(93～99)、須恵質土器(100)が出土した。これらは概ね遺構と同時期に帰属すると考えられる。93・94は底部に回転ヘラ切りの痕跡が確認できる皿、95は杯である。96は鏝下端に爪形圧痕と体部下半および脚接合部には格子状タタキの施された足釜片、97・98は足釜脚部、99は管状土錘である。100は体部に指頭圧痕後ナデを施した捏鉢片である。

SP1 B区南東でSP59を切るピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。図化した土師質土器杯(101)・足釜(102)が重ねられた状態で出土した。101は完形、102は口縁部が概ね残存していたため、これらは意図的に据えられたと解釈できる。出土状況から、柱穴の中に存在した柱を抜いた後、柱穴内に埋納あるいは廃棄した土器を並べて再利用したと考えられる。

SP14 B区南東で見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器足釜の口縁部片(103)が出土している。

SP18 B区南端中央やや東寄りでSD1の北側で見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器(105)と粘土塊(106)のほか、図化していないが、細片が出土している。105は外面下半に煤が付着した鍋の口縁部片である。106は全体的に被熱し、スサと思われる有機物を含有する。

SP19 B区南端中央やや東寄りでSP18の北側で見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯(107・108)と鉄釘片(M-9)が出土している。107は口縁部片、108は回転ヘラ切り痕を残す底部である。

SP22 B区南東で見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。鏝下端に指頭圧痕を残す土師質土器足釜(104)が出土している。

SP34 B区南端中央で前述したSD1とSD3の間で見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。外面下半に指頭圧痕を施した土師質土器鍋(109)が出土している。

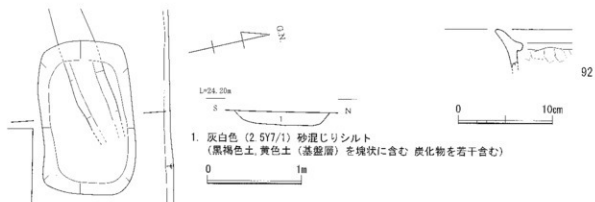
SP46 B区南端中央に位置し、前述したSD4を切るピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯(110)が出土している。

SP51 B区南端中央やや西寄り、前述したSD5の南側で見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。底部に回転ヘラ切り痕を残す土師質土器皿(111)が出土している。

SP58 B区南東で見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。鏝下端に爪形圧痕を施す土師質土器足釜(113)が出土している。

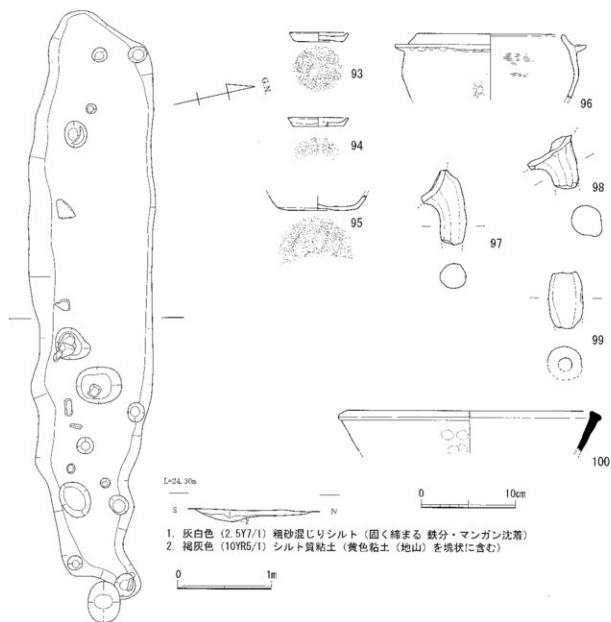
SP71 B区南東寄りで見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯の口縁部片(112)が出土している。

SP73 B区南東寄りで見出したピットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。外面に煤が付着した土師質土器鍋の口縁部片(115)が出土している。



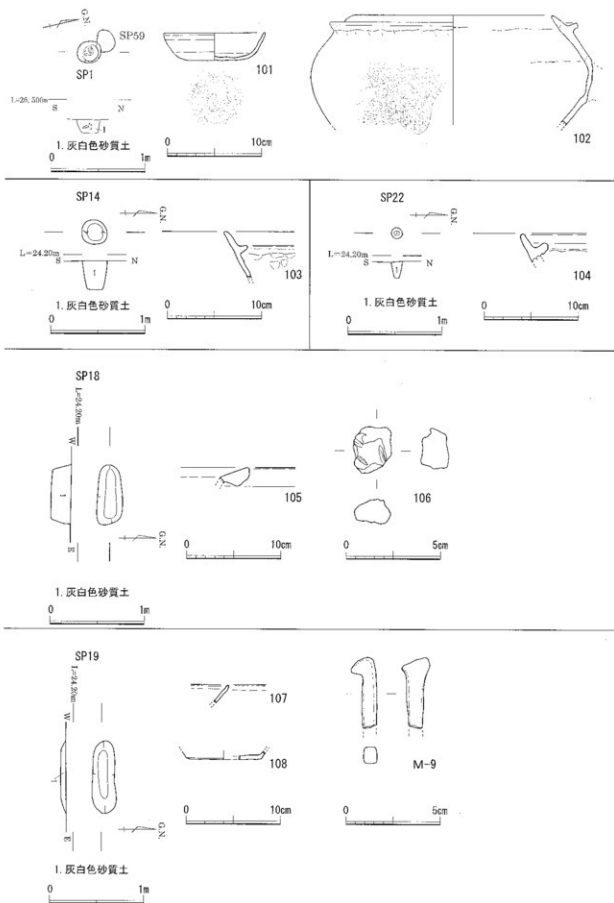
1. 灰白色 (2.5Y7/1) 砂混じりシルト  
 (黒褐色土, 黄色土 (基盤層) を塊状に含む 炭化物を若干含む)

第29図 SK3 平・断面図, 出土遺物実測図



1. 灰白色 (2.5Y7/1) 粗砂混じりシルト (固く締まる 鉄分・マンガン沈着)  
 2. 褐灰色 (10YR5/1) シルト質粘土 (黄色粘土 (地山) を塊状に含む)

第30図 SK4 平・断面図, 出土遺物実測図



第31图 SP 各平·断面图, 各出土遺物実測图①

SP80 B区南中央部でSD5の南側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器(117・118)が出土したほか、図化していない須恵器細片が出土している。117は内外面に指頭圧痕が見られ、鈎部以下に煤が付着した土師質土器足釜である。118は鍋の口縁部片である。

SP81 B区南西のSD5の南側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯の口縁部片(114)が出土している。

SP82 B区南西のSD5とSP81の間で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯の底部(116)が出土し、回転ヘラ切り後にナデを施した痕跡が観察できる。

SP92 B区中央東寄り、SD5の北側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。底部に回転ヘラ切り後ナデを施した痕跡を残す須恵器皿(119)が出土している。

SP93 B区中央東寄りでSP92の西側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器(120・121)が出土している。120は杯、121は鈎下端に指頭圧痕を施した足釜である。

SP95 B区中央東寄り、SP94の東側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。内面にヘラマガキが観察できる瓦器碗の口縁部片(122)が出土している。

SP103 B区中央東寄りでSP93の北側に位置し、SP104を切って形成されたビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。底部に回転ヘラ切りの痕跡を残す土師質土器片(123)が出土している。

SP105 B区中央東寄り、SK6の北側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。龍泉窯系と思われる青磁皿の細片(124)が出土している。

SP128 B区北東で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。内外面のマメツが著しい弥生土器片(125)が出土している。

SP129 B区中央南寄り、SD11を切って形成されたビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。須恵質土器(127)と土師質土器(126)が出土している。127は高台付碗の底部で回転ヘラ切りの痕跡を残し、126は内面に付着物、底部に回転ヘラ切り後にナデの存在が観察できる皿である。

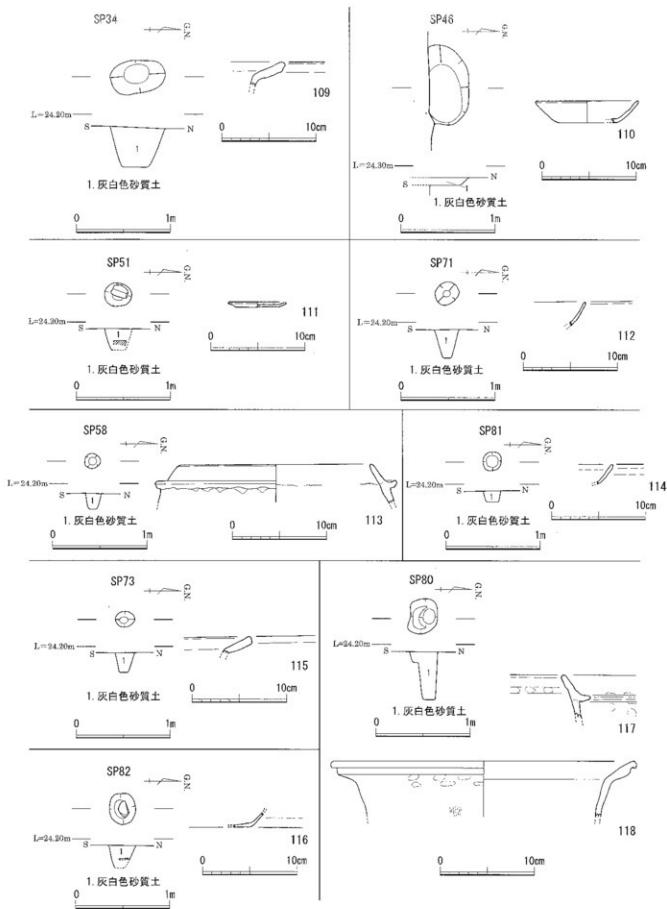
SP130 B区中央南寄り、前掲のSP129の東側でSD11を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯(128・129)が出土している。128は口縁部片で、129は底部片である。

SP131 B区中央南寄り、SD11の南側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。種類不明の鉄塊(M-10)が出土している。

SP135 B区中央やや南東寄り、SD1-4の南側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。須恵質土器口縁部片(130)が出土している。

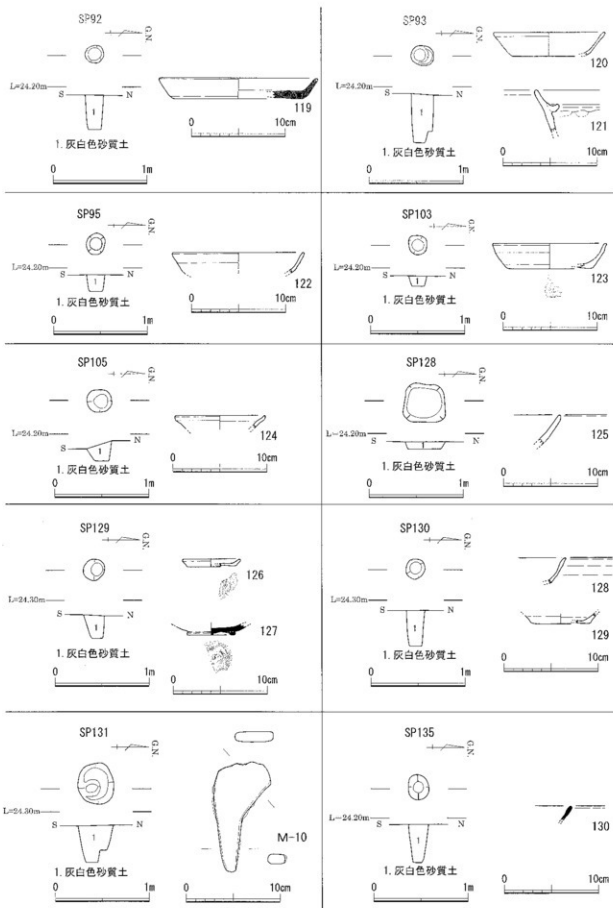
SP150 B区中央でSD1-4を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器皿(131)が出土している。

SP152 B区中央やや南西寄りでSD1-4を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。鈎下端に指頭圧痕を施し、外面に煤が付着した土師質土器足釜(132)が出土している。



第 32 图 SP 各平·断面图, 各出土遺物実測图②





第33圖 SP 各平・断面圖，各出土遺物實測圖③

SP179 B区中央やや北寄りで検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。底部にヘラ切り後ナデが施された痕跡を残す土師質土器杯(133)が出土している。

SP185 B区南西, SD29の南東で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器(134・135)が出土している。135は口縁部片, 134は底部に回転ヘラ切りが施された皿である。

SP188 B区中央西寄りで, SD1-4を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。柱材と思われる木片(W-1)が出土し, 自然科学分析の結果, ニレ科ニレ属と同定された。

SP189 B区中央西寄り, SP188の南西で, SD1-4を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。白磁皿の底部片(136)が出土している。

SP213 B区北東隅, SD17とSD16の間で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。底部に回転ヘラ切りが施された土師質土器皿(137・138)が出土している。

SP216 B区北東隅, SD17を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器皿(139・140), 須恵器皿(141)土師質土器鍋口縁部片(142)・足釜脚部片(143)が出土している。

SP217 B区北東隅, SD17の北側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。須恵質土器口縁部片(144)が出土している。

SP220 B区北東で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。内面にハケ調整が観察できる土師質土器鍋の口縁部片(145)が出土している。

SP232 B区北東, SD17の北西で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。底部に回転ヘラ切りの痕跡を残す土師質土器杯(146)が出土している。

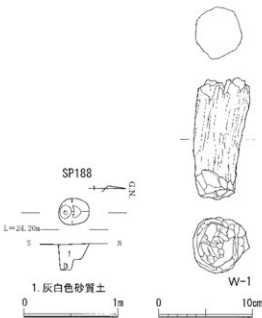
SP233 B区北東隅, SD17とSD16の間で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯の口縁部片(147)が出土している。

SP240 B区中央やや北東寄りで検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。回転糸切り痕が残る土師質土器底部(148), 鉄釘(M-11)が出土している。

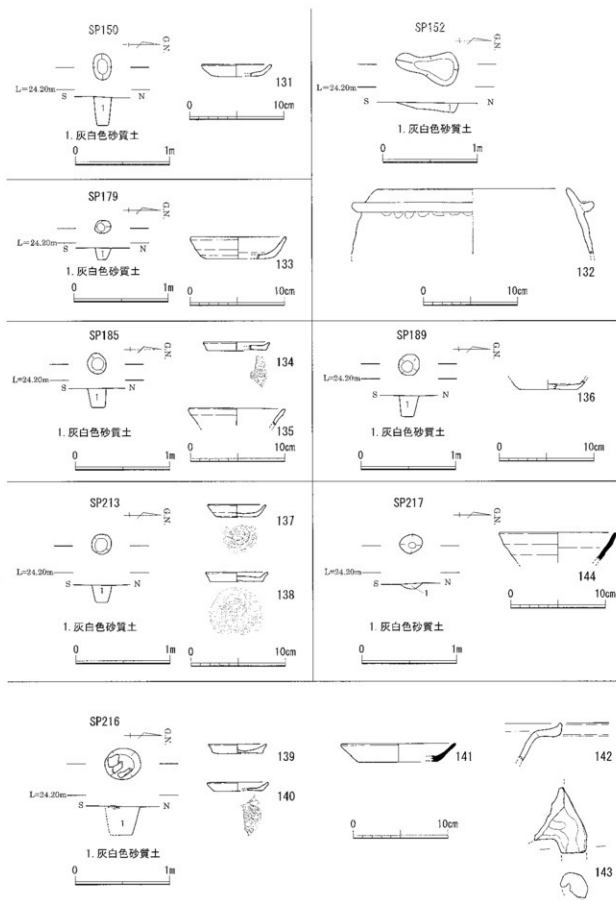
SP247 B区北寄り, SK4の北東で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。鋤下端に指頭圧痕を観察できる土師質土器足釜(149)が出土している。

SP248 B区北寄り, SP247の西側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器鍋(150)が出土している。

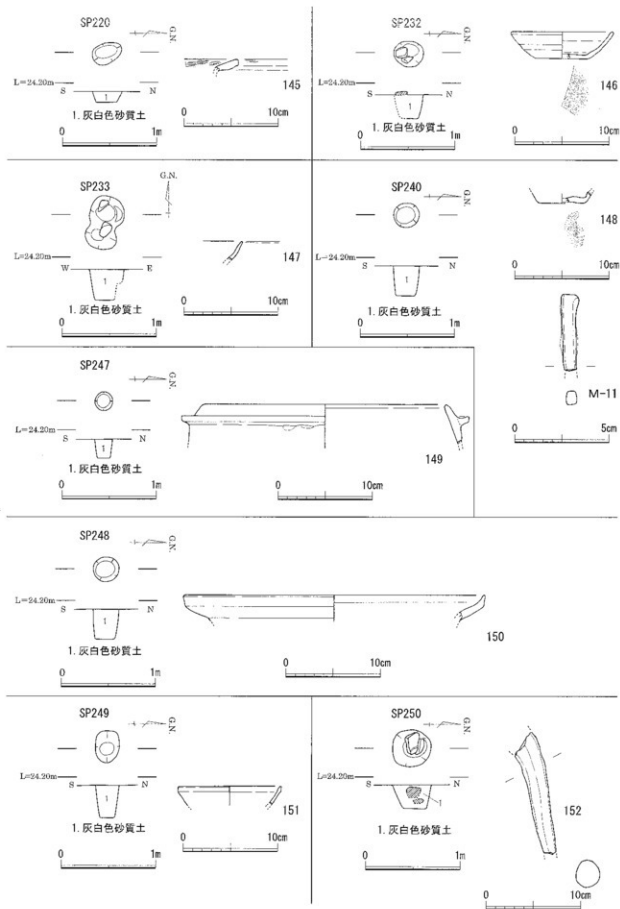
SP249 B区北寄り, SP247の北側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器口縁部片(151)が出土している。



第34図 SP188 平・断面図, 出土遺物実測図

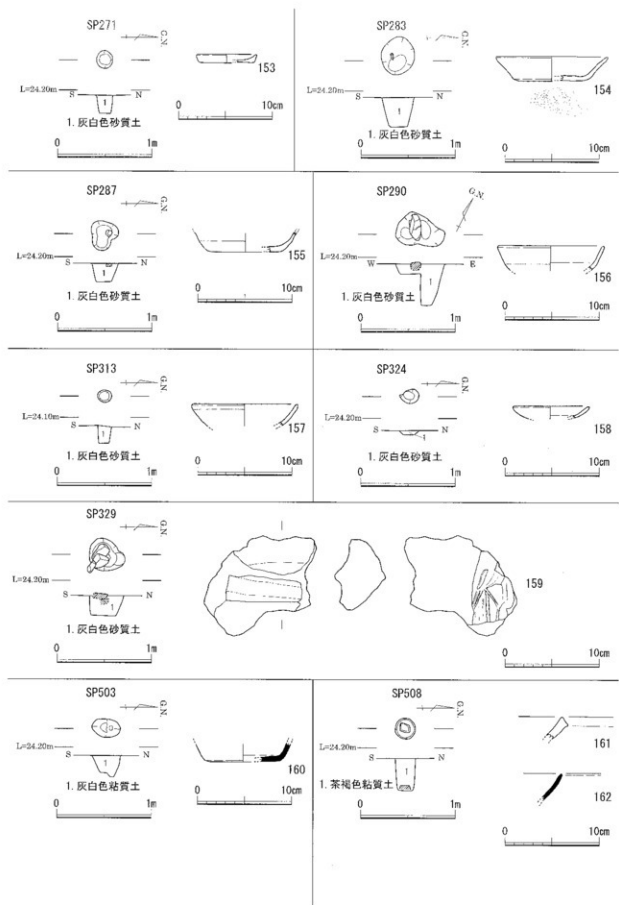


第 35 图 SP 各平·断面图, 各出土文物实测图④

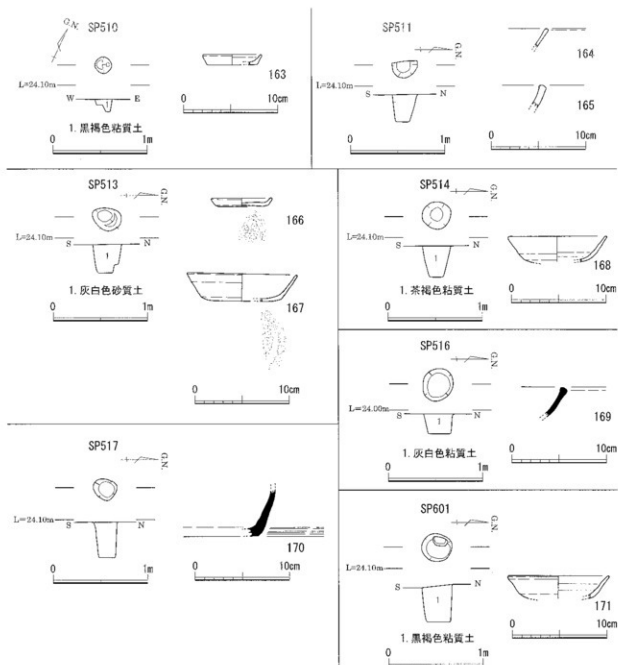


第36图 SP 各平·断面图, 各出土遺物实测图⑤

- SP250 B区北寄り、SP247・SP248の北側、SP249の西側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器足釜の脚部片(152)が出土している。
- SP271 B区中央やや北寄り、SK4の南西側、SP179の北側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器皿(153)が出土している。
- SP283 B区北端やや中央寄り、SP282を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。底部が回転ヘラ切り成形された土師質土器杯(154)が出土している。
- SP287 B区中央北寄り、SK4の北側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯の底部(155)が出土している。
- SP290 B区中央北寄り、SD12を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器杯(156)が出土している。
- SP313 B区北西隅、SX2の北側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器口縁部(157)が出土している。
- SP324 B区中央やや北寄り、SP290の南側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。瓦器皿(158)が出土している。
- SP329 B区で前述のSK4内で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。被熱した石材とともに、焼粘土塊(159)が出土している。159は茅と思われる有機物を含み、筒形の押圧痕が縦横に観察できる。このような根石や土壁などの様相から構造物が存在したと考えられる。
- SP503 B区南側やや西寄り、SD5を切るビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。回転ヘラ切り後ナデが施された須恵器杯の底部片(160)が出土している。
- SP508 B区中央やや南西寄り、SD29の中で検出したビットである。埋土は茶褐色粘質土である。土師質土器(161)と須恵質土器(162)が出土している。161は鉢口縁部、162は外面に重ね焼きの痕跡が観察できる口縁部である。
- SP510 B区北西隅、SD21の中で検出されたビットである。埋土は黒褐色粘質土である。土師質土器皿(163)が出土している。
- SP511 B区北西隅、SK8の南側で検出したビットである。瓦器碗口縁部片(164)、土師質土器口縁部片(165)が出土している。
- SP513 B区北西隅、SD21の東側で検出したビットである。埋土は灰白色砂質土の単層である。土師質土器(166・167)が出土している。166は皿で、167は底部に回転ヘラ切りを施した杯である。
- SP514 B区北西隅、SP513の東側で検出したビットである。埋土は茶褐色粘質土である。口縁部に重ね焼きの痕跡を残す土師質土器杯(168)が出土している。
- SP516 A区中央西寄りで検出したビットである。埋土は灰白色粘質土である。須恵質土器口縁部(169)が出土している。
- SP517 B区中央、SD1-3とSD29の間で検出したビットである。外面に条痕が観察できる須恵器壺の底部片(170)が出土している。
- SP601 A区南端やや西寄りで検出したビットである。埋土は黒褐色粘質土である。土師質土器杯(171)が出土している。



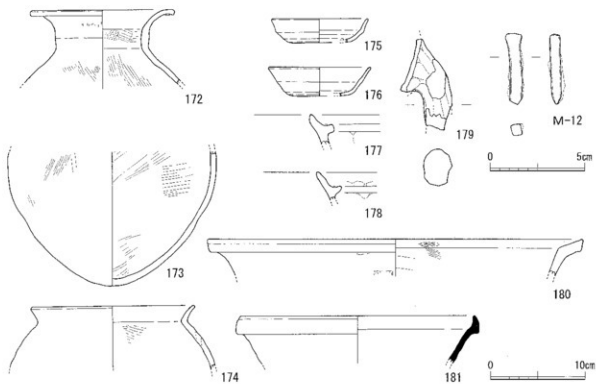
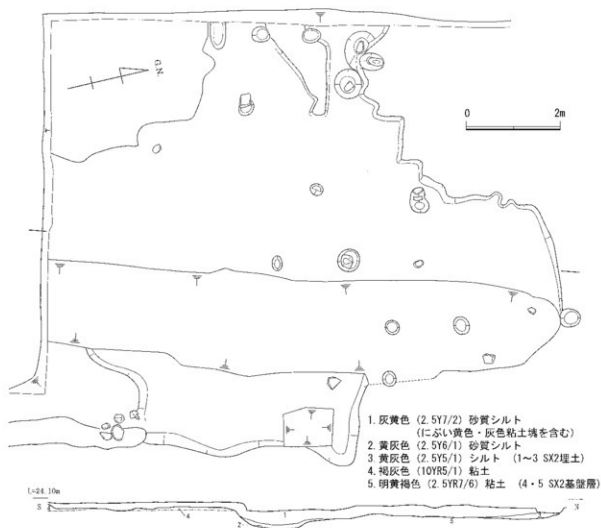
第 37 图 SP 各平·断面图, 各出土文物实测图⑥



第38図 SP各平・断面図、各出土遺物実測図⑦

(5) 性格不明

SX2 B区北西隅で検出した不定形の遺構である。埋土は灰黄色砂質シルト、黄灰色砂質シルト、黄灰色シルトである。内外面にハケ調整が施された弥生土器壺口縁部片(172)、底部片(173)、弥生土器甕(174)が出土している。172と173は同一個体と考えられ、174と併せ、下層位の旧河道からの巻き上げによる混入と考えられる。また、土師質土器(175～180)、鉄釘(M-12)、須恵質土器捏鉢口縁部片(181)が出土している。175・176は杯、177・178・179は足釜である。177・178は罌下端に指頭圧痕が施された口縁部、179は内外面に指頭圧痕が認められる脚部である。180は外面に指頭圧痕が観察できる鍋口縁部である。



第39図 SX2 平・断面図, 出土遺物実測図



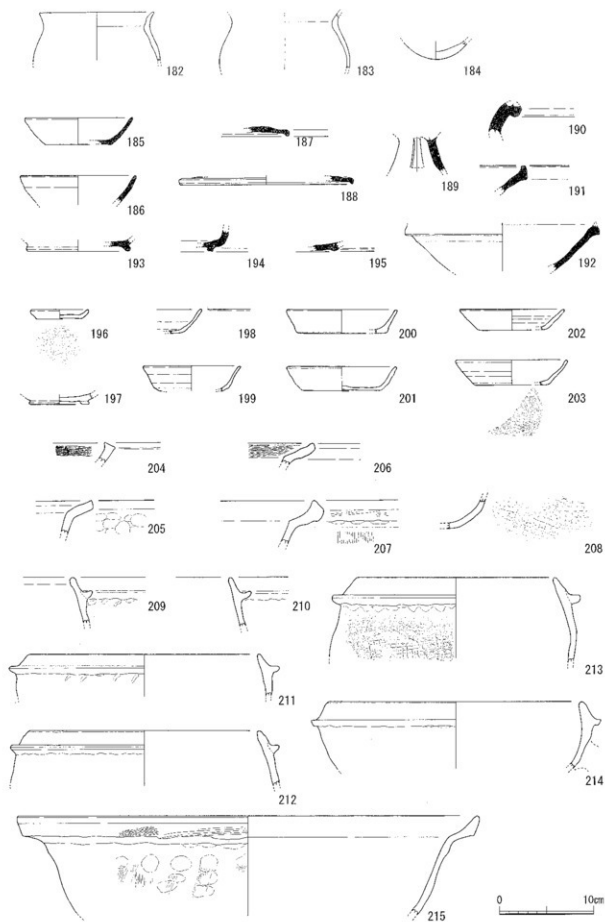
#### (6) 包含層等出土遺物

遺構面精査時や機械掘削時などにより検出した遺物である。弥生土器(182～184)、須恵質土器(185・191・192・195)、須恵器(186～190・193・194)、土師質土器(196～215)、陶磁器(216～218)、石製品(S-7・S-8)、鉄製品(M-13・M-14)が出土した。182・183は甕である。184は底部片であり、外面に黒斑を有する。185は杯、191・192は鉢の口縁部、195は碗の底部である。186～188・190は口縁部であるが、187・188は甕である。189は透かしをもつ高杯の脚部である。193・194は底部であり、193は皿である。196は微量の砂粒を含む胎土で底部に回転ヘラ切り後ナアの調整が観察できる皿である。197は碗の底部である。198～203は杯である。203は底部に回転ヘラ切りと板目状圧痕が見られ、202は内面にハケの調整、口縁端部内面に被熱痕が見られる。204～207・215は鍋で204～207は口縁部である。204は外面が被熱し、煤付着が目立ち、205は内外面ともに被熱し、外面の調整には指頭圧痕が観察できる。215は口縁部にハケ調整が見られ、体部も指頭圧痕後ハケ調整が認められる。208は足釜の底部であり、格子状のタタキ痕が残されている。209～212・214は足釜で、209～212は口縁部である。209・212は罎部以下煤付着が著しく、209・210は外面の指頭圧痕、211は罎下端に爪形圧痕、214は指頭圧痕が認められる。213は羽釜口縁部である。外面の被熱が著しく、罎下端に指頭圧痕、体部に格子状タタキが観察できる。216は白磁碗口縁部である。白磁碗Ⅳ類に分類される。217は青磁碗口縁部である。鍋連弁文が施され、龍泉窯系のもと思われる。218は備前系陶器の甕体部である。内面にはヘラ削りが施され、外面にはスタンプ紋が認められる。S-7は安山岩の砥石と思われる、S-8は硬質砂岩性の砥石である。M-13は鉄釘片、M-14はほぼ原形をとどめた鉄釘である。

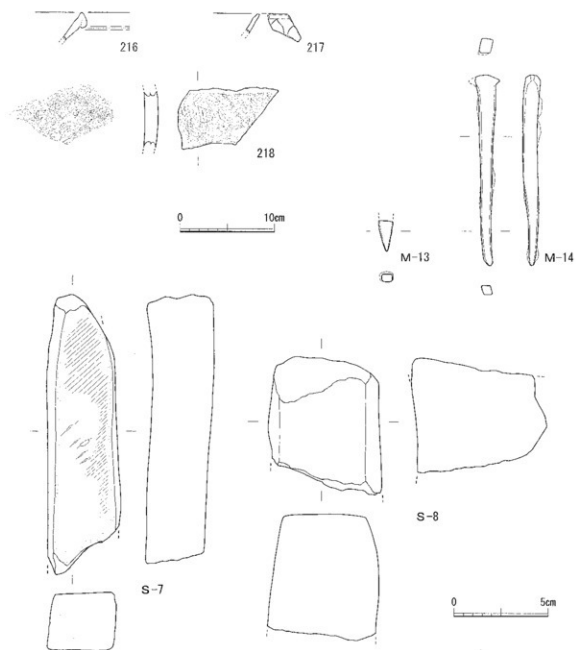
#### 第4節 平成23年度調査

C区は東西長約4m、南北長約8.5mの長方形を呈する。コミュニティセンター等建設工事と並行して行われたため、調査区を限定し、表土は40～50cm剥がれた状況であった。調査は北西隅・南東隅に断割りを施し、前調査との関連を土層で確認しつつ、ビット5基(SPC1～5)、土坑1基(SK1)を検出した。

南東隅の断割りでは、擾乱を受けているものの、後述する他のビットと共通した埋土と明黄褐色粘土の地山の存在が壁面で確認できた。南北の壁面ではこの地山と黄灰色細砂混じりシルトの埋土を切ったSK1の存在が確認できた。SK1は西側に平面状で確認できないので、土坑かビットと考えられる。北西隅の断割りでは、南東隅と同質の地山を確認した。調査開始時には既に表土が剥がれていたことも一因と考えられるが、南東隅で確認した地山直上の埋土はここでは確認できなかった。SPC1～3、SPC5からは共通して地山ブロック土を含んだ黄灰色系シルト質細～中粒砂で、21年度調査区の第1遺構面の埋土と類似したものを検出している。これらの検出面の高低から、北西から南東に下る勾配が想定される。SPC1からは図化していないが、土器細片が出土している。SPC3からは土師器甕の口縁部片(219)が出土した。中世に属すると思われるが、細片のため同定は難しい。SPC4の埋土は灰色シルトである。SPC5は壁面でその遺構の一部を確認するとどまった。21年度の調査で検出した地割りと並行する溝や旧河道等に関連する遺構の検出が期待されたものの、著しいものは認められなかった。



第40图 包含层出土遗物实测图①



第41图 包含層出土遺物実測図②



## 第5章 まとめ

ここでは本遺跡の調査成果を4期に大別し、そのまとめを行いたい。

### 1期

今回の調査を通じて、本遺跡の最初期は旧石器時代に求められ、片緑調整ナイフ形石器の出土により、その一端を垣見ることができる。著しい遺構は検出できていないが、近隣に国府型ナイフ形石器の出土した雨山南遺跡が存在することから、この時代の活動域については、今後の周辺での調査が期待される。

### 2期

SR3出土の弥生時代前期に属する壺や弥生時代後期から見られる丸味を帯び縮小化した底部をもつ甕などの存在により、旧河道の稼働期はこの範疇に収まると考えられる。しかし、この時期に該当する著しい遺構は、本遺跡では検出できていない。北方に位置する三谷中原遺跡・鎌野西遺跡・北野遺跡でも同時期に比定できる河川等や一括した土器が検出されている。

### 3期

弥生時代終末頃より河川が埋没し、それに伴い微高地に概ね東西方向へ走る溝が所々に出現したと考えられる。SD5、SD17出土の須恵器皿から時期は9世紀代に同定でき、これらの溝は微高地上に幹線水路として流れ、この周囲には生産域が広がっていた可能性が想定できる。

### 4期

本遺跡において、もっとも生活痕が認められた時期である。古代律令制の制定以降、設置された南海道に伴いSD19は条里に並行しており、本遺跡は千鳥式の条里呼称法では、山田郡7条7里27坪に該当したと考えられる。当郡においては、古代関連遺構や遺物が多く確認されており、前掲の三谷中原遺跡・北野遺跡でも地割に関連するこのような溝が検出されている。

山田郡7条7里22・27坪界に相当するSD1、27・28坪界に相当するSD1-3、SD28といった区画溝が出現し、これらに囲まれた微高地にはSBI~4といった堀立柱建物跡を検出した。高松市鬼無町の西打遺跡においても、同様に区画溝とその内外部に広がる建物群が確認された例がある。また11世紀から荘園が成立し、中世においてもその継続が見られた善通寺領の例を見ると、文書資料・古地図・発掘資料との相互検討から、12世紀~14世紀にかけての屋敷の分布と、その廃絶・新設の動向は必ずしも同一地点を踏襲せず、長期に亘り継続していないという状況が検証されており、本遺跡の例もこれに該当するであろう。この時期の遺物は、楠井産土師質土器足釜BⅡ・Ⅲ類、空港跡地分類における土師質土器杯DⅡ5~8、ⅢBⅢ4・5が目立ち、13世紀後半から14世紀前半と推定される。SD1における東播系須恵器控鉢、龍泉窯系青磁碗、SD1-3における備前系陶器播鉢などの搬入土器は13世紀後半~14世紀と考えられ、前述の遺構の年代と同時期であることが認められた。

### 引用・参考文献

- 香川県教育委員会・財団法人香川県歴史文化財センター1995「国分寺橋井遺跡」
- 香川県教育委員会・財団法人香川県歴史文化財センター2000「空港跡地遺跡Ⅳ」

第4表 遺構観察表

遺構番号	遺構面 (m)	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	平面形状	重複関係	埋土特徴	出土遺物
SR1	—	—	—	—	曲線	SD2003を切る	—	土器片
SR2	—	—	—	—	曲線	—	—	—
SR3	—	—	—	—	曲線	—	—	弥生土器器、不朔、土器破片
SD2003						SD2001に切られる	—	弥生土器器部、石鏡、石製品、サマカイト割片、土器破片
SD1	24.164	20.47	1.19	0.227	直線	—	黄灰色(2.5Y6/1)砂質シルト	須恵器器、細片、須恵質土器器杯、唇鉢、土師器器、土師質土器器、鏡、足盤、杯、蓋、白磁片、青磁鏡、土器破片、被焼した石、燧石、釘、瓦
SD1-2	24.197	3.63	0.5	0.099	直線	—	黄灰色(2.5Y6/1)砂質シルト	須恵質土器破片、土師質土器破片
SD1-3	24.128	21.78	1.57	0.24	直線	—	黄灰色(2.5Y6/1)砂混じりシルト(灰化物を含む)	土師質土器器足盤、杯、蓋、須恵質土器器杯、不朔、彌前系陶器器器、磁石、サマカイト割片、骨、土器破片、釘
SD1-4	24.156	13.01	2.22	0.129	直線	SD29を切る	黄灰色(2.5Y6/1)砂混じりシルト	須恵器器、不朔、須恵質土器器杯、不朔、土師質土器器器、足盤、杯、五瓦土器器口縁部、土器破片
SD1-5	24.175	11.96	0.93	0.277	直線	—	黄灰色(2.5Y6/1)砂混じりシルト(灰化物を含む)	須恵器器、不朔、土師質土器器器、杯、土器破片、被焼した石
SD2	24.153	3.84	0.5	0.095	直線	—	灰白色(5Y7/1)砂質シルト	土器破片
SD3	24.176	5.78	0.64	0.101	直線	—	灰白色(2.5Y7/1)砂質シルト	—
SD4	24.16	4.42	0.52	0.125	直線	—	黄灰色(2.5Y5/1)シルト	須恵器器、不朔、土師質土器器杯、破片
SD5	24.119	24.84	1.53	0.605	曲線	SD1-3、SD19に切られる	褐色系シルト	弥生土器器器部、不朔、須恵器器、土師質土器器器、木片、石製品
SD7	24.185	2.73	0.48	0.056	直線	—	黄灰色(2.5Y6/1)砂混じりシルト(鉄分沈着)	—
SD8	24.138	12.83	0.72	0.055	曲線	—	黒褐色(7.5YR3/1)シルト質粘土	土器破片
SD9	24.168	2.15	0.31	0.043	直線	—	黄灰色(2.5Y6/1)砂混じりシルト(鉄分沈着)	—
SD10	24.125	1.96	0.47	0.025	直線	—	黄灰色(2.5Y6/1)砂混じりシルト(鉄分沈着)	—
SD11	24.152	5.23	0.59	0.025	曲線	—	—	サマカイト割片
SD12	24.108	2.88	0.72	0.21	曲線	SD22を切る	褐色(7.5YR6/1)シルト(鉄分沈着)	—
SD15	24.128	7.67	0.54	0.174	直線	—	褐色(7.5YR5/1)シルト(鉄分沈着)	土器破片
SD17	24.08	8.51	0.82	0.569	直線	SD19に切られる	褐色～灰白色系シルト～シルト質粘土	須恵器器、須恵質土器器器部、土師器器、土器破片、サマカイト割片
SD18	24.075	3.96	0.34	0.122	直線	SD19に切られる	褐色(7.5YR6/1)シルト(鉄分・マンガシ沈着)	須恵質土器器破片、土師質土器器破片、土器破片、サマカイト片
SD19	24.06	13.27	0.54	0.156	直線	SD5、17、18を切る	褐色(10YR5/1)シルト質砂礫砂(鉄分沈着)	須恵質土器器杯、土師質土器器器、杯、唇、體鉢、土器破片
SD21	24.039	2.29	0.46	0.087	直線	—	—	須恵質土器器杯、土師質土器器器足盤、不朔、土器破片
SD22	24.108	16.06	1.05	0.257	曲線	SD12に切られる	黒色(7.5YR2/1)シルト質粘土	弥生土器器、不朔、土器破片、サマカイト片
SD23	24.03	2.35	0.48	0.057	直線	—	—	—
SD24	23.99	13.15	1.11	0.589	直線	SD29に切られる	灰オリブ色系砂礫～シルト	弥生土器器片?
SD25	23.926	4.31	0.61	0.112	直線	—	褐色(10YR6/1)砂混じりシルト(鉄分沈着)	—
SD28	23.934	9.89	1.76	0.35	直線	SD24を切る	黄褐色(2.5Y7/4)砂礫砂～磁砂(マンガンを含む)、褐色(10YR5/1)砂混じりシルト	須恵器器、須恵質土器器口縁部、土師質土器器器、足盤、體鉢、土器破片、サマカイト割片
SD29	24.132	27.88	1.9	0.28	曲線	SD1-4に切られる	黄褐色(2.5Y7/4)磁砂	土師質土器器器足盤、杯、不朔、釘
SD30	23.97	3.44	0.5	0.12	直線	—	黒色(7.5YR2/1)砂混じりシルト質粘土	—
SB1	—	6	3.2	—	方形	—	灰白色粘質土	各柱穴参照
SB2	—	4.6	2.5	—	方形	—	灰白色粘質土	各柱穴参照
SB3	—	7.6	3.8	—	方形	—	灰白色粘質土	各柱穴参照
SB4	—	3.8	2.2	—	方形	—	灰白色粘質土	各柱穴参照

通称 番号	造深面 (m)	矢輪 (m)	短軸 (m)	深度 (m)	平面 形状	置床関係	土質特徴	出土遺物
SE1	24.018	3.49	3.25	0.783	円形	—	灰白色系細砂～シルト、黄灰色系砂選じりシルト～粘土	須恵器壺・杯、須恵質土器鉢・壺、土師質土器白・豆、杯、鈴、黄磁瓶、白磁碗、磁石、釘、炭化物、不詳物
SE2	24.15	1.32	1.22	0.066	不整形	—	炭選じり暗褐色シルト	土師質土器杯、炭化材、焼酎した石葺
SK3	24.096	1.62	0.98	0.178	方形	—	灰白色(2.5V/1)砂選じりシルト	土師質土器足盤
SK4	24.136	6.3	1.36	0.134	舟底形	—	灰白色(2.5V/1)細砂選じりシルト、黄灰色(10R5/1)シルト質粘土	弥生土器片、須恵質土器壺、土師質土器足盤・杯・皿、土師細片、管状土器、石
SK6	24.129	1.52	1.04	0.214	隅丸方形	—	灰白色(2.5V/1)砂選じりシルト、黄白色(2.5R5/1)シルト	須恵器片
SK7	24.117	0.96	0.52	0.097	不整形	—	灰白色(2.5V/1)砂選じりシルト	—
SK8	23.996	1.05	0.75	0.099	隅丸方形	—	—	須恵器片、須恵質土器碗、土師質土器足盤・杯・皿、土師細片
SK9	23.98	1.26	1.11	0.191	台形	—	雑灰色系シルト～シルト質粘土	—
SP1	24.08	0.28	0.24	0.264	円形	—	灰白色砂質土	須恵質土器不明、土師質土器杯・足盤
SP2	24.02	0.19	0.12	0.049	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP3	24.006	0.23	0.21	0.054	円形	—	灰白色砂質土	—
SP4	23.516	0.39	0.29	0.537	不整形	—	灰白色砂質土	—
SP5	23.956	0.18	0.18	0.12	円形	—	灰白色砂質土	—
SP6	24.084	0.41	0.32	0.39	不整形	—	灰白色砂質土	—
SP7	24.09	0.24	0.12	0.054	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP8	24.118	0.25	0.25	0.116	円形	—	灰白色砂質土	—
SP9	24.121	0.27	0.31	0.443	円形	—	灰白色砂質土	須恵質土器片
SP10	24.125	0.43	0.39	0.29	円形	—	灰白色砂質土	—
SP11	24.135	0.27	0.26	0.097	円形	—	灰白色砂質土	—
SP12	24.128	0.3	0.3	0.044	円形	—	灰白色砂質土	—
SP13	24.12	0.26	0.24	0.3	円形	—	灰白色砂質土	—
SP14	24.128	0.28	0.25	0.29	円形	—	灰白色砂質土	須恵質土器鉢、土師質土器杯・足盤
SP15	24.132	0.25	0.25	0.253	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器鉢
SP16	24.125	0.21	0.18	0.091	円形	—	灰白色砂質土	—
SP17	24.12	0.17	0.15	0.055	円形	—	灰白色砂質土	—
SP18	24.126	0.63	0.27	0.097	舟底形	—	灰白色砂質土	土師質土器鉢・細片、粘土塊
SP19	24.122	0.77	0.23	0.057	舟底形	—	灰白色砂質土	土師質土器鉢、釘
SP20	24.12	0.16	0.16	0.03	円形	—	灰白色砂質土	粘土塊
SP22	24.133	0.12	0.11	0.063	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器足盤
SP23	24.138	0.52	0.21	0.118	隅丸方形	—	黄褐色粘質土	土師質土器鉢・細片
SP24	24.158	0.37	0.23	0.056	不整形	—	灰白色砂質土	—
SP25	24.125	0.2	0.17	0.128	円形	—	灰白色砂質土	土師細片
SP26	24.13	0.38	0.11	0.04	舟底形	—	灰白色砂質土	—
SP27	24.124	0.11	0.1	0.194	円形	—	灰白色砂質土	—
SP28	24.12	0.48	0.34	0.118	楕円形	—	灰白色砂質土	粘土塊
SP29	24.12	0.17	0.16	0.091	円形	—	灰白色砂質土	—
SP30	24.156	0.32	0.14	0.096	円形	—	灰白色砂質土	—
SP31	24.159	0.41	0.33	0.038	方形	—	灰白色砂質土	土器細片
SP32	24.153	0.35	0.3	0.053	円形	—	灰白色砂質土	—
SP33	24.067	0.41	0.27	0.063	楕円形	—	灰白色砂質土	土師細片
SP34	24.174	0.59	0.35	0.432	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器鉢・足盤・杯
SP35	24.179	0.41	0.36	0.284	円形	—	灰白色砂質土	—
SP36	24.159	0.23	0.16	0.109	円形	—	灰白色砂質土	—
SP7	24.16	0.28	0.19	0.291	楕円形	—	灰白色砂質土	土師細片
SP38	24.084	0.18	0.16	0.144	円形	—	灰白色砂質土	—
SP39	24.075	0.32	0.29	0.295	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器足盤
SP40	24.086	0.19	0.16	0.062	円形	—	灰白色砂質土	—
SP41	24.092	0.2	0.19	0.227	円形	—	灰白色砂質土	—
SP42	24.102	0.2	0.22	0.267	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器細片、焼酎した安山岩
SP43	24.11	0.3	0.36	0.277	円形	—	灰白色砂質土	土師片
SP44	24.06	0.24	0.22	—	円形	—	灰白色砂質土	—
SP45	24.1	0.22	0.18	0.109	円形	—	灰白色砂質土	—
SP46	24.2	0.63	0.42	0.063	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器鉢・細片

編號	通徑 (m)	長軸 (m)	短軸 (m)	深度 (m)	平面形狀	重複關係	出土特徵	出土遺物
SP47	24.171	0.84	0.32	0.049	舟形	--	灰白色砂質土	--
SP48	24.153	0.36	0.33	0.328	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器片
SP49	24.139	0.22	0.17	0.164	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器片
SP50	24.14	0.22	0.17	0.113	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP51	24.128	0.28	0.25	0.235	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器底、土器片
SP52	24.025	0.27	0.25	0.281	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP53	23.98	0.4	0.27	0.095	橢圓形	--	灰白色砂質土	--
SP54	23.961	0.56	0.29	0.262	橢圓形	--	灰白色砂質土	--
SP55	24.066	0.18	0.17	0.201	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器殘片
SP56	24.077	0.26	0.25	0.232	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP57	24.078	0.15	0.14	0.062	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP58	24.09	0.16	0.15	0.062	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器足底
SP59	24.074	0.22	0.17	0.057	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP60	24.092	0.36	0.3	0.323	橢圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器片、土器碎片
SP61	24.075	0.27	0.26	0.157	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP62	24.063	0.15	0.15	0.185	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP63	24.13	0.27	0.24	0.212	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器殘片
SP64	24.142	0.2	0.19	0.197	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器片、土器碎片
SP65	24.18	0.22	0.22	0.113	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP66	24.15	0.3	0.26	0.199	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP67	24.145	0.26	0.26	0.082	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP68	24.148	0.22	0.21	0.039	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP69	24.135	0.3	0.24	0.481	合形	--	灰白色砂質土	須臾器蓋
SP70	24.13	0.28	0.23	0.164	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP71	24.125	0.25	0.24	0.421	方形	--	灰白色砂質土	土餅質土器杯
SP72	24.116	0.13	0.12	0.152	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP73	24.133	0.2	0.17	0.214	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器底
SP74	24.127	0.15	0.15	0.077	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP75	24.131	0.3	0.3	0.185	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP76	24.138	0.19	0.18	0.097	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP77	24.13	0.28	0.19	0.164	橢圓形	--	灰白色砂質土	--
SP78	24.14	0.2	0.16	0.135	橢圓形	--	灰白色砂質土	--
SP79	24.128	0.2	0.17	0.27	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器杯
SP80	24.12	0.39	0.29	0.515	合形	--	灰白色砂質土	須臾器片、土餅質土器足蓋、餅
SP81	24.132	0.2	0.19	0.214	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器杯
SP82	24.123	0.32	0.29	0.23	橢圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器杯、須臾
SP83	24.096	0.24	0.19	0.166	橢圓形	--	灰白色砂質土	--
SP84	24.103	0.15	0.13	0.151	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP85	24.09	0.18	0.15	0.145	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP86	24.088	0.16	0.15	0.06	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP87	24.067	0.18	0.18	0.224	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP88	24.105	0.26	0.26	0.229	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP89	24.107	0.25	0.23	0.352	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP90	24.092	0.2	0.17	0.133	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP91	24.117	0.25	0.21	0.159	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP92	24.11	0.2	0.18	0.364	圓形	--	灰白色砂質土	須臾器底、土餅質土器底
SP93	24.124	0.24	0.21	0.514	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器片、足蓋、土器片
SP94	24.124	0.2	0.2	0.174	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP95	24.125	0.22	0.19	0.17	圓形	--	灰白色砂質土	瓦器類
SP96	24.122	0.12	0.1	0.032	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP97	24.12	0.3	0.2	0.286	方形	--	灰白色砂質土	土餅質土器杯
SP98	24.133	0.26	0.23	0.339	圓形	--	灰白色砂質土	須臾器土器不明
SP99	24.108	0.17	0.16	0.208	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP100	24.097	0.17	0.17	0.145	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP101	24.061	0.2	0.19	0.157	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP102	24.097	0.22	0.2	0.117	圓形	--	灰白色砂質土	--
SP103	24.115	0.2	0.18	0.111	圓形	--	灰白色砂質土	土餅質土器口緣部、土器碎片
SP104	24.125	0.2	0.17	0.203	橢圓形	--	灰白色砂質土	--



選稱 番号	直径 (m)	長軸 (m)	短軸 (m)	深度 (m)	平面 形状	基礎関係	塚土特徴	出土遺物
SP105	24.125	0.27	0.23	0.207	円形	—	灰白色砂質土	黄銅器
SP106	24.115	0.4	0.26	0.279	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器碎片
SP107	24.118	0.4	0.26	0.282	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP108	24.115	0.18	0.18	0.04	円形	—	灰白色砂質土	—
SP109	24.13	0.2	0.22	0.21	円形	—	灰白色砂質土	—
SP110	24.133	0.22	0.15	0.182	不整形	—	灰白色砂質土	—
SP111	24.138	0.23	0.2	0.282	円形	—	灰白色砂質土	須惠質土器片
SP112	24.125	0.13	0.13	0.067	円形	—	灰白色砂質土	—
SP113	24.122	0.15	0.13	0.049	円形	—	灰白色砂質土	—
SP114	24.115	0.2	0.19	0.147	円形	—	灰白色砂質土	—
SP115	24.115	0.33	0.32	0.125	方形	—	灰白色砂質土	—
SP116	24.125	0.2	0.19	0.065	円形	—	灰白色砂質土	—
SP117	24.145	0.32	0.28	0.161	不整形	—	灰白色砂質土	須惠質土器片
SP118	24.073	0.19	0.15	0.232	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP119	24.108	0.19	0.13	0.076	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP120	24.113	0.1	0.08	0.105	円形	—	灰白色砂質土	—
SP121	24.11	0.21	0.18	0.315	円形	—	灰白色砂質土	—
SP122	24.107	0.23	0.2	0.097	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP123	24.11	0.33	0.33	—	円形	—	灰白色砂質土	須惠質土器片、粘土塊
SP124	24.128	0.21	0.2	0.09	円形	—	灰白色砂質土	—
SP125	24.096	0.22	0.2	0.34	円形	—	灰白色砂質土	須惠質土器片
SP126	24.104	0.13	0.12	0.062	円形	—	灰白色砂質土	—
SP127	24.122	0.44	0.4	0.082	隅丸方形	—	灰白色砂質土	—
SP128	24.13	0.2	0.2	0.376	円形	—	灰白色砂質土	弥生土器口縁部、土器碎片
SP129	24.143	0.23	0.22	0.243	円形	—	灰白色砂質土	須惠質土器底部、土師質土器蓋、土器片
SP130	24.169	0.22	0.19	0.357	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器杯
SP131	24.16	0.44	0.42	0.39	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器碎片、粘土塊、鉄器
SP132	24.147	0.3	0.24	0.106	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP133	24.122	0.4	0.25	0.431	不整形	—	灰白色砂質土	土師器片
SP134	24.125	0.59	0.58	0.282	円形	—	灰白色砂質土	須惠質土、粘土塊、炭化材
SP135	24.14	0.26	0.21	0.417	楕円形	—	灰白色砂質土	須惠質土器口縁部
SP136	24.15	0.25	0.2	0.267	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP137	24.143	0.25	0.15	0.069	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP138	24.139	0.3	0.28	0.284	円形	—	灰白色砂質土	—
SP139	24.142	0.25	0.16	0.132	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP140	24.101	0.15	0.12	0.325	円形	—	灰白色砂質土	—
SP141	24.088	0.53	0.43	0.068	楕円形	—	灰白色砂質土	須惠質土器
SP142	24.07	0.14	0.12	0.07	円形	—	灰白色砂質土	—
SP143	24.106	0.18	0.17	0.056	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器杯
SP144	24.09	0.21	0.19	0.097	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器片
SP145	24.114	0.28	0.26	0.296	円形	—	灰白色砂質土	—
SP146	24.125	0.26	0.22	0.125	円形	—	灰白色砂質土	—
SP147	24.128	0.28	0.24	0.157	円形	—	灰白色砂質土	—
SP148	24.138	0.19	0.17	0.127	円形	—	灰白色砂質土	—
SP149	24.135	0.24	0.22	0.238	円形	—	灰白色砂質土	—
SP150	24.121	0.28	0.18	0.296	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器蓋、杯
SP151	24.108	0.21	0.2	0.243	円形	—	灰白色砂質土	—
SP152	24.054	0.67	0.36	0.124	不整形	—	灰白色砂質土	土師質土器深蓋
SP153	24.128	0.25	0.16	0.141	円形	—	灰白色砂質土	—
SP154	24.128	0.16	0.16	0.112	円形	—	灰白色砂質土	被熱した粘土塊
SP155	24.138	0.21	0.21	0.23	円形	—	灰白色砂質土	—
SP156	24.149	0.38	0.2	0.239	舟形	—	灰白色砂質土	—
SP157	24.043	0.18	0.16	0.093	円形	—	灰白色砂質土	—
SP158	24.128	0.12	0.11	0.053	円形	—	灰白色砂質土	—
SP159	24.128	0.19	0.17	0.053	円形	—	灰白色砂質土	—
SP160	24.127	0.23	0.19	0.122	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP161	24.128	0.32	0.26	0.245	楕円形	—	灰白色砂質土	—

通達 番号	車輪径 (m)	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	平面 形状	重複関係	層土特徴	出土遺物
SP162	24.12	0.41	0.3	0.08	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP163	24.127	0.35	0.28	0.232	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP164	24.137	0.14	0.1	0.062	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP165	24.145	0.3	0.22	0.145	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP166	24.127	0.38	0.33	0.444	円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器碎片、粘土塊
SP167	24.137	0.26	0.23	0.379	円形	—	灰白色砂質土	—
SP168	24.12	0.21	0.17	0.27	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP169	24.129	0.23	0.22	0.322	円形	—	灰白色砂質土	—
SP170	24.136	0.19	0.16	0.082	円形	—	灰白色砂質土	—
SP171	24.136	0.35	0.34	0.493	円形	—	灰白色砂質土	—
SP172	24.13	0.19	0.16	0.125	円形	—	灰白色砂質土	—
SP173	24.125	0.14	0.13	0.136	円形	—	灰白色砂質土	—
SP174	24.15	0.26	0.19	0.315	楕円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器片
SP175	24.158	0.17	0.16	0.068	円形	—	灰白色砂質土	—
SP176	24.147	0.29	0.24	0.236	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP177	—	0.2	0.15	—	円形	—	灰白色砂質土	土器碎片
SP178	24.15	0.19	0.14	0.482	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP179	24.154	0.17	0.14	0.132	楕円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器片
SP180	24.146	0.21	0.18	0.313	円形	—	灰白色砂質土	—
SP181	24.144	0.24	0.17	0.074	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP182	24.14	0.18	0.15	0.085	円形	—	灰白色砂質土	—
SP183	24.132	0.32	0.27	0.047	不整形	—	灰白色砂質土	—
SP184	24.131	0.21	0.15	0.291	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP185	24.11	0.23	0.19	0.2	円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器片、鉢
SP186	23.892	0.27	0.22	0.048	円形	—	灰白色砂質土	—
SP187	24.074	0.21	0.19	0.158	円形	—	灰白色砂質土	—
SP188	24.06	0.32	0.27	0.286	楕円形	—	灰白色砂質土	柱材
SP189	24.122	0.24	0.21	0.22	円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器片、土器碎片、白磁器
SP190	24.106	0.22	0.15	0.18	楕円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器碎片
SP191	24.105	0.29	0.17	0.045	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP192	24.096	0.5	0.32	—	円形	—	灰白色砂質土	—
SP193	24.16	0.24	0.24	0.242	円形	—	灰白色砂質土	—
SP194	24.194	0.25	0.23	0.45	円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器片、石
SP195	24.216	0.24	0.21	0.23	円形	—	灰白色砂質土	—
SP196	24.188	0.67	0.28	0.408	不整形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器片、土器碎片、サヌカイト片
SP197	24.142	0.38	0.15	0.104	舟底形	—	灰白色砂質土	—
SP198	24.158	0.12	0.11	0.031	円形	—	灰白色砂質土	—
SP199	24.158	0.28	0.24	0.308	不整形	—	灰白色砂質土	—
SP200	24.16	0.28	0.23	0.335	円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器足座
SP201	24.155	0.38	0.31	0.337	楕円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器片、漆器、鏡片
SP202	24.085	0.19	0.17	0.144	円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器碎片
SP203	24.119	0.22	0.17	0.199	楕円形	—	灰白色砂質土	須恵瓦土器碎片
SP206	24.082	0.15	0.13	0.245	円形	—	灰白色砂質土	—
SP207	24.053	0.27	0.16	0.069	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP209	24.075	0.45	0.35	0.236	不整形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器片、粘土片
SP210	24.034	0.19	0.12	0.054	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP211	24.105	0.4	0.32	0.232	方形	—	灰白色砂質土	須恵瓦土器碎片、土師瓦土器碎片
SP212	24.106	0.32	0.16	0.177	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP213	24.066	0.21	0.2	0.183	円形	—	灰白色砂質土	須恵土器片、土師瓦土器片、土器片
SP214	24.071	0.28	0.26	0.128	円形	—	灰白色砂質土	—
SP215	24.079	0.33	0.27	0.366	楕円形	—	灰白色砂質土	土器碎片
SP216	24.06	0.38	0.34	0.125	円形	—	灰白色砂質土	須恵瓦土器片、土師瓦土器片、鏡、足金
SP217	24.089	0.24	0.18	0.059	円形	—	灰白色砂質土	須恵瓦土器口縁部
SP218	24.06	0.28	0.26	0.092	円形	—	灰白色砂質土	—
SP219	24.098	0.26	0.24	0.15	円形	—	灰白色砂質土	—
SP220	24.1	0.32	0.22	0.111	楕円形	—	灰白色砂質土	土師瓦土器足座、鏡
SP221	24.1	0.19	0.18	0.072	円形	—	灰白色砂質土	—
SP222	24.105	0.3	0.22	0.268	楕円形	—	灰白色砂質土	—

遺構 番号	遺構面 (m)	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	平面 形状	重複関係	壁土特徴	出土遺物
SP224	24.107	0.38	0.28	0.115	台形	—	灰白色砂質土	—
SP225	24.107	0.24	0.22	0.348	円形	—	灰白色砂質土	—
SP226	24.1	0.21	0.21	0.158	円形	—	灰白色砂質土	—
SP227	24.088	0.21	0.19	0.087	円形	—	灰白色砂質土	—
SP228	24.095	0.26	0.19	0.157	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP229	24.083	0.15	0.15	0.121	円形	—	灰白色砂質土	—
SP230	24.084	0.21	0.21	0.089	円形	—	灰白色砂質土	—
SP231	24.095	0.34	0.22	0.247	隅丸方形	—	灰白色砂質土	—
SP232	24.09	0.32	0.26	0.259	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器杯、足差、磁片
SP233	24.06	0.37	0.27	0.313	楕円形	—	灰白色砂質土	須恵質土器杯、土師質土器杯
SP234	24.111	0.13	0.13	0.026	円形	—	灰白色砂質土	—
SP235	24.091	0.37	0.31	0.359	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP236	24.108	0.21	0.16	0.213	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP237	24.106	0.35	0.29	0.137	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP238	24.107	0.18	0.15	0.079	円形	—	灰白色砂質土	—
SP239	24.118	0.21	0.2	0.14	円形	—	灰白色砂質土	—
SP240	24.103	0.34	0.32	0.378	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器磁部、釘
SP241	24.107	0.25	0.2	0.21	円形	—	灰白色砂質土	—
SP242	24.114	0.31	0.22	0.404	楕円形	—	灰白色砂質土	土器磁片
SP243	24.109	0.21	0.14	0.165	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP244	24.11	0.13	0.12	0.165	円形	—	灰白色砂質土	—
SP245	24.103	0.18	0.15	0.093	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP246	24.101	0.19	0.13	0.066	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP247	24.102	0.2	0.18	0.291	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器足差
SP248	24.108	0.27	0.25	0.491	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器磁、土器磁片
SP249	24.107	0.35	0.24	0.342	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器口縁部、足差、土器磁片
SP250	24.12	0.41	0.4	0.259	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器足差、被熱した石
SP251	24.099	0.26	0.25	0.341	円形	—	灰白色砂質土	—
SP252	24.12	0.2	0.19	0.175	円形	—	灰白色砂質土	—
SP253	24.095	0.34	0.24	0.371	楕円形	—	灰白色砂質土	土師質土器足差
SP254	24.079	0.28	0.23	0.344	円形	—	灰白色砂質土	—
SP255	24.096	0.39	0.28	0.33	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP256	24.108	0.27	0.25	0.453	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器磁片
SP257	24.116	0.11	0.09	0.153	円形	—	灰白色砂質土	—
SP258	24.12	0.24	0.22	0.292	円形	—	灰白色砂質土	—
SP259	24.13	0.19	0.17	0.16	円形	—	灰白色砂質土	—
SP260	24.11	0.38	0.31	0.075	楕円形	—	灰白色砂質土	土器磁片
SP261	24.113	0.25	0.2	0.353	楕円形	—	灰白色砂質土	須恵質土器磁片、土師質土器磁片
SP262	24.100	0.1	0.1	0.165	円形	—	灰白色砂質土	—
SP264	24.115	0.21	0.2	0.231	円形	—	灰白色砂質土	—
SP265	24.118	0.12	0.12	0.078	円形	—	灰白色砂質土	—
SP266	24.13	0.22	0.15	0.195	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP267	24.126	0.13	0.12	0.121	円形	—	灰白色砂質土	—
SP268(1)	24.097	0.44	0.34	0.145	楕円形	—	灰白色砂質土	土器磁片、被熱した石
SP268(2)	24.105	0.15	0.12	0.111	円形	—	灰白色砂質土	—
SP268(3)	24.135	0.22	0.21	0.302	円形	—	灰白色砂質土	—
SP269	24.148	0.24	0.22	0.23	円形	—	灰白色砂質土	—
SP270	24.128	0.15	0.12	0.101	円形	—	赤褐色粘質土	—
SP271	24.147	0.18	0.16	0.152	円形	—	灰白色砂質土	土師質土器磁
SP272	24.132	0.21	0.2	0.234	円形	—	灰白色砂質土	—
SP273	24.122	0.11	0.1	0.048	円形	—	灰白色砂質土	—
SP274	24.104	0.2	0.16	0.15	円形	—	灰白色砂質土	サヌカイトチップ
SP276	24.099	0.22	0.18	0.145	円形	—	灰白色砂質土	—
SP277	24.1	0.33	0.24	0.284	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP278	24.088	0.28	0.25	0.353	円形	—	灰白色砂質土	須恵質土器杯、土師質土器杯、土器磁片
SP279	24.13	0.13	0.11	0.14	円形	—	灰白色砂質土	—
SP280	24.13	0.27	0.24	0.136	円形	—	灰白色砂質土	—
SP281	24.126	0.29	0.2	0.12	円形	—	灰白色砂質土	—

透視 番号	透視面 (μ)	長軸 (μ)	短軸 (μ)	厚さ (μ)	平面 形状	異様関係	埋土特徴	出土遺物
SP282	24.128	0.37	0.2	0.171	円形	—	灰白色砂質土	—
SP283	24.135	0.4	0.36	0.314	円形	—	灰白色砂質土	須賀貫土器不明、土器 破片
SP284	24.138	0.2	0.2	0.075	円形	—	灰白色砂質土	—
SP285	24.137	0.18	0.1	0.047	円形	—	灰白色砂質土	—
SP286	24.137	0.2	0.16	0.089	円形	—	灰白色砂質土	土器破片
SP287	24.128	0.31	0.3	0.211	不整形	—	灰白色砂質土	土師貫土器杯
SP288	24.121	0.42	0.33	0.356	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP289	24.12	0.25	0.24	0.329	円形	—	灰白色砂質土	—
SP290	24.123	0.52	0.35	0.324	不整形	—	灰白色砂質土	須賀貫土器片、土師貫土器杯
SP291	24.126	0.24	0.17	0.066	円形	—	灰白色砂質土	—
SP292	24.106	0.16	0.15	0.09	円形	—	灰白色砂質土	—
SP293	24.123	0.2	0.18	0.111	円形	—	灰白色砂質土	土器破片
SP294	24.05	0.56	0.34	0.322	不整形	—	灰白色砂質土	須賀貫土器杯、土器片
SP298	23.968	0.49	0.22	0.135	舟底形	—	灰白色砂質土	—
SP299	23.968	0.33	0.3	0.133	円形	—	灰白色砂質土	—
SP301	23.967	0.24	0.22	0.16	方形	—	灰白色砂質土	—
SP302	23.978	0.25	0.15	0.144	円形	—	灰白色砂質土	—
SP303	—	0.23	0.22	—	方形	—	灰白色砂質土	—
SP304	23.890	0.35	0.24	0.211	円形	—	灰白色砂質土	—
SP305	24.031	0.35	0.19	0.027	楕円形	—	灰白色砂質土	土師貫土器足環、土器破片
SP307	24.042	0.22	0.2	0.304	円形	—	灰白色砂質土	—
SP308	24.035	0.24	0.2	0.234	円形	—	灰白色砂質土	—
SP309	24.065	0.25	0.2	0.129	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP310	23.68	0.32	0.25	0.219	不整形	—	灰白色砂質土	—
SP311	24.054	0.19	0.17	0.365	円形	—	灰白色砂質土	—
SP312	24.03	0.3	0.25	0.13	円形	—	灰白色砂質土	須賀貫片、土師貫土器足環
SP313	23.999	0.14	0.12	0.173	円形	—	灰白色砂質土	土師貫土器口縁部、杯、土器破片
SP314	24.038	0.27	0.19	0.134	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP315	24.053	0.21	0.20	0.106	円形	—	灰白色砂質土	—
SP317	24.036	0.2	0.14	0.066	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP318	24.032	0.21	0.16	0.105	方形	—	灰白色砂質土	—
SP320	24.02	0.29	0.26	0.275	円形	—	灰白色砂質土	—
SP321	23.985	0.25	0.21	0.146	楕円形	—	灰白色砂質土	粘土塊
SP322	23.985	0.45	0.35	0.215	楕円形	—	灰白色砂質土	粘土塊、土師器破片?
SP323	24.011	0.19	0.18	0.206	円形	—	茶褐色粘質土	—
SP324	24.067	0.21	0.15	0.041	楕円形	—	灰白色砂質土	土師貫土器杯、瓦器口 土師貫土器破片
SP325	24.089	0.22	0.18	0.244	円形	—	灰白色砂質土	—
SP326	24.058	0.22	0.18	0.088	円形	—	灰白色砂質土	—
SP327	24.035	0.48	0.36	0.2	方形	—	灰白色砂質土	—
SP328	24.045	0.2	0.18	0.16	円形	—	灰白色砂質土	—
SP329	24.038	0.38	0.33	0.208	不整形	—	灰白色砂質土	粘土塊、破砕した石材
SP330	24.04	0.28	0.24	0.324	円形	—	灰白色砂質土	—
SP331	24.129	0.25	0.2	0.162	方形	—	灰白色砂質土	—
SP332	24.061	0.16	0.11	0.063	楕円形	—	灰白色砂質土	—
SP400	24.135	0.3	0.29	0.094	円形	—	茶褐色粘質土	—
SP401	24.09	0.34	0.18	0.205	円形	—	灰白色砂質土	粘土塊、土器破片
SP406	24.116	0.21	0.2	0.226	円形	—	灰白色砂質土	—
SP407	24.116	0.18	0.14	0.171	方形	—	茶褐色粘質土	—
SP408	24.087	0.25	0.14	0.148	舟底形	—	灰白色粘質土	—
SP409	24.11	0.4	0.18	0.136	舟底形	—	灰白色砂質土	—
SP410	24.136	0.15	0.15	0.056	円形	—	茶褐色粘質土	—
SP411	24.17	0.3	0.25	—	円形	—	茶褐色粘質土	—
SP412	—	0.2	0.15	—	円形	—	茶褐色粘質土	—
SP413	23.960	0.52	0.32	0.137	不整形	—	灰白色砂質土	—
SP414	24.077	0.64	0.27	0.057	不整形	—	灰白色砂質土	土器破片
SP415	—	0.3	0.1	—	円形	—	灰白色粘質土	—

透視 番号	透視器 (m)	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	平面 形状	重複関係	堀土特徴	出土遺物
SP501	24.007	0.36	0.32	0.309	不整形	--	赤褐色粘質土	須惠器群、須惠器土器破片、土師質土器足差、土器破片、ナイフ形石器
SP502	24.115	0.24	0.24	0.135	円形	--	赤褐色粘質土	土師質土器杯
SP503	24.112	0.31	0.19	0.222	楕円形	--	灰白色粘質土	須惠器群
SP504	24.18	0.29	0.25	0.2	円形	--	赤褐色粘質土	土師質土器足差?
SP505	24.192	0.33	0.16	0.307	楕円形	--	灰白色粘質土	土師質土器杯、土器片
SP507	24.007	0.25	0.22	0.242	楕円形	--	--	土師質土器杯
SP508	24.09	0.22	0.21	0.332	円形	--	赤褐色粘質土	須惠器土器口縁部、土師質土器鉢
SP509	24.016	0.2	0.19	0.161	円形	--	赤褐色粘質土	--
SP510	23.942	0.18	0.18	0.127	円形	--	赤褐色粘質土	土師質土器口、杯
SP511	24.011	0.20	0.18	0.287	円形	--	--	土師質土器口縁部、瓦器輪、土器破片
SP512	23.545	0.25	0.2	0.3	円形	--	赤褐色粘質土	須惠器土器破片
SP513	24.025	0.31	0.24	0.301	楕円形	--	灰白色粘質土	土師質土器口、杯、土器破片
SP514	24.004	0.3	0.29	0.329	円形	--	赤褐色粘質土	土師質土器杯
SP515	23.92	0.19	0.17	0.232	円形	--	灰白色粘質土	土師質土器杯、土器破片
SP516	23.961	0.35	0.32	0.199	円形	--	灰白色粘質土	須惠器土器口縁部
SP517	24.072	0.24	0.21	0.385	楕円形	--	--	須惠器群、須惠器土器杯、土器破片
SP518	24.032	0.24	0.18	.298	楕円形	--	--	土器破片
SP519	--	0.2	0.1	--	円形	--	--	羽土土器片?土師質土器輪
SP520	24.005	0.27	0.19	0.233	楕円形	--	赤褐色粘質土	土師質土器杯
SP521	24.050	0.38	0.14	0.266	不整形	--	--	須惠器破片、土師質土器破片
SP522	24.072	0.19	0.15	0.197	円形	--	--	土師質土器足差
SP523	24.00	0.33	0.24	0.232	円形	--	赤褐色粘質土	土師質土器破片
SP601	23.926	0.31	0.26	0.388	円形	--	赤褐色粘質土	土師質土器杯、材料?
SP602	24.078	0.25	0.25	0.323	円形	--	--	木材?
SP603	24.111	0.22	0.17	0.169	方形	--	灰白色粘質土	土器片
SP604	24.008	0.25	0.23	0.334	円形	--	赤褐色粘質土	土器片
SP605	23.976	0.38	0.38	0.21	円形	--	赤褐色粘質土	土師質土器破片
SX2	24.125	1.65	0.24	0.175	--	--	灰白色系粘土～シルト	土器片、骨片
SK01	--	--	--	--	--	--	灰色(7.5Y6/1)細砂混じりシルト	--
SP1	23.632	0.21	0.16	0.372	円形	--	黄灰色(2.5Y4/1)シルト質層～中粒砂	--
SP2	23.616	0.18	0.16	0.073	円形	--	黄灰色(2.5Y4/1)シルト質層～中粒砂	--
SP3	23.643	0.31	0.27	0.193	円形	--	黄灰色(2.5Y4/1)細砂混じりシルト	土師器遺
SP4	23.571	0.23	0.21	0.12	円形	--	灰色(5Y6/1)シルト	--
SP5	23.824	--	--	0.238	円形?	--	黄灰色(2.5Y4/1)シルト質層～中粒砂	--

第5表 遺物観察表

観文番号	出土遺物	種別	器種名	産地	法量 (cm)			胎土	色調		肌理	備考
					口径	器高	底径		色調1 (胎土)	色調2 (胎土、内外色調)		
1	30200	弥生土器	甕			(8.5)	胎 10cm以下の石炭・灰石を含む	内: 濃い黄緑 100R 2/2	外: 灰白 100R 8/2	内面: マメツ	内面に付着物有	
2	30200	弥生土器	甕			(2.8)	普通 20cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰白 50R 8/2	外: 灰白 100R 8/2	内面: マメツ		
3	503	弥生土器	甕			(8.3)	普通 50cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰白 50R 8/2	外: 灰黄 50R 8/4	内面: ナズ、黄緑正色胎土、ナズ、マメツ、ヘラ跡を多量に含む	弥生前期	
4	503	弥生土器	甕		15.2	(5.4)	胎 1.5cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰黄 2.5R 7/2	外: 灰黄 2.5R 7/2	内面: ハク、ナズ 口縁部: 横ナズ 外: ハク		
5	503	弥生土器	甕		15.4	(4.8)	普通 4.5cm以下の石炭・灰石を含む	内: 濃い黄緑 100R 7/2	外: 濃い黄緑 100R 7/2	内面: ハク、ナズ 口縁部: ナズ 外: タタキ後ハク、ナズ	5と同一體か	
6	503	弥生土器	甕		16	(3)	胎 2cm以下の石炭・灰石を含む	内: 明褐色 50R 2/2	外: 黄緑 50R 8/4	内面: ハク、ナズ 口縁部: ココナチ 外: タタキ後ハク	外周体部に黄緑有	
7	503	弥生土器	(胎)甕部			(14.4)	普通 50cm以下の石炭・灰石・赤色胎を含む	内: 灰白 2.5R 8/2	外: 灰白 2.5R 8/2	内面: マメツ、ハクリ		
8	503	弥生土器	甕			(8.5)	普通 1.5cm以下の石炭・灰石を含む	内: 濃い黄緑 100R 7/2	外: 濃い黄緑 100R 7/2	内面: ハク、マメツ 外: ナズ、ハク、タタキ	内周下部に黄緑有 5と同一體か	
9	503	弥生土器	甕			(11.6)	胎 10cm以下の石炭・灰石・赤色胎を含む	内: 灰黄 100R 7/2	外: 灰黄 100R 8/2	内面: ヘラツクリ、ナズ 外: ナズ、マメツ		
10	506	土師質土器	皿		7	0.7	胎 10cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰黄 50R 8/4	外: 灰黄 50R 8/4	内面: 凹線ナズ 胎: 凹線ヘラツクリ		
11	506	土師質土器	皿			(8.5)	胎 2cm以下の石炭・灰石を含む	内: 濃い黄緑 100R 5/2	外: 横 1.00R 4/2	内面: マメツ 外: ナズ 胎: 凹線ヘラツクリ		
12	506	土師質土器	(胎)甕部			(4.2)	普通 30cm以下の石炭・灰石を含む	内: 黄緑 2.5R 5/2	外: 灰白 50R 8/2	内面: ナズ		
13	507	土師質土器	甕			(3.2)	胎 1.5cm以下の石炭・灰石を含む	内: 濃い黄緑 100R 6/2	外: 濃い黄緑 100R 7/2	内面: 凹線ナズ 胎: 凹線ヘラツクリ 外: マメツ		
14	507	土師質土器	甕		18.8	2.5	胎 10cm以下の石炭・灰石を含む	内: 濃い黄緑 7.5R 2/4	外: 灰白 50R 8/2	内面: ナズ 胎: 凹線ヘラツクリ後ナズ		
15	507	土師質土器	甕			(2.3)	胎 10cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰 8/2	外: 灰 8/2	内面: ナズ 胎: 跡止ホコリ		
16	507	土師質土器	皿		5.4	0.8	胎 微量の砂粒を含む	内: 横 7.0R	外: 灰白 50R 8/2	内面: 凹線ナズ 胎: 凹線ヘラツクリ		
17	507	土師質土器	(胎)口縁部		9.8	(1.9)	胎 10cm以下の石炭・灰石・赤色胎を含む	内: 灰白 100R 8/2	外: 灰白 100R 8/2	内面: 凹線ナズ		
18	507	土師質土器	(胎)口縁部		10	(2.8)	胎 10cm以下の石炭・灰石・赤色胎を含む	内: 濃い黄緑 100R 7/2	外: 灰白 100R 8/2	内面: 凹線ナズ 胎: 凹線ヘラツクリ		
19	507	土師質土器	皿		16.4	2.6	胎 微量の砂粒・赤色胎を含む	内: 灰白 7.0R 8/2	外: 灰白 7.0R 8/2	内面: 凹線ナズ 胎: ナズ		
20	507	土師質土器	皿		12	2	普通 20cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰白 100R 8/2	外: 灰白 100R 8/2	内面: 凹線ナズ 胎: ヘラツクリ後ナズ、灰白圧痕		
21	507	土師質土器	(足)口縁部			(2.4)	胎 10cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰黄 50R 8/2	外: 灰黄 50R 8/2	内面: ナズ		
22	507	土師質土器	(胎)口縁部	中国		(2.4)	胎	灰 8/1	オリーブ灰 2.50R 6/3	外: 黄緑土		
23	507	土師質土器	(胎)口縁部	中国		(2.5)	胎	灰白 8/1	透青色	外: 黄緑土	白磁質圧痕	
24	507	土師質土器	甕		22	(7.8)	胎 20cm以下の石炭・灰石を含む	内: 濃い黄緑 100R 7/2	外: 灰黄 2.5R 8/2	内面: 黄緑正色胎、凹線ナズ 胎: 凹線ヘラツクリ後ナズ 外: 黄緑正色胎	胴部に横付有	
25	507	土師質土器	(足)口縁部		長さ (12)	幅 (3.4)	厚さ 3	胎 4cm以下の石炭・灰石・赤色胎を含む	内: 濃い黄緑 100R 7/2	外: 灰白 100R 8/2	内面: 黄緑正色胎、ナズ	
26	507	土師質土器	(足)口縁部		長さ (17.8)	幅 (2.8)	厚さ 2.6	胎 20cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰黄 100R 8/2	外: 灰黄 100R 8/2	内面: 黄緑正色胎、ナズ	
27	507	土師質土器	(胎)口縁部		16.8	(3.2)	胎 微量の砂粒を含む	内: 灰 8/4	外: 灰 8/4	内面: 凹線ナズ		
28	507	土師質土器	(胎)口縁部		28	(8.1)	胎 微量の砂粒を含む	内: 灰白 8/2	外: 灰白 8/2	内面: ナズ	口縁部外側に並む横付の痕跡	
29	507	土師質土器	(胎)口縁部		29	(5.2)	胎 1.5cm以下の石炭・灰石を含む	内: 黄緑 2.5R 5/3	外: 灰白 100R 7/2	内面: 凹線ナズ 口縁部: 凹線ナズ		
30	507	土師質土器	胎			(1.7)	胎 微量の砂粒を含む	内: 灰 8/6	外: 灰 8/6	内面: 凹線ナズ		
31	507	土師質土器	胎			(2.15)	胎 微量の砂粒を含む	内: 灰白 8/3	外: 灰白 8/3	内面: ナズ 胎: 跡止ホコリ		
32	507	土師質土器	(胎)体部			(11.4)	胎 20cm以下の石炭・灰石を含む	内: 灰 8/6	外: 灰 8/3	内面: ハケ後ナズ、凹線正色胎 胎: 横付後タタキ		
33	507	土師質土器	皿		5.4	0.75	胎 普通 砂粒・赤色胎を含む	内: 黄緑 2.5R 5/3	外: 灰白 2.5R 8/2	内面: 凹線ナズ 胎: 凹線ヘラツクリ	内面に付着物有	

船文 番号	出土遺構	種別	器種名	産地	法量 (cm)			胎土	色調1	色調2	装飾	備考
					口径	器高	底径		(胎土)	(釉薬、内丹色調)		
34	S01	土師質土器	器口縁部			②	普通 1m以下の石炭・長石・赤色粘土を含む	内 黄緑 2.5/ 3/3 外 灰白 2.5/ 8/2	内面： 黒點ナデ	内外面に黒點痕		
35	S01	土師質土器	器口縁部		(2.4)		普通 3m以下の石炭・長石・赤色粘土を含む	内 にぶい黄緑 10/8 1/3 外 黄 8/8 2/8	内面： 黒點ナデ	外面に黒點痕		
36	S01	土師質土器	(深層)口縁部	16.6	(2.4)		普通 1m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 10/8 8/2 外 にぶい黄緑 10/8 1/3	内面： 黒點ナデ 外面： 黒點ナデ(マメツ) 底： 黒點ナデによる 押印	胴部以下黒点痕		
37	S01	土師質土器	(深層)口縁部	21.6	(8.6)		密 3m以下の石炭・長石・赤色粘土を含む	内 黄緑 10/8 8/2 外 にぶい黄 7.5/8 1/3	内面： 黒點ナデ 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印	胴部以下黒点痕		
38	S01	土師質土器	(深層)口縁部		(3.95)		普通 1m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 10/8 8/2 外 にぶい黄緑 10/8 1/3	内面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印	内面に黒点痕の痕跡 胴部以下黒点痕		
39	S01	土師質土器	(深層)脚部	長さ (8.2)	幅 (5.2)	厚さ (3.4)	普通 2m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 5/4 8/2 外 にぶい黄 7.5/8 1/4	内面： 黒點ナデ 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印	黒點、黒点痕		
40	S04	須恵質土器	器口縁部	2.85			密 2m以下の石炭・長石を少量含む	内 灰白 8/2/	内面： 黒點ナデ 外面： 黒點ナデ、ナデ 底： 赤点	外面に付着物		
41	S01	須恵質土器	器口縁部	寛政系	(2.6)		密 焼跡を殆ど含まない	内 灰白 8/2/	内 灰白	口縁部外面に黒点痕 の痕跡		
42	S01	須恵質土器	器口縁部	10.6	1.8		密 焼跡を殆ど含まない	内 灰白 8/2/	内 灰白			
43	S01	須恵質土器	器口縁部	11	2.4	5.5	密 焼跡を少量含む	内 灰白 8/2/	内 灰白	内面に付着物		
44	S01	須恵質土器	器口縁部	中国	(2)	6.2	密	灰白 8/2/	ナリーブ灰 2.5/8 6/1	隆起部系 隆起部系		
45	S01-3	土師質土器	器口縁部	5.8	0.9	5.1	密 1m以下の石炭・長石を含む	内 黄緑 5/8 6/2 外 灰白 5/8 5/2	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印			
46	S01-3	土師質土器	器口縁部	6	0.6	4.4	密 5m以下の石炭・長石・赤色粘土を含む	内 黄緑 7.5/8 5/4 外 にぶい黄 7.5/8 1/4	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印			
47	S01-3	土師質土器	器口縁部	6	0.9	4	密 2m以下の石炭・長石・赤色粘土を含む	内 黄緑 7.5/8 8/8 外 灰白 7.5/8 5/5	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印			
48	S01-3	土師質土器	器口縁部	6	0.8	5.2	密 1m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 7.5/8 3/8 外 黄 7.5/8 8/8	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印	内面に付着物		
49	S01-3	土師質土器	器口縁部	8.2	1.1	6.2	密 2m以下の石炭・長石を含む	内 黄緑 7.5/8 8/8 外 灰白 7.5/8 5/5	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印			
50	S01-3	土師質土器	器口縁部	10.1	2.4	4.4	密 1m以下の石炭・長石を含む	内 黄緑 7.5/8 5/8	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： ナデ			
51	S01-3	土師質土器	器口縁部	10.2	2.6	6.8	普通 5m以下の石炭・長石・赤色粘土を含む	内 黄緑 7.5/8 5/4 外 灰白 7.5/8 5/3	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： ナデ			
52	S01-3	土師質土器	器口縁部	10.6	2.4	6.2	密 2m以下の石炭・長石・赤色粘土を含む	内 灰白 7.5/8 5/3 外 灰白 7.5/8 6/4	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： ナデ			
53	S01-3	土師質土器	器口縁部	11	2.8	5.6	密 2m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 5/8 8/2 外 灰白 5/8 8/4	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： ナデ			
54	S01-3	土師質土器	器口縁部	11.2	2.5	6.8	密 2m以下の石炭・長石を含む	内 黄 7.5/8 2/8 外 灰白 7.5/8 5/4	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印			
55	S01-3	土師質土器	器口縁部	12.1	2.4	8	密 2m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 5/8 1/4 外 黄 5/8 2/8	内 灰白 外面： マメツ 底： ナデ			
56	S01-3	土師質土器	器口縁部	12	3	6.8	密 1m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 10/8 8/4 外 灰白 10/8 8/3	内 灰白 外面： 黒點ナデ、ナデ 底： 黒點ナデによる 押印			
57	S01-3	陶器	(磁器)鉢部	備前系	(5)		密 1m以下の石炭・長石を含む	内 黄緑 10/8 5/3 外 にぶい赤褐 5/8 6/2	内 灰白 外面： ナデ			
58	S01-3	土師質土器	器口縁部	(2)			密 2m以下の石炭・長石を含む	内 黄 7.5/8 4/8 外 灰白 7.5/8 5/2	内 灰白 外面： 黒點ナデ	外縁部付着		
59	S01-3	土師質土器	器口縁部	(1.9)			密 2m以下の石炭・長石を含む	内 黄緑 10/8 8/2 外 灰白 7.5/8 5/3	内 灰白 外面： ハウ、ナデ、黒點 痕跡			
60	S01-3	土師質土器	(深層)口縁部	(3.5)			密 1m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 7.5/8 3/3 外 黄緑 7.5/8 5/1	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印	胴部以下黒点痕		
61	S01-3	須恵質土器	(深層)脚部	(4.1)			密 5m以下の石炭・長石を含む	内 灰白 5/4 8/2 外 灰白 5/4 8/2	内 灰白 外面： 黒點ナデ 底： 黒點ナデによる 押印	黒点痕		
62	S01-3	須恵質土器	器口縁部	(1.2)		10	密 1m以下の石炭・長石を含む	内 灰 8/8/ 外 灰 8/3/	内 灰白 外面： ナデ			

税文 番号	出土遺構	類別	器種名	産地	法量 (cm)			胎土	色調1 (胎土)	色調2 (胎土、内外色調)	取盤	備考
					口径	器高	底径					
63	S01-3	土師質土器	(足置)脚部	底径 9.0	器 2.3	厚さ 1.9	器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内: にぶい焼 5/9 5/4 外: 灰焼 2.5/8 2/2	内取盤 ナズ		
64	S01-3	土師質土器	(足置)脚部	底径 (6)	器 (5.1)	厚さ 2.5	普通 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内: にぶい焼 7.5/8 5/4 外: 灰焼 5/9 3/1	内取盤 ナズ 内取盤 ナズ、内取盤 外取盤 ナズ		内取盤付物
65	S01-3	土師質土器	(足置)脚部	底径 (11.8)	器 (4.6)	厚さ 2.85	器 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内: にぶい焼 5/9 5/2	内取盤 ナズ、内取盤 内取盤 ナズ、内取盤		
66	S01-4	土師質土器	皿	底径 9.6	器 0.9	厚さ 5.4	器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内: にぶい焼 5/9 5/2	内取盤 ナズ、内取盤 内取盤 ナズ、内取盤		
67	S01-4	土師質土器	(折)口縁部	10.6	(1.9)		器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 2.5/8 2/2	内取盤 陶製ナズ		
68	S01-4	土師質土器	(折)口縁部	11.4	(2.0)		器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 2.5/8 2/2	内取盤 陶製ナズ		
69	S01-4	土師質土器	(折)口縁部		(2.4)		普通 1.5cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 2.5/8 2/2 外: 灰白 2.5/8 2/2 外: 灰白 2.5/8 2/2 外: にぶい焼 2.5/8 2/2	内取盤 陶製ナズ		
70	S01-4	硬質土器	鉢	11.6	3.05	6	器 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 3/1	内取盤 陶製ナズ		口縁部外側に塗布 された赤色の
71	S01-4	土師質土器	(足置)口縁部		(5.8)		器 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 10/8 2/2	口縁部 ナズ 外取盤 陶製土器		内面に付着物有
72	S01-4	土師質土器	(足置)口縁部		(4.0)		器 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 8/4 外: 灰白 10/8 2/2	内取盤 ナズ 口縁部 ナズ 外取盤 陶製土器		
73	S01-4	土師質土器	(足置)脚部	底径 (15.25)	器 (2.65)	厚さ 2.7	普通 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内: にぶい焼 5/9 5/2 外: にぶい焼 5/9 5/2	内取盤 陶製土器 外取盤 陶製土器 外取盤 陶製土器		内取盤付物 縁部との接合部付近に 粘土状の残存
74	S01-5	土師質土器	(足置)口縁部		(4.6)		器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 5/9 5/2	内取盤 ナズ 外取盤 陶製土器		
75	S01-5	硬質土器	瓶部		(1.3)	8	器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 6/1	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		
76	S04	土師質土器	杯	10	2.6	5.2	器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 7.5/8 2/2	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		内取盤付物 縁部との接合部付近に 粘土状の残存
77	S04	硬質土器	口縁部		(3.5)		器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 4/1	内取盤 陶製ナズ		
78	S019	土師質土器	皿	6	9.85	5.4	器 10cm以下の赤色陶 を含む		内 黄焼 7.5/8 2/2 外: 灰焼 10/8 2/2	内取盤 マメツ 内取盤 ナズ 内取盤 陶製ナズ		
79	S019	硬質土器	(折)口縁部		(6.5)	7.9	器 10cm以下の石炭を 含む		内取盤 灰白 2.5/8 2/2	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		
80	S019	土師質土器	(折)口縁部		(6.6)	8.6	器 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 10/8 2/2	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		
81	S019	土師質土器	(折)口縁部		(2.4)		普通 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 2.5/8 2/2	内取盤 ナズ 外取盤 陶製ナズ		
82	S019	土師質土器	(折)口縁部	27	(0)		普通 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内: 灰焼 2.5/8 2/2 外: 灰焼 2.5/8 2/2	内取盤 ナズ 外取盤 ナズ		
83	S021	土師質土器	(折)口縁部		(3)		器 10cm以下の石炭・ 長石・赤色・褐色 を含む		内: 灰焼 7.5/8 5/4 外: 灰焼 7.5/8 5/4	内取盤 陶製ナズ 外取盤 ナズ		
84	S022	硬質土器	瓶部		(2.3)		器 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内: 明赤焼 5/9 5/4	内取盤 マメツ 外取盤 ナズ		
85	S023	土師質土器	(折)口縁部		(1.8)		器 10cm以下の赤色陶 を含む		内: にぶい焼 5/9 5/2	内取盤 陶製ナズ		
86	S023	土師質土器	皿	7	0.9	5.8	器 10cm以下の赤色陶 を含む		内: 器 7.5/8 2/2 外: 明赤焼 5/9 5/3	内取盤 ナズ 外取盤 マメツ		
87	S024	土師質土器	(折)口縁部		(5.3)		器 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内: にぶい焼 5/9 5/4 外: にぶい焼 5/9 5/4	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		
88	S026	土師質土器	(足置)脚部	底径 7.2	器 5.7	厚さ 3	普通 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内取盤 灰白 5/9 5/4	内取盤 ナズ、内取盤 外取盤 ナズ		内取盤付物
89	S026	硬質土器	(折)口縁部		(1.3)		器 10cm以下の赤色陶 を含む		内取盤 灰白 5/9 5/3	内取盤 陶製ナズ		
90	S029	土師質土器	(折)口縁部	10	(3.4)		器 10cm以下の石炭を 含む		内: 灰焼10/8 2/2 外: 灰白 2.5/8 2/2	内取盤 マメツ		
91	S029	土師質土器	杯	19	2.5	6	普通 20cm以下の石炭・ 長石・赤色陶を含む		内: 灰焼 5/9 5/4 外: 器 5/9 3/6	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		内取盤付物 縁部との接合部付近に 粘土状の残存
92	S03	土師質土器	(足置)口縁部		(4.1)		普通 20cm以下の石炭・ 長石を含む		内: 灰白 10/8 2/2 外: 灰白 10/8 2/2	内取盤 マメツ 外取盤 陶製ナズ、灰状工 具による付着		口縁部以下付着物
93	S04	土師質土器	皿	6.2	0.9	5.3	器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内: 灰黄色 10/8 2/2 外: にぶい焼 10/8 2/2	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		
94	S04	土師質土器	皿	6.2	0.9	5.2	器 20cm以下の石炭・ 赤色陶を含む		内: 器 5/9 3/6 外: 灰焼 5/9 2/4	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		
95	S04	土師質土器	(折)口縁部		(0.7)	6	器 10cm以下の石炭・ 長石を含む		内: にぶい焼 10/8 2/2 外: 灰焼 10/8 2/2	内取盤 陶製ナズ 外取盤 陶製ナズ		



観文 番号	出土遺構	種別	器種名	発地	法量 (cm)			胎土	色調1		色調2	調整	備考
					口径	器高	底径		(胎土)	(施染、内行色調)			
96	S54	土師質土器	足釜		15	(5.9)		中やや 5cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄 1.7/3 外: にぶい黄緑 5/9 5/4	内面: ナズ 口縁部: 黒鉛ナズ 胴下部: 赤鉛正産 胴下部及及び胴縁部 帯ナズナズ		
97	S54	土師質土器	(足釜)脚部		長さ (5.1)	幅 (4.8)	厚さ 2.8	黄 3cm以下の石炭・長石を含む		内外: にぶい黄 5/9 5/4	内面: ナズ 口縁部: 黒鉛ナズ 胴下部: 赤鉛正産 胴下部及及び胴縁部 帯ナズナズ		
98	S64	土師質土器	(足釜)脚部		長さ (5.7)	幅 (5.4)	厚さ 2.2	黄 5cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄緑 1.9/5 5/2 外: 黄緑 2.5/6 5/2	内面: 黒鉛ナズ 胴部: 黒鉛ナズ、赤鉛正産		
99	S54	土師質土器	壺形土器		長さ 6	幅 3.8	厚さ (2.4)	黄 5cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄 2.5/9 5/1 外: 黄緑 2.5/6 5/2	内面: ナズ		
100	S54	赤褐色土器	胴口縁部		27.6	(5)		普通 1cm以下の石炭・長石を含む		内外: 灰白 1.9/8 8/1 2/4	内面: ハウミ 口縁部: 黒鉛ナズ 胴部: 黄鉛正産後ナズ		
101	SP1	土師質土器	瓶		10.6	2.75	5.7	黄 1.5cm以下の石炭・長石を含む		内外: 黄黄緑 1.9/8 8/3	内面: 黒鉛ナズ 胴部: 黒鉛ナズ 胴下部: 黒鉛ナズ		
102	SP1	土師質土器	足釜		20.6	(11.7)		普通 2cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄黄緑 1.9/8 8/4 外: 灰白 2.5/6 6/2	内面: ナズ 口縁部: 黒鉛ナズ 胴下部: 長石正産 外底: 赤ナズナズ	外底付着	
103	SP14	土師質土器	(足釜)口縁部		(5)			黄 1cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄黄緑 2.5/6 6/4 外: 黄緑 5/9 8/3	口縁部: 黒鉛ナズ 胴下部: 黄鉛正産		
104	SP23	土師質土器	(足釜)口縁部		(3.3)			普通 5cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄 2.5/6 6/4 外: 黄 5/9 8/4	内面: 黒鉛ナズ 口縁部: 黒鉛ナズ 胴下部: 黄鉛正産		
105	SP18	土師質土器	(瓶)口縁部		(2)			普通 1cm以下の石炭・長石を含む		内: にぶい黄 5/9 5/4 外: 黄黄緑 1.9/8 8/3	内面: 黒鉛ナズ		外底口縁部下部付着
106	SP18	粘土塊			長さ 4.9	幅 4	厚さ 3	普通 1cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄 5/9 7/6 外: 黄 5/9 7/6			青磁物主人 認め有る
107	SP19	土師質土器	(瓶)口縁部		(1.5)			黄 1cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内: 灰白 1.9/8 8/2 外: 黄黄緑 1.9/8 8/3	内面: 黒鉛ナズ		
108	SP19	土師質土器	(瓶)胴部		(2.3)		8	黄 1cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内外: 黄黄緑 1.9/8 8/3	内面: 黒鉛ナズ 胴部: 黒鉛ナズ 胴下部: 黒鉛ナズ		
109	SP24	土師質土器	(瓶)口縁部		(2.4)			普通 3cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内: 黄緑 5/9 6/4 外: 黄緑 2.5/6 6/1	内面: 黒鉛ナズ 外底: 赤鉛正産		外底付着
110	SP40	土師質土器	杯		11	2.25	6.2	黄 1cm以下の赤色粒・黒色粒を含む		内: 黄黄緑 1.9/8 8/2 外: 黄黄緑 1.9/8 8/4	内面: 黒鉛ナズ、マメ		
111	SP21	土師質土器	皿		5.9	2.6	3	黄 1cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄 5/9 7/6 外: 黄緑 5/9 8/3	内面: 黒鉛ナズ 底面: 黒鉛ナズ		
112	SP21	土師質土器	(瓶)口縁部		(2.4)			黄 1cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内: 黄黄緑 1.9/8 8/2 外: 灰白 1.9/8 8/2	内面: 黒鉛ナズ		
113	SP28	土師質土器	(足釜)口縁部		20.2	(4)		普通 2cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内: にぶい黄緑 1.9/8 7/3 外: 黄黄緑 2.5/6 6/3	内面: ナズ 口縁部: 黒鉛ナズ 胴下部: 赤鉛正産 外底: ナズ		外底付着
114	SP61	土師質土器	(瓶)口縁部		(2.1)			黄 1.5cm以下の石炭・長石を含む		内外: 黄黄緑 1.9/8 8/3	内面: 黒鉛ナズ		
115	SP72	土師質土器	(瓶)口縁部		(1.8)			普通 5cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内: にぶい黄緑 1.9/8 8/4 外: 黄緑 1.9/8 3/2	内面: ナズ		外底付着
116	SP82	土師質土器	(瓶)胴部		(1.4)			黄 2.5cm以下の石炭・長石を含む		内: 黄 5/9 7/6 外: 黄 5/9 7/6	内面: 黒鉛ナズ 胴部: 黒鉛ナズ		
117	SP90	土師質土器	(足釜)口縁部		(4.5)			中やや 2cm以下の石炭・長石を含む		内: 灰白 2.5/6 6/2 外: にぶい黄 7.5/9 7/3	内面: 黄鉛正産後黒いナズ・ナズ 胴部: 黒鉛ナズ 外底: 黒鉛ナズ、黄鉛正産		胴部以下付着
118	SP90	土師質土器	(瓶)口縁部		31.4	(5.9)		黄 4cm以下の石炭・長石を含む		内: 灰白 1.9/8 8/2 外: 黄赤 2.5/6 6/2	内面: 黒鉛ナズ 胴部: 黒鉛ナズ、黄鉛正産、ハウ		
119	SP92	赤黄緑	皿		16.6	2.2	13.8	黄 2cm以下の石炭・長石を含む		内外: 灰白 2.5/6 6/1	内面: 黒鉛ナズ 胴部: 黒鉛ナズ		
120	SP92	土師質土器	瓶		11.8	2.5	7.8	黄 2cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内: 黄緑 2.5/6 6/1 外: 黄赤 2.5/6 6/1	内面: 黒鉛ナズ		
121	SP93	土師質土器	(足釜)口縁部		(4.5)			黄 3cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内外: 黄黄緑 2.5/6 6/3 6/4	内面: ナズ 胴下部: 黄鉛正産		
122	SP95	瓦器	(瓶)口縁部		14	(2.2)		黄 1cm以下の石炭・長石を含む		内外: 黄緑 5/3	内面: ハウミが 口縁部: 黒鉛ナズ 外底: ナズ		
123	SP93	土師質土器	(瓶)口縁部		12	2.7	6.9	普通 2cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内: 黄赤 2.5/6 6/4 外: 黄赤 2.5/6 6/5	内面: 黒鉛ナズ 胴部: 黒鉛ナズ		
124	SP105	磁器(青磁)	皿	中野	6.4	(1.4)		黄		黄緑 2.5/6 6/1			靑磁片
125	SP128	赤土器ナズ	瓶(口縁部)		(3.2)			黄 3cm以下の石炭・長石を含む		内: にぶい黄緑 5/9 6/4 外: 黄 2.5/6 6/4	内面: マメ		
126	SP426	土師質土器	皿		6.2	0.7	5	黄 1cm以下の石炭・長石・赤色粒を含む		内: 黄 2.5/6 6/2 外: 黄黄緑 2.5/6 6/4	外底: 黒鉛ナズ 胴部: 黒鉛ナズ		内底付着物有

配分 番号	出土遺構	種別	遺構名	座地	法量 (cm)			胎土	色調1 (胎土)	色調2 (陶肌、内州色調)	調整	備考
					口徑	高さ	底径					
127	SP129	須賀土器	(高台付) 壺		(1.1)	5.2	器 2m以下の石炭・ 炭石を含む			内: オリーブ灰 2.507 6/1 外: 灰白 3/1	内側面: 回転ナデ 底面: へう切り	高台付
128	SP130	土師質土器	(折) 口縁部		(2.7)		器 1m以下の石炭・ 炭石を含む			内: にぶい焼 7.639 6/7 外: にぶい焼 7.518 6/4	内側面: 回転ナデ	
129	SP130	土師質土器	(折) 底部		(1.1)	6.4	器 1m以下の石炭・ 炭石、赤色粒を含む			内側: にぶい焼陶肌 12/8 8/2	内側面: 回転ナデ 底面: ナデ	
130	SP135	須賀土器	口縁部		(1.5)		器 1m以下の石炭・ 炭石を含む			内側: オリーブ灰 2.502 6/1	内側面: 回転ナデ	
131	SP130	土師質土器	皿		7.2	1.2	5.1	器 2m以下の石炭・ 炭石を含む		内側: 灰白 3/18 6/2	内側面: 回転ナデ 底面: ナデ	
132	SP152	土師質土器	甕		20	6.9		器 2m以下の石炭・ 炭石を含む		内側: 灰陶肌 10/8 12/4	内側面: 回転ナデ 口縁部: 回転ナデ 折下縁: 回転ナデ 外側面: ナデ	外縁付
133	SP179	土師質土器	鉢		10	2.3	5.6	普通 1m以下の赤色 粒を含む		内側: 浅黄陶 10/8	内側面: 回転ナデ 底面: へう切り後ナデ	
134	SP185	土師質土器	皿		7.1	0.9	6.2	器 2m以下の石炭・ 炭石、赤色粒を含む		内側: 焼 5/18 7/8	内側面: 回転ナデ 底面: 回転ナデ切り	
135	SP185	土師質土器	口縁部		10	(1.8)		器 1m以下の石炭・ 炭石、赤色粒を含む		内: 浅黄陶 7.518 12/4 外: 浅黄陶 10/18 6/2	内側面: 回転ナデ	
136	SP189	磁器(白磁)	(折) 底部		(0.5)		0			磁器(白磁) 5/18 7/1		
137	SP213	土師質土器	皿		6	1.3	4.4	普通 2m以下の石 炭・炭石、赤色粒を 含む		内: にぶい焼陶 10/8 7/4 外: 浅黄陶 10/18 6/4	内側面: 回転ナデ 底面: 回転ナデ切り	
138	SP213	土師質土器	鉢		6.6	1	5.5	普通 2m以下の石 炭・炭石、赤色粒を 含む		内: 浅黄陶 7.518 12/4 外: 浅黄陶 7.518 6/8	内側面: 回転ナデ 底面: 回転ナデ切り	
139	SP216	土師質土器	皿		4.2	1	5.4	器 2m以下の石炭・ 炭石、赤色粒を含む		内: にぶい焼 7.518 7/4 外: 灰焼 7.518 5/2	内側面: 回転ナデ	外周付帯部有
140	SP216	土師質土器	皿		6.4	0.9	5.4	普通 2m以下の石 炭・炭石を含む		内: 浅黄陶 10/18 6/2 外: にぶい焼陶 10/18 7/2	内側面: 回転ナデ 底面: 回転ナデ切り	
141	SP216	須賀土器	皿		12.2	1.9	8.2	器 2m以下の石炭・ 炭石を含む		内側: 灰白 2.517 6/1	内側面: 回転ナデ	
142	SP216	土師質土器	(折) 口縁部		(4)			器 2m以下の石炭・ 炭石を含む		内: 灰焼 7.518 5/2 外: 灰焼 7.518 7/1	内側面: ナデ 外側面: 回転ナデ	外縁付
143	SP216	土師質土器	(足座) 脚部		高さ (5.43)	幅 (2.6)	厚さ (2.6)	普通 2m以下の石 炭・炭石、赤色粒を 含む		内: にぶい焼 5/18 6/4 外: 焼灰 5/18 4/1	内側面: 回転ナデ、ナデ 外側面: ナデ	
144	SP217	須賀土器	口縁部		42.4	(5)		普通 1m以下の石 炭・炭石を含む		内側: 灰白 2.517 7/1	内側面: 回転ナデ	
145	SP220	土師質土器	(折) 口縁部		(1.2)			普通 2m以下の石炭 を含む		内: にぶい赤焼 2.518 4/8 外: 浅黄陶 2.518 3/2	内側面: ハシ 外側面: ナデ	
146	SP232	土師質土器	鉢		10.9	2.8	5.6	器 2m以下の石炭・ 炭石を含む		内: 灰 8/6/～灰白 5/1/1 外: 灰 8/6/～灰白 5/1/2	内側面: 回転ナデ 底面: 回転ナデ切り	
147	SP233	土師質土器	(折) 口縁部		(2)			普通 1m以下の石 炭・炭石、赤色粒を 含む		内: 焼 5/18 6/6 外: 焼 5/18 7/4		
148	SP240	土師質土器	高脚		(3)	4.8		普通 1m以下の石 炭・炭石を含む		内: 明赤陶 5/18 5/8 外: にぶい焼 5/18 6/4	内側面: 回転ナデ 外側面: マメツ 底面: 回転ナデ切り	
149	SP247	土師質土器	(足座) 口縁部		25.4	(4.1)		普通 1m以下の石 炭・炭石を含む		内: 灰陶肌 10/8 6/2 外: にぶい焼陶 10/8 7/2	内側面: ナデ、回転ナデ 口縁部: 回転ナデ 折下縁: 回転ナデ 外周部: ナデ	
150	SP248	土師質土器	(折) 口縁部		31.6	(2.0)		器 1.5m以下の石 炭・炭石を含む		内側: 明赤陶 5/18 5/8	口縁部: 回転ナデ	
151	SP249	土師質土器	口縁部		10.6	(2)		普通 2m以下の石 炭・炭石、赤色粒を 含む		内側: 焼 5/18 7/8	内側面: 回転ナデ	
152	SP250	土師質土器	(足座) 脚部		高さ (12.7)	幅 (8.4)	厚さ 2.8	器 2m以下の石炭・ 炭石、赤色粒を含む		内: 焼灰 5/18 6/1 外: 焼灰 5/18 5/1	内側面: ナデ	
153	SP274	土師質土器	皿		6.3	0.9	5.6	普通 2m以下の石 炭・炭石、赤色粒を 含む		内: 浅黄陶 7.518 12/4 外: 浅黄陶 7.518 6/8	内側面: 回転ナデ 底面: ナデ	
154	SP283	土師質土器	鉢		11.8	2.5	8	器 1m以下の石炭・ 炭石、赤色粒を含む		内: にぶい焼陶 10/18 5/6 外: 灰陶肌 10/18 3/2	内側面: 回転ナデ 底面: 回転ナデ切り	
155	SP287	土師質土器	(折) 底部		(2.1)		7	普通 2m以下の石 炭・炭石、赤色粒を 含む		内: 灰白 5/18 6/2 外: 灰白 7.518 6/1	内側面: 回転ナデ 底面: ナデ	

報文番号	出土状況	類別	器種名	定地	法量 (cm)			胎土	色調1		調整	備考
					口徑	器高	口径		(胎土)	(釉薬 内外色別)		
156	SP200	土師質土器	杯		11	(2.6)		普通 3cm以下の石英・長石を含む	内: 黄赤橙 7.5% 外: 黄赤橙 7.5% 底: 黄赤橙 7.5%	内外面: 面転ナデ		
157	SP213	土師質土器	口縁部		10.8	(2.3)		密 3cm以下の石英・長石・赤色結を含む	内: 橙 5% 7/6 外: 黄赤橙 7.5% 底: 黄赤橙 7.5%	内外面: 面転ナデ		
158	SP224	瓦器	蓋		7.8	(1.3)		普通 1cm以下の石英・長石を含む	内: 灰 8% 外: 緑灰 8%	内外面: マメツ		
159	SP229	粘土	土盤?	長谷 (19.48)	幅 (11.25)	厚さ (3.3)		粗 3cm以下の石英・長石・チャートを含む	に広い橙 7.5% 7/4	内外面: マメツ		有銘物付 透熱物有 磁物に押定座
160	SP203	須恵系	(群) 甕部		(2)	6.8		密 2cm以下の石英・長石を含む	内: 灰白 5% 7/2 外: 灰白 5% 7/1	内外面: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		
161	SP208	土師質土器	(群) 口縁部		(2.4)			普通 3cm以下の石英・長石を含む	内: 黄赤橙 7.5% 4/1 外: 黄赤橙 7.5% 5/1	口縁部: 面転ナデ 内外面: マメツ		
162	SP208	須恵系土器	口縁部		(2.0)			密 1cm以下の石英・長石を含む	内外: 灰白 2.5% 7/1	内外面: 面転ナデ		口縁部内面に黒い結晶の痕跡
163	SP210	土師質土器	蓋		6	1.1	5.2	密 1cm以下の石英・長石を含む	内外: 黄赤橙 5% 6/4	内外面: 面転ナデ		内面に付着物有
164	SP211	瓦器	(群) 口縁部		(2)			密 2cm以下の石英・長石を含む	内: 灰 8% 外: 灰 8%	内外面: マメツ		
165	SP211	土師質土器	口縁部		(3.4)			粗 2cm以下の石英・長石を含む	内: に広い橙 7.5% 5/3 外: 黄赤橙 7.5% 6/2	内外面: マメツ 口縁部: 面転ナデ		
166	SP213	土師質土器	蓋		6.4	0.9	4.7	普通 3cm以下の石英・長石・赤色結を含む	内外: 橙 2.5% 6/8 底: 黄赤橙 7.5%	内外面: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		
167	SP213	土師質土器	杯		11.6	2.9	5.6	密 2cm以下の石英・長石・赤色結を含む	内外: 黄赤橙 7.5% 5/4 底: 黄赤橙 7.5%	内外面: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		
168	SP214	土師質土器	杯		10.2	(2.7)		やや粗 2cm以下の石英を含む	内外: 灰白 2.5% 6/2	内外面: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		口縁部内面に黒い結晶の痕跡
169	SP216	須恵系土器	口縁部		(3.2)			普通 3cm以下の石英・長石を含む	内: 黄赤橙 2.5% 4/1 外: 黄赤橙 2.5% 5/1	内外面: 面転ナデ		
170	SP217	須恵系	(群) 甕部		(4.8)			密 1cm以下の石英・長石を含む	内: 灰赤 2.5% 4/2 外: 灰 8%	内外面: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		
171	SP201	土師質土器	杯		10.1	(2.4)		やや粗 2cm以下の石英を含む	内外: 黄赤橙 10% 5/3 底: 黄赤橙 10%	内外面: 面転ナデ		
172	SK 2	須恵系土器	(群) 口縁部		(5)	(7.8)		密 3cm以下の石英・長石を含む	内外: 灰白 2.5% 6/2	内外面: ハク 底面: ハク		172と同一個体か
173	SK 2	須恵系土器	(群) 甕部		(14)			密 2cm以下の石英・長石を含む	内外: 灰白 5% 6/2 外: 灰白 2.5% 6/1	内外面: ハク・マメツ		172と同一個体か
174	SK2	須恵系土器	(群) 口縁部		17.1	(7.8)		普通 透熱物を含む	内外: 灰赤 2.5% 7/1 外: 灰白 2.5% 6/1	内外面: ハク 底面: 面転ナデ		
175	SK2	土師質土器	杯		19.3	2.6	6.9	やや粗 3cm以下の石英・長石を含む	内: 黄赤橙 7.5% 5/4 外: 黄赤橙 7.5% 6/3	内外面: 面転ナデ 底面: ナデ		
176	SK2	土師質土器	杯		16.8	3	6.6	粗 2cm以下の石英・長石を含む	内: 灰赤 7.5% 8/2 外: 黄赤橙 7.5% 5/4	内外面: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		
177	SK2	土師質土器	(定座) 口縁部		(3.3)			粗 3cm以下の石英・長石を多量に含む	内: 黄赤橙 2.5% 7/2 外: に広い橙 2.5% 6/4-1 底: 黄赤橙 2.5% 7/1	口縁部: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		
178	SK2	土師質土器	(定座) 口縁部		(3.2)			粗 2cm以下の石英・長石を多量に含む	内: 黄赤橙 7.5% 5/3 外: 黄赤橙 10% 6/2 底: に広い黄赤橙 10% 5/2	口縁部: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		
179	SK2	土師質土器	(定座) 甕部	長谷 (8.7)	幅 (2)	厚さ (3.3)		粗 2cm以下の石英・長石を多量に含む	内: に広い橙 5% 7/4 外: に広い黄赤橙 10% 7/2 底: に広い橙 5% 5/4	内外面: 面転ナデ 底面: ナデ		埋付有
180	SK2	土師質土器	(群) 口縁部		23.8	(3.3)		粗 2cm以下の石英・長石を多量に含む	内: 黄赤橙 7.5% 6/3 外: 黄赤橙 7.5% 5/3 底: 黄赤橙 7.5% 5/1	内外面: ハク 口縁部: 面転ナデ 底面: 面転ナデ		
181	SK2	須恵系土器	(群) 口縁部		21.4	(5)		やや粗 3cm以下の石英・長石を含む	内外: 灰 8%	内外面: 面転ナデ		
182	包倉原	須恵系土器	甕		12.2	(5.2)		密 1.5cm以下の石英・長石を含む	内外: 灰白 10% 6/2 外: ナデ	内外面: マメツ 底面: マメツ		
183	包倉原	須恵系土器	甕		(5.3)			密 2cm以下の石英・長石を含む	内外: 黄赤橙 5% 5/4	内外面: マメツ		
184	包倉原	須恵系土器	甕部		(2)			密 1cm以下の石英・長石を含む	内: 灰 5% 5/1 外: 灰 8%	内外面: マメツ		外面に黒い結晶の痕跡
185	包倉原	須恵系土器	杯		11.4	2.6	7	密 1cm以下の石英・長石を含む	内: 灰赤 5% 7/1 外: 灰白 8% 7/1 底: 黄赤橙 7.5%	内外面: 面転ナデ		

原文番号	出土法調	種別	器形名	産地	流量 (cm)			胎土	色調1 (胎土)	色調2 (釉薬, 内彩色調)	調整	備考	
					口径	器高	口径						
198	包倉窯	須恵系	口縁部		12.4	(2.8)	器 1cm以下の石目を 含む		内 灰白 8.5%、灰 5% 外 灰白 10% 8.1%、 灰 5%	内外面 黒鉛ナテ			
197	包倉窯	須恵系	(器)口縁部			(3)	器 1cm以下の褐色粒 を含む		内 灰白 8.7% 外 灰 8.5%、灰白 8.7%	内外面 黒鉛ナテ			
198	包倉窯	須恵系	(器)口縁部		16	(1.7)	器 1cm以下の長石を 含む		内 灰白 8.6% 外 灰白 8.7%	内外面 黒鉛ナテ、マメ ツ			
199	包倉窯	須恵系	(器)底面			(3.8)	器 1cm以下の長石・ 黒色粒を含む		内 灰白 8.7% 外 灰白 8.7%	内外面 マメツ			
190	包倉窯	須恵系	口縁部			(3.3)	器 1cm以下の長 石・黒色粒を含む		内 灰白 8.7% 外 灰白 8.7%	内外面 黒鉛ナテ			
191	包倉窯	須恵系土器	(器)口縁部			(2.7)	器 1cm以下の長石 を含む		内 灰 8.7%	内外面 黒鉛ナテ			
192	包倉窯	須恵系土器	(器)口縁部			(4.8)	器 2cm以下の長石を 含む		内 灰白 8.4% 外 灰白 8.6%、黒 鉛 8.3%	内外面 黒鉛ナテ、マメ ツ			
193	包倉窯	須恵系	(器)底面			(1.2)	器 1cm以下の長石を 含む		内 灰白 8.7%	内外面 黒鉛ナテ			
194	包倉窯	須恵系	底面			(2.2)	器 2cm以下の長石を 含む		内 滑ナリーブ灰 5.7% 外 滑ナリーブ灰 5.9%	内外面 黒鉛ナテ			
195	包倉窯	須恵系土器	(器)底面			(0.8)	器 1cm以下の長石を 含む		内 灰白 8.6% 外 灰白 8.6%	内面 マメツ 外面 黒鉛ナテ			
196	包倉窯	土師質土器	底		8	1	4.6	器 黒色の砂粒を含む		内 灰白 7.5% 8.7%	内面 砂粒調整のための調整 手書 外面 黒鉛ナテ 底面 黒鉛ナテ切り取りナ テ		
197	包倉窯	土師質土器	(器)底面			(1.1)	器 2cm以下の長石を 含む		内 灰白 2.5% 8.7% 外 灰白 2.5% 8.7% 底面 2.5% 8.4%	内面 マメツ 外面 黒鉛ナテ			
198	包倉窯	土師質土器	杯			2.5	普通 黒砂粒を少量 含む		内 灰白 7.5% 外 7.1%	内外面 黒鉛ナテ			
199	包倉窯	土師質土器	杯		10.4	(2.4)	器 1cm以下の長石・ 長石・赤色粒を含む		内 濃緑 5% 8.4% 外 濃緑 10% 底 8.2%	内外面 黒鉛ナテ			
200	包倉窯	土師質土器	杯		11.5	9	2.4	器 2cm以下の長石・ 石灰・赤色粒を含む		内 濃 5% 7.6% 外 濃 5% 7.6%	内面 黒鉛ナテ 外面 マメツ		
201	包倉窯	土師質土器	杯		12	7.4	2.6	器 1cm以下の長石・ 黒色粒を含む		内 濃黄緑 7.5% 外 濃黄緑 7.5% 底 8.4%	内外面 黒鉛ナテ 底面 マメツ		
202	包倉窯	土師質土器	杯		11.1	2.15	7.3	普通 黒砂粒・赤色 粒を含む		内 濃い緑 7.5% 外 濃黄緑 7.5% 底 8.4%	内面 黒鉛ナテ、ハテ 外 黒鉛ナテ	口縁部内面に黒砂 粒・ 内面に付着物あり	
203	包倉窯	土師質土器	杯		11.4	8.2	2.5	器 2cm以下の長石・ 長石を含む		内 濃 5% 7.6%	内面 砂粒調整のための調整 手書 外面 黒鉛ナテ 底面 黒鉛ナテ切り取り、 黒鉛ナテ		
204	包倉窯	土師質土器	(器)口縁部			(2.1)	普通 2cm以下の石 灰・長石を含む		内 濃い緑 7.5% 外 濃い緑 7.5% 底 7.3%	内面 ハテ 口縁部 黒鉛ナテ	外濃緑・底付着		
205	包倉窯	土師質土器	(器)口縁部			(4.2)	普通 1cm以下の石 灰・長石を含む		内 灰白 10% 8.6%	内面 黒鉛ナテ 外 黒鉛ナテ、黒色 粒	内凹面に黒砂粒		
206	包倉窯	土師質土器	(器)口縁部			(2.2)	普通 2cm以下の石 灰・長石を含む		内 濃 5% 6.4% 外 濃い緑 7.5% 底 8.2%	内面 ハテ、ナテ 口縁部 黒鉛ナテ 外 灰白、黒色粒			
207	包倉窯	土師質土器	(器)口縁部			(4.5)	器 3cm以下の長石・ 長石・黒色粒を含む		内 濃い緑 5% 8.4% 外 濃緑 10% 3.7% 底 濃い緑 10% 8.7%	内面 ナテ 口縁部 黒鉛ナテ 外 灰白、黒色粒			
208	包倉窯	土師質土器	(器)底面			(3.1)	普通 5cm以下の石 灰・長石を含む		内 濃黄緑 5% 8.6% 外 濃い緑 7.5% 底 8.2%	内面 ナテ 外 黒鉛ナテ、ナテ	黒鉛ナテ、ナテ		
209	包倉窯	土師質土器	(器)口縁部			(4.8)	器 2cm以下の長石・ 長石を含む		内 濃い緑 10% 外 濃黄緑 10% 底 濃 10% 2.7%	内面 マメツ、ナテ 口縁部 黒鉛ナテ 外 濃黄緑	黒鉛ナテ以下付着		
210	包倉窯	土師質土器	(器)口縁部			(5.2)	器 2cm以下の長石・ 長石を含む		内 濃黄緑 10% 8.4% 外 灰白 10% 8.2% 底 濃 10% 3.4%	内面 ナテ、マメツ 外 黒鉛ナテ、マメツ、 黒色粒			
211	包倉窯	土師質土器	(器)口縁部		24	(4.4)	普通 4cm以下の石 灰・長石を含む		内 濃黄緑 10% 外 濃 10% 底 8.2%	内面 ナテ 口縁部 黒鉛ナテ 底 黒色粒			
212	包倉窯	土師質土器	(器)口縁部		24	(5.4)	普通 2cm以下の石 灰・長石を含む		内 灰白 7.5% 8.7% 外 濃 7.5% 8.7% 底 8.4%	内面 ナテ 口縁部 黒鉛ナテ 外 灰白	黒鉛ナテ以下付着		

報文番号	出土遺構	種別	器種名	産地	法量 (cm)			胎土	色柄1		調整	備考
					口径	高さ	底径		(胎土)	(内径 内外色柄)		
213	灰倉層	土師貫土器	(附属)口縁部		21	(8.9)		凹	20cm以下の石莖・長石を含む	内: 黒褐色 3YR 5/4 外: 灰褐色 5YR 4/2	内面: 黒鉛ナズ 口縁部: 黒鉛ナズ 肩下縁: 黒鉛ナズ 底部: (黒ナズ)カタキ	片断層片状
214	灰倉層	土師貫土器	足高		26.8	(7)		普通	20cm以下の石莖・長石を含む	内: 黒褐色 2.5Y 5/2 外: 灰褐色 2.5Y 3/2	内面: マット 口縁部: 黒鉛ナズ 肩下縁: 黒鉛ナズ	
215	灰倉層	土師貫土器	胴		49	(10.4)		凹	20cm以下の石莖・長石を含む	内: 黒褐色 5YR 7/2 外: 灰褐色 5YR 4/2	内面: ナズ 口縁部: 黒鉛ナズ 片断層片状	
216	灰倉層	磁器(白磁)	(焼)口縁部	中国		(3)		焼		灰白 N 8/ 灰白 10Y 6/1		白磁磁器類
217	灰倉層	磁器(白磁)	(焼)口縁部	中国		(2.2)		焼		灰白 N 7/ オリーブ緑 7.5Y 6/2		磁器磁器類 磁器片状
218	灰倉層	陶器	(焼)体部	畿内系		(6)		焼	50cm以下の石莖を含む	内: オリーブ黒 5Y 5/1 外: にがい緑 7.5YR 5/2	内面: ヘチ黒 外面: ナズ	スタンプ状
219	SP2	土師器	(焼)口縁部			(1.4)		普通	20cm以下の石莖・長石を含む	内: 灰白 10YR 8/2 外: にがい緑 7.5YR 5/2	内外面: 黒鉛ナズ	

出土石製品観察表

( )内の数字は残存率を示す

報文番号	出土遺構	名称	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
S-1	SP202	石莖	2.0	1.8	0.4	1.1	材質: ヤスカイト
S-2	SP501	ナイフ形石莖	8.3	1.9	0.6	6.0	材質: ヤスカイト
S-3	S06	ナイフ形石莖	6.75	2.2	0.5	10.8	材質: ヤスカイト
S-4	S11	礫石	12.4	4.8	3.8	236.6	材質: 凝灰
S-5	S11	礫石	(12.8)	5.7	4.9	799.6	材質: 砂岩
S-6	S01	礫石ナ	(3.8)	4.1	1.4	34.4	材質: 滑石 磨面有
S-7	包含層出土遺物	礫石ナ	(14.8)	4	3.1	226.5	材質: 安山岩
S-8	包含層出土遺物	礫石	(6.1)	4.3	4.95	433.9	材質: 磨面砂岩

出土木製品観察表

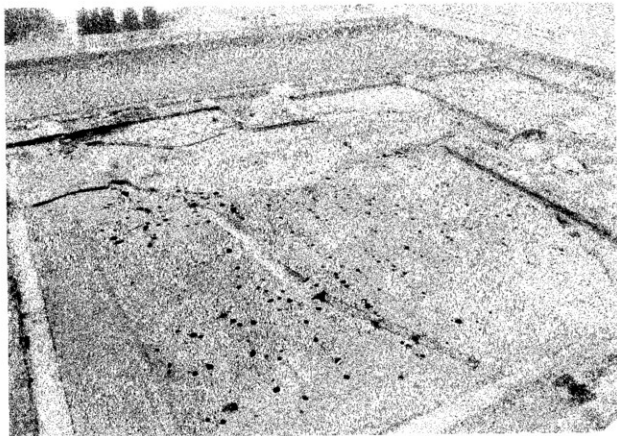
( )内の数字は残存率を示す

報文番号	出土遺構	種別	法量 (cm)			備考
			長さ	幅	厚さ	
S-9	SP188	板状	(12)	(5.0)	(4.5)	ニレ科ニレ属

出土金属製品観察表

数字は保存処理後の測定値であり、( )内の数字は残存率を示す

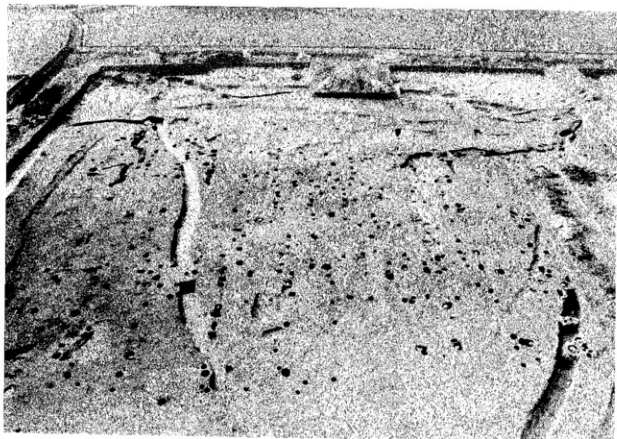
報文番号	出土遺構	名称	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
S-1	S1	釘	(8.7)	0.9	0.45	
S-2	S01	鉄釘	(2.8)	0.4	0.4	丸山所: 破損があるが円孔状
S-3	S01	鉄釘	2.1	0.5	0.6	
S-4	S01	鉄釘	(3.4)	0.25	0.48	
S-5	S01	鉄釘	(3.1)	0.4	0.9	
S-6	S01	鉄釘	3.5	0.6	0.6	破損は引き裂かれたような残存状況
S-7	SP1-3	鉄釘	(7.5)	(0.2)	(0.25)	
S-8	S029	鉄釘	(10.8)	1.1	0.95	
S-9	SP45	鉄釘ナ	(4.2)	0.6	0.95	
S-10	SP131	鉄釘	5.7	0.9	0.5	
S-11	SP240	鉄釘	(4.9)	0.5	0.7	
S-12	S027	鉄釘	(2.7)	0.46	0.55	
S-13	包含層	鉄釘	(1.8)	0.7	0.4	
S-14	包含層	鉄釘	10.05	0.6	0.8	



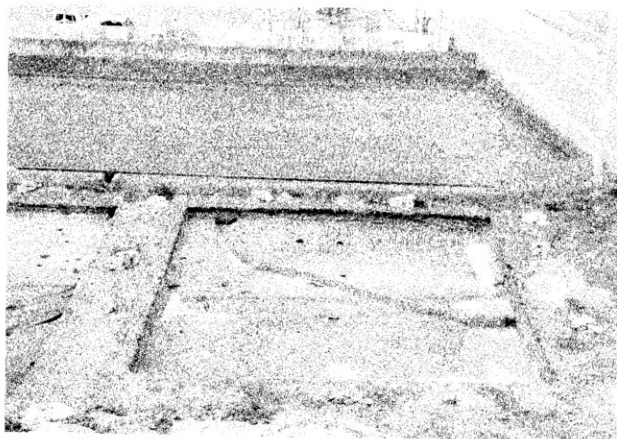
B区第1・2遺構面（南東から）



B区第1・2遺構面（北東から）



B区第1・2遺構面（東から）



A区第1・2遺構面（東から）



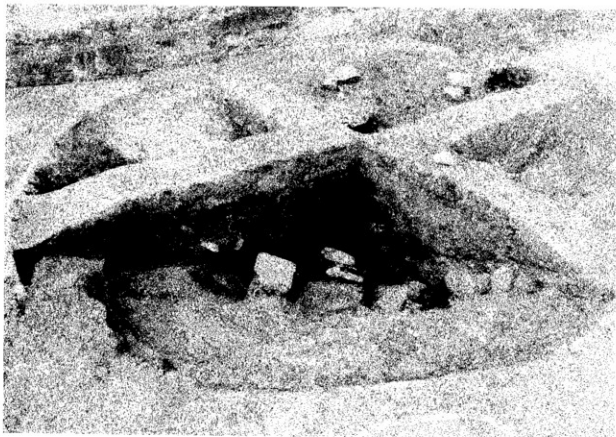
S05 (東から)



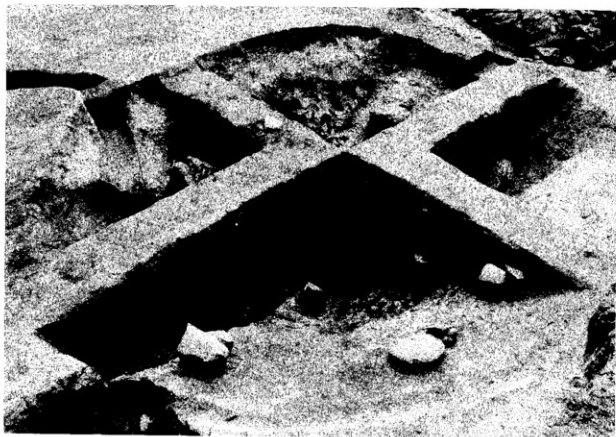
B区 根石をもつ柱穴群 (北から)



図版 4



SE1 (南東から)



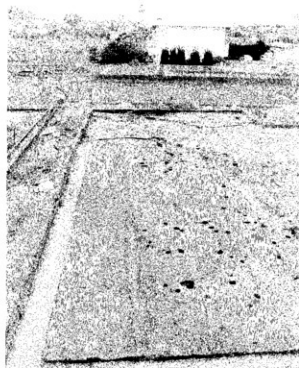
SE1 (北西から)



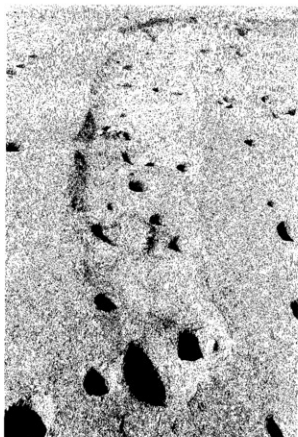
SD17 (東から)



SD24 (西から)



SD1 (東から)



SK4 (東から)



SP1 遺物出土状況



B区東壁土層



SP329 遺物出土状況



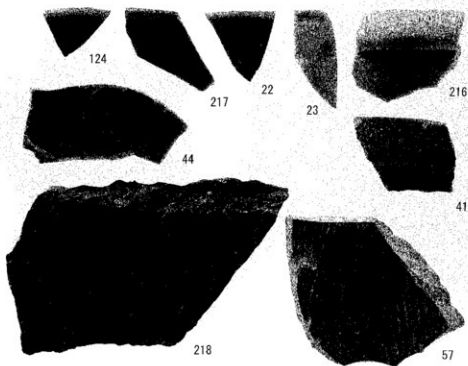
B区南壁土層



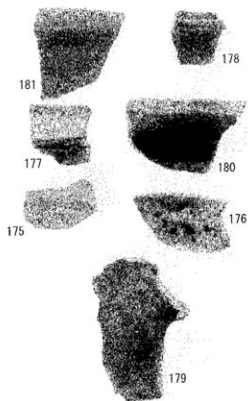
出土弥生土器



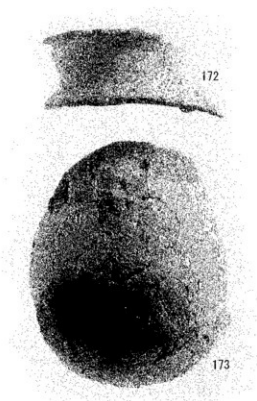
出土中世土器



出土搬入土器



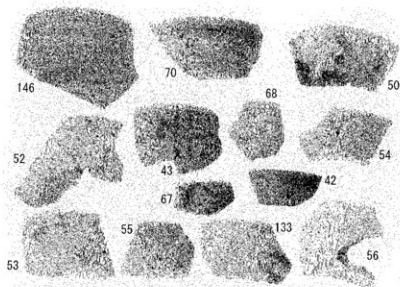
SX2 出土遺物①



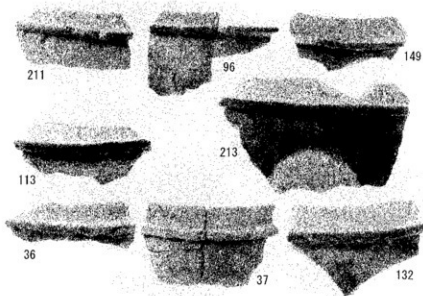
SX2 出土遺物②



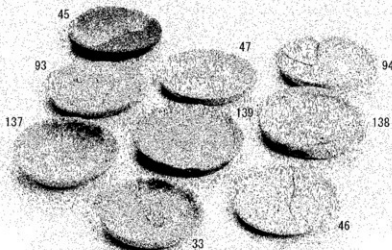
SR3 出土遺物



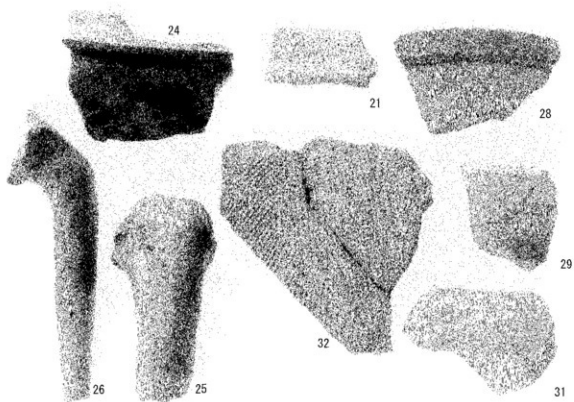
出土杯片



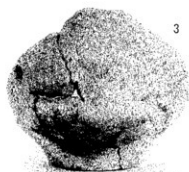
出土足釜片



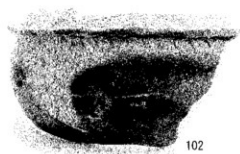
出土皿



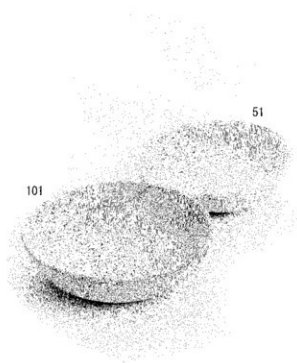
SE1 出土遺物



出土弥生土器壺

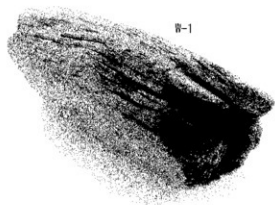


出土足釜

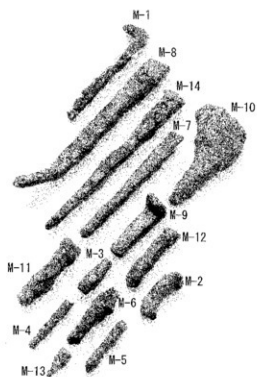


出土杯

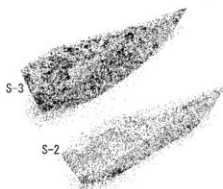




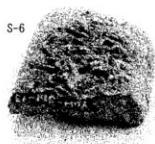
出土柱材



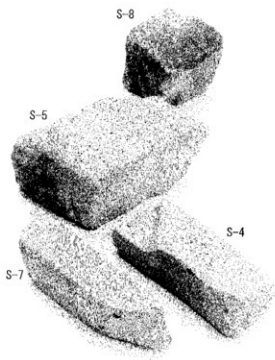
出土鉄器



出土ナイフ形石器



出土砥石



出土砥石

# 報告書抄録

ふりがな	よこうちひがしいせき							
書名	横内東遺跡							
副書名	三谷コミュニティセンター整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第144集							
編著者名	小川 賢・上原 ふみ							
編集機関	高松市教育委員会							
所在地	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL087-839-2660							
発行年月日	西暦2012年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	しよざいち 所在地	コ ー ド 市町村 遺跡番号		北 緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
よこうちひがしいせき 横内東遺跡	かがわけん 香川県 たかまつし 高松市 みたにちよう 三谷町	37201		34° 16' 39"	134° 04' 07"	2009.9.15. ? 2009.12.1.  2011.4.7. ? 2011.4.12.	864㎡	コミュニ ティセン ター建設
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主 な 遺 物		特 記 事 項		
よこうちひがしいせき 横内東遺跡	旧河道 集落	弥生時代 古代 中世	旧河道 溝 ビット 掘立柱建物 井戸 土坑	弥生土器、須志器、 土師器、陶磁器、 石製品、鉄製品		条里地割 方形の区画溝		
要 約	対象地は南海道の南側に当たり、条里地割が施工された山田郡の範囲内に位置する。調査の結果、弥生時代以前から旧河道が流れ、弥生時代以降集落が形成され、人々の生活が営まれたことが明らかになった。古代においては、条里地割に並行する溝を検出したほか、集落域と低地を結ぶ溝なども検出し、安定した集落であったことが明らかとなった。また、中世においては方形の区画溝を検出したほか、これらに囲まれた微高地において掘立柱建物跡4棟、井戸、廃棄土坑を検出した。							

高松市埋蔵文化財調査報告第144集  
三谷コミュニティセンター整備事業  
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

## 横内東遺跡

平成24年3月31日

編 集 高松市教育委員会  
高松市番町一丁目8番15号  
発 行 高松市教育委員会  
印 刷 富士印刷株式会社